

2024

TBGU シラバス

Faculty of Medical Science and Welfare  
Department of Welfare and Social Work

医療福祉学部

保健福祉学  
科

東 北 文 化 学 園 大 学

T O H O K U B U N K A G A K U E N U N I V E R S I T Y

## 目 次

※研究室は変更になる場合があります。

【医療福祉学部・保健福祉学科・保健福祉専攻】

授業科目の名称	配当 単位数	担当教員名 (○印は科目代表者)	ページ
<b>基礎科目</b>			
・輝ける者	[1 通 選 3]	(○小野野 純・渡邊 洋一・黒沢 麻美・二科 妃里・志賀野桂一・他) …	1
・生命を考える	[1 前後 選 2]	(○中村 哲也・阿部 玄治・本多ふく代・大庭 みよ・佐藤 大輔) …	2
・人間文化探求	[1 通 選 2]	(○加藤 由美・加賀谷 豊・長井 真弓・石垣 亨・石橋 千賀) …	3
・生活の中の科学	[1 前後 選 2]	(○相澤 康弘・沈 紅・鈴木 陽一・高根 昭一・鈴木 伸夫・野崎 淳夫・須藤 諭・山本 和恵・八十川 淳・一條 佑介・川村 広則・二科 妃里・浅井 仁・家名田敏昭・工藤 剛美・高橋 るみ) …	4
・地域活動・ボランティア	[1 通 選 2]	(○豊田 正利・山崎 真帆・野崎 瑞樹・作山美智子・平山 和哉・徳田 律子・香山 明美・渡邊 洋一) …	5
・現代社会を視る	[1 前後 選 2]	(○馬内 里美・田邊 文彦・ウォルグレイブ イーライ) …	6
・ボランティア探求	[2 通 選 2]	(○渡邊 洋一・学外指導者) …	7
・現代史	[1 前 選 2]	(星野 修) …	8
・文化人類学	[1 前 選 2]	(岡 恵介) …	9
・地域文化論	[1 前 選 2]	(岡 恵介) …	10
・心理学概論	[1 前 選 2]	(野崎 瑞樹) …	11
・哲学	[1 前 選 2]	(菅原 宏道) …	12
・教育学	[1 後 選 2]	(佐々木真由美) …	13
・生命倫理学	[1 後 選 2]	(高山 馨) …	14
・コミュニケーション論	[1 後 選 2]	(邑本 俊亮) …	15
・経済学概論	[1 前 選 2]	(坂本 直樹) …	16
・政治学	[1 前 選 2]	(王 元) …	17
・憲法	[1 後 選 2]	(淡路 智典) …	18
・法学概論	[1 前 選 2]	(秋山まゆみ) …	19
・英語Ⅱ	[2 通 選 2]	(増井三千代) …	20
・海外研修	[1 通 選 2]	(○増井三千代・立花顕一郎・王 元・文 慶喆) …	21
・健康科学	[1 前 選 2]	(森田 清美) …	22
<b>専門科目</b>			
・人体の構造と機能及び疾病	[1 後 選 2]	(遠藤ちつる) …	23
・社会学	[1 前 選 2]	(齊藤 綾美) …	24
・社会福祉の政策	[1 後 選 2]	(小渕 高志) …	25
・社会保障論Ⅱ	[2 後 選 2]	(森田慎二郎) …	26
・保健医療サービス論	[2 前 選 2]	(加藤 由美) …	27
・地域福祉論	[3 後 選 2]	(豊田 正利) …	28
・地域福祉方法論	[3 前 選 2]	(豊田 正利) …	29
・公的扶助論	[3 前 選 2]	(小渕 高志) …	30
・権利擁護と成年後見	[4 後 選 2]	(前川 勤) …	31
・相談援助の基盤と専門職Ⅰ	[1 前 選 2]	(鑑 さやか) …	32
・ソーシャルワーク論Ⅰ	[2 前 選 2]	(徳田 律子) …	33
・ソーシャルワーク論Ⅱ	[2 後 選 2]	(村田 道彦) …	34
・ソーシャルワーク論Ⅲ	[3 前 選 2]	(志水田鶴子) …	35
・ソーシャルワーク論Ⅳ	[3 後 選 2]	(志水田鶴子) …	36
・高齢者福祉論	[2 前 選 2]	(村田 道彦) …	37
・高齢者総合支援論	[2 後 選 2]	(黒沢 麻美) …	38
・子ども家庭福祉論	[2 前 選 2]	(鑑 さやか) …	39
・社会福祉調査論	[3 後 選 2]	(齊藤 綾美) …	40
・福祉経営論	[4 前 選 2]	(○千脇 隆志・高梨 友也) …	41
・ソーシャルワーク演習Ⅰ	[2 前 選 1]	(○村田 道彦・大竹 伸治) …	42
・ソーシャルワーク演習Ⅱ	[2 後 選 1]	(○鑑 さやか・徳田 律子) …	43
・精神医学Ⅰ	[1 前 選 2]	(二木 文明) …	44
・精神医学Ⅱ	[1 後 選 2]	(二木 文明) …	45
・生活支援工学	[2 後 選 2]	(徳田 律子) …	46
・障害者支援論	[2 後 選 2]	(黒沢 麻美) …	47
・子ども家庭支援論	[3 後 選 2]	(鑑 さやか) …	48
・医療福祉論	[3 前 選 2]	(○加藤 由美・広瀬 和之・熊谷 智美) …	49
・スクールソーシャルワーク論	[3 前 選 2]	(大竹 伸治) …	50

・医療福祉マネジメント論	[3 後 選 2]	(○加藤 由美・二瓶 洋子)……………	51
・医療政策論	[3 後 選 2]	(吉田 裕人)……………	52
・生涯発達心理学	[1 前 選 2]	(山川 樹)……………	53
・人格心理学	[2 前 選 2]	(山川 樹)……………	54
・健康心理学	[2 後 選 2]	(山川 樹)……………	55
・心理学研究法	[2 前 選 2]	(山川 樹)……………	56
・障害者心理学	[2 前 選 2]	(野崎 瑞樹)……………	57
・社会心理学	[2 前 選 2]	(山川 樹)……………	58
・福祉心理学	[3 前 選 2]	(野崎 瑞樹)……………	59
・健康運動処方論	[2 前 選 2]	(犬塚 剛)……………	60
・運動行動科学	[2 後 選 2]	(稲井 勇仁)……………	61
・ジョギング・ウォーキング	[2 前 選 1]	(稲井 勇仁)……………	62
・ストレッチング・トレーニング	[2 後 選 1]	(犬塚 剛)……………	63
・体力測定評価	[2 後 選 1]	(犬塚 剛)……………	64
・アダプテッド・スポーツ論	[1 後 選 2]	(稲井 勇仁)……………	65
・アダプテッド・スポーツ基礎実習	[1 前 選 1]	(○稲井 勇仁・加藤 秀太)……………	66
・レクリエーション理論	[1 後 選 2]	(森田 清美)……………	67
・レクリエーション実技 I	[2 前 選 1]	(○森田 清美・犬塚 剛)……………	68
・レクリエーション実技 II	[2 後 選 1]	(○森田 清美・犬塚 剛)……………	69
・レクリエーション現場実習	[2 通 選 1]	(○森田 清美・犬塚 剛)……………	70
・夏季野外活動実習	[1 前 選 1]	(○森田 清美・犬塚 剛・黒沢 麻美・山川 樹・稲井 勇仁) ……	71
・冬季野外活動実習	[1 後 選 1]	(○稲井 勇仁・犬塚 剛・森田 清美・黒沢 麻美・山尾 孝則・現地講師) ……	72
・介護予防論	[3 前 選 2]	(○犬塚 剛・吉田 裕人・稲井 勇仁)……………	73
・介護予防実習	[3 後 選 1]	(○犬塚 剛・吉田 裕人・森田 清美・稲井 勇仁) ……	74
・企業福祉論	[3 前 選 2]	(森田 慎二郎)……………	75
・保健福祉特別講義 I	[4 前 選 2]	(○野崎 瑞樹・学科教員)……………	76
・保健福祉特別講義 II	[4 後 選 2]	(○野崎 瑞樹・学科教員)……………	77
・専門職連携セミナー	[3・4 後 選 1]	(大黒 一司)……………	78
・卒業研究	[4 通 必 4]	(○齊藤 綾美・学科教員)……………	79

## 授業科目とディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の対応表

【医療福祉学部 保健福祉学科 保健福祉専攻】

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）		
①	「知識・理解」	・保健医療福祉に関する専門的知識と人を理解するための幅広い教養を有している。
②	「思考・判断」	・保健福祉に関する専門的知識に根差した思考と判断ができる。
③	「技能・表現」	・福祉社会における諸問題の動向に関心を持ち、福祉的教養と高い専門性を身につけた職業人として、人々のよりよい暮らし（well-being）のために地域貢献できる力を身につけている。
④	「関心・意欲・態度」	・様々な状況下において、多様なニーズに応えていく柔軟さを持つことができる。

### 2020年度以降入学用カリキュラム

授業科目の名称		配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）対応表 （「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目）			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
基礎科目	探求・理解プロジェクト	輝ける者	1通		3		○		○
		生命を考える	1前・1後		2	◎	◎		○
		人間文化探求	1通		2		○		○
		生活の中の科学	1前・1後		2	○	○		○
		地域活動・ボランティア	1通		2	◎	◎		○
		現代社会を視る	1前・1後		2		○		○
		ボランティア探求	2通		2		○	○	○
一般科目		現代史	1前		2	○			
		文化人類学	1前		2	○			
		地域文化論	1後		2	○			
		現代国語表現	1前	2		○			
		心理学概論	1前		2	◎			
		哲学	1前		2	○			
		教育学	1後		2	○			
		生命倫理学	1後		2	◎	◎		
		コミュニケーション論	1前		2	◎	○		○
		経済学概論	1前		2	○			
		政治学	1前		2	○			
		憲法	1後		2	◎	○		
		法学概論	1前		2	◎	○		
		社会学概論	1前		2	◎	○		
		統計・解析	1後		2	○			
	環境科学	1前		2	○				

授業科目の名称		配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科 目、「○」は関係する科目)				
			必修	選択	自由	①	②	③	④	
基礎科目	一般科目	基礎生物学	1 前		2		○			
		総合福祉	1 前	2			◎	◎	○	
		ボランティア論	1 後		2		◎	◎	○	
		情報処理	1 前	2			○			
		英語 I	1 通	2			○			
		英語 II	2 通		2		○			
		中国語	1 通		2		○			
		韓国語	1 通		2		○			
		海外研修	1 通		2		○			
		健康科学	1 前		2		○			○
健康スポーツ実習	1 前	1			○			○		
専門科目	福祉士養成共通科目	人体の構造と機能及び疾病	1 前		2		◎		○	
		心理学	1 後		2		◎	○		○
		社会学	1 前		2		◎		○	○
		現代社会と福祉	1 前		2		◎	○		
		社会福祉の政策	1 後		2		◎	○		
		障害者福祉論	2 前		2			◎	○	○
		社会保障論 I	2 前		2		◎	○		
		社会保障論 II	2 後		2		◎	○		
		保健医療サービス論	2 後		2		◎	○	○	
		福祉行財政と福祉計画	3 前		2		◎	○		
		地域福祉論	3 前		2				◎	○
		地域福祉方法論	3 後		2				◎	○
		公的扶助論	3 後		2		◎	○		
		権利擁護と成年後見	4 後		2			◎	○	○
	社会福祉士養成専門科目	相談援助の基盤と専門職 I	1 前		2		○	◎	◎	○
		相談援助の基盤と専門職 II	1 後		2		○	◎	◎	○
		ソーシャルワーク論 I	2 前		2		○	◎	◎	○
		ソーシャルワーク論 II	2 後		2		○	◎	◎	○
		ソーシャルワーク論 III	3 前		2		○	◎	◎	○
		ソーシャルワーク論 IV	3 後		2		○	◎	◎	○
		高齢者福祉論	2 前		2		○	◎	◎	○
		高齢者総合支援論	2 後		2		○	◎	◎	○
		子ども家庭福祉論	2 後		2		○	◎	◎	○
就労支援サービス論		3 前		1		○	◎	◎	○	
社会福祉調査論	3 後		2		○	◎	◎	○		

授業科目の名称		配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)				
			必修	選択	自由	①	②	③	④	
専門科目	社会福祉士養成専門科目	福祉経営論	4 後		2		○	◎	◎	○
		司法福祉論	4 後		1		○	◎	◎	○
		ソーシャルワーク演習Ⅰ	2 前		1		○	◎	◎	◎
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2 後		1		○	◎	◎	◎
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3 前		1		○	◎	◎	◎
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	3 後		1		○	◎	◎	◎
		ソーシャルワーク演習Ⅴ	4 後		1		○	◎	◎	◎
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3 前		1		○	◎	◎	◎
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3 後		1		○	◎	◎	◎
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4 後		1		○	◎	◎	◎
	ソーシャルワーク実習	4 前		4		○	◎	◎	◎	
専門科目	精神保健福祉士養成専門科目	精神医学Ⅰ	1 前		2		◎	○		
		精神医学Ⅱ	1 後		2		◎	○		
		精神保健学Ⅰ	2 前		2		◎	○		
		精神保健学Ⅱ	2 後		2		◎	○		
		精神科ソーシャルワーク論	1 後		2		◎	○		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	2 前		2		◎	○		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	2 後		2		◎	○		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ	3 前		2		◎	○		
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ	3 後		2		◎	○		
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	2 前		2		◎	○		
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	2 後		2		◎	○		
		精神障害者の生活支援システム	3 後		2		◎	○		
		精神保健福祉援助演習Ⅰ	3 通		1				◎	
		精神保健福祉援助演習Ⅱ	4 通		1				◎	
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3 前		1				◎	
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	3 後		1				◎	
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4 通		1				◎	
			精神保健福祉援助実習A	4 通		4		○	○	◎
	精神保健福祉援助実習B	4 通		5		○	○	◎	○	
専門科目	臨床福祉系科目	生活支援工学	2 後		2			◎	○	
		障害者支援論	2 後		2		◎	○		
		医療倫理学	2 後		2			◎		
		子ども家庭支援論	3 前		2		◎	○		
		リハビリテーション論	3 前		2				○	◎
		医療福祉論	3 前		2		◎			◎

授業科目の名称		配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)				
			必修	選択	自由	①	②	③	④	
専門科目	臨床福祉系科目	スクールソーシャルワーク論	3 前		2			○		◎
		医療福祉マネジメント論	3 後		2				◎	○
		ケアの原理と方法	3 後		1				◎	○
		ケアマネジメント論	3 後		2				◎	○
		医療政策論	3 後		2			◎	○	
	心理学系科目	生涯発達心理学	1 後		2		◎	◎	◎	◎
		教育心理学	2 前		2		◎	○	◎	◎
		学習心理学	2 前		2		◎	○	○	◎
		人格心理学	2 前		2		◎	◎	◎	◎
		健康心理学	2 前		2		◎	◎	◎	◎
		心理学研究法	2 前		2		◎	◎	○	○
		認知心理学	2 後		2		◎	○	○	◎
		生理心理学	2 後		2		◎	○	◎	○
		障害者心理学	2 後		2		◎	◎	◎	◎
		社会心理学	2 後		2		◎	◎	◎	◎
		心理学基礎実験 I	3 前		2		◎	◎	○	○
		神経心理学	3 前		2		◎	◎	◎	○
		臨床心理学	3 前		2		◎	◎	◎	◎
		心理検査法	3 後		2		◎	○	◎	◎
		心理学基礎実験 II	3 後		2		◎	◎	○	○
		カウンセリング	3 後		2		◎	◎	◎	◎
		福祉心理学	3 前		2		○	○	◎	◎
		健康スポーツ系科目	健康運動科学	2 前		2		◎	◎	○
	健康運動栄養学		2 後		2		◎	◎	○	○
	健康運動処方論		2 前		2		◎	◎	○	○
	運動行動科学		2 後		2		◎	◎	○	○
	運動障害と予防		1 後		2		◎	◎	○	○
	エアロビック運動論		1 後		2		◎	◎	○	○
	エアロビックダンス		1 後		1		○	○	◎	◎
水泳・水中運動	2 前			1		○	○	◎	◎	
ジョギング・ウォーキング	2 前			1		○	○	◎	◎	
ストレッチング・トレーニング	2 後			1		○	○	◎	◎	
体力測定評価	2 後			1		○	○	◎	◎	
救命救急学	2 後			1		◎	◎	◎	◎	
アダプテッド・スポーツ論	1 後			2		◎	◎	○	○	
アダプテッド・スポーツ基礎実習	1 前			1		○	○	◎	◎	

授業科目の名称		配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)				
			必修	選択	自由	①	②	③	④	
専門科目	健康スポーツ系科目	アダプテッド・スポーツ科学	2 前		2		◎	◎	○	○
		アダプテッド・スポーツ応用実習	2 後		1		○	○	◎	◎
		レクリエーション理論	1 後		2		◎	◎	○	○
		レクリエーション実技 I	2 前		1		○	○	◎	◎
		レクリエーション実技 II	2 後		1		○	○	◎	◎
		レクリエーション現場実習	2 通		1		○	○	◎	◎
		夏季野外活動実習	1 前		1		○	○	◎	◎
		冬季野外活動実習	1 後		1		○	○	○	○
		介護予防論	3 前		2		◎	◎	○	○
	介護予防実習	3 後		1		◎	◎	◎	◎	
	共通科目	基礎演習 I	1 通	1			○	○	◎	○
		基礎演習 II	2 通	1			○	◎	○	○
		保健福祉セミナー I	3 前	2			◎	◎	◎	○
		保健福祉セミナー II	3 後	2			◎	◎	◎	○
		生きがい情報総論	2 前		2		◎	◎	◎	○
		企業福祉論	3 前		2		◎	○	◎	
		保健福祉特別講義 I	4 後		2		◎	○	○	
		保健福祉特別講義 II	4 後		2		◎	○	○	
		専門研究 I	4 後		2		◎			
専門研究 II		4 後		2		◎				
専門研究 III	4 後		2		◎					
地域連携演習	3 後		2		◎	◎	◎	◎		
専門職連携セミナー	3・4 通		1		◎	◎	◎	◎		
卒業研究	4 通	4			◎	◎	◎	◎		

# 保健福祉専攻

科目名	輝ける者			担当者	○小野部 純・渡邊 洋一 黒沢 麻美・二科 妃里 志賀野桂一・他
科目ナンバリング	106011201				常勤・非常勤
D P	2,4			教員研究室	3108 研究室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1 年次・通年
授業形式	演習	授業時間	90 時間	単位	選択 3 単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT 活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<p><b>【授業内容】</b>            本授業は、地元宮城県を支える取り組みを題材とし、次の3つの観点により授業を展開することで、「主体的に考える力」、「コミュニケーション力」、「問題解決力」を高め、「チームワーク・リーダーシップ」、「市民としての社会的責任」に対する基本的態度を育むことを目的とする</p> <p>① 地元の産業を支えるとは            最前線で活躍している多様なゲストスピーカーの講義により、職業人の社会・地域の発展に対する思いを知ることから、「働くことの意味」を主体的に考える。</p> <p>② 地元の文化を支えるとは            芸術文化の中でも音楽に焦点を当て、生活と音楽の繋がりや、音楽やイベントを支える仕事について理解を深める。</p> <p>③ 地元を支える活動の実践            グループでの地域創生プロジェクトの企画提案を通して、地域の課題を自分自身と結び付けて考え、チームで提案し、地域を巻き込んで実践する。</p> <p><b>【学習の到達目標】</b>            社会の中で「輝く」とは何かについて、各自の考えを持つ</p> <p><b>【成績評価方法】</b>            ①レポート内容、②各テーマに関する発表内容および参加状況の2点から総合的に評価する</p>					
<b>授 業 計 画</b>					
<p style="text-align: center;">----- 導入編 -----</p> <p>1. ガイダンス            2. グループワーク (アイスブレイク)            3～5. キャリア形成</p> <p style="text-align: center;">----- 地元を支える活動の実践 -----</p> <p>6～24. 夏休み企画 秋保ワイナリーとマルシェ            ・マルシェの企画            ・マルシェ運営</p> <p style="text-align: center;">----- 音楽により地域振興を知る -----</p> <p>25～31. 教養としての音楽            仙台フィルハーモニーの地域貢献 (ゲストスピーカー)            仙台台フィルハーモニー コンサート鑑賞            音楽を支える仕事について</p> <p style="text-align: center;">----- 地元の産業活動を知る -----</p> <p>32～41. 多様な働き方を学び、考える            ・地元企業を知る (働くとは何か)            ・企業と地域 (ゲストスピーカー)            ・グループワーク (企業へのインタビュー準備)            ・多様な働き方 (アシスタ仙台)、企業担当者へのインタビュー</p> <p style="text-align: center;">----- まとめ -----</p> <p>42. グループ発表</p>					
教科書	特に指定しない				
参考書	必要に応じて指示する				
備考	質問や問い合わせは、常勤教員が受け付ける				

科目名	生命を考える			担当者	○中村 哲也・阿部 玄治 本多ふく代・大庭 みよ 佐藤 大輔
科目ナンバリング	106011202				常勤
D P	1,2			教員研究室	1427
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期/後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 21世紀に入り日本は本格的な長寿社会を迎えた。加えて、人々には人種・性別・年齢・障害の有無に関わらず自分らしく生きられる社会(多様性のある社会)の実現が求められている。本科目では「ヒトの生命」を主たるテーマとし、「生きること」「死ぬこと」「障害と共に生きること」等について講義を受講しつつ、履修者同士で意見交換を行いながら考える。  <b>【学習の到達目標】</b> 健康とは何か、「生」そして「死」とは何かについて、他者の意見を踏まえながら自分なりの考えを述べられるようになること。  <b>【成績評価方法】</b> ①講義前後の調べ学習、②講義時間中に取り組む小課題、③レポートの3点から総合的に評価する。 課題の内容や課される回数、評価方法は担当教員ごとに異なる。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> ミニレポートなど小課題については適宜集計し、翌週以降の講義時間中ないし Google クラズルームを通じてフィードバックする。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 原則として毎回出席することが求められる。各テーマで課される最終レポートを全て提出しなければ成績評価の対象とならない。  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> より良く生きることの意味について、同年代の学友の多様な意見に触れる機会を得られる。意見交換を経て自分の考えをまとめることによって、今後の生活に対して前向きになることが期待できる。  <b>【実務家教員担当科目】</b> 看護師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の資格を有する担当教員が、実務経験を踏まえた講義をオムニバス形式で行う。		

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	中村 哲也	科目ガイダンス	予習: シラバスを読む 復習: 指定された資料を確認する	258
2	加賀谷 豊	日常の医療と臨床研究における生命倫理	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート・リアクションペーパー	258
3	佐藤 大輔	いのちと生活～日常生活や労働の観点から考える～	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート・リアクションペーパー	258
4	佐藤 大輔	いのちと生活～日常生活や労働の観点から考える～	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート・リアクションペーパー	258
5	佐藤 大輔	いのちと生活～日常生活や労働の観点から考える～	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート課題	258
6	本多ふく代	子どもを育てることについて考える	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート・リアクションペーパー	258
7	本多ふく代	障害児を育てることについて考える	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート・リアクションペーパー	258
8	本多ふく代	人が育てられる、育てられることについて考える	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート課題	258
9	阿部 玄治	老いることや障害をもつことの疑似体験を通して「生きる」を考える	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート・リアクションペーパー	258
10	阿部 玄治	老いることや障害をもつことの疑似体験を通して「生きる」を考える	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート・リアクションペーパー	258
11	阿部 玄治	老いることや障害をもつことの疑似体験を通して「生きる」を考える	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート課題	258
12	大庭 みよ	妊娠・出産を通していのちを考える 一生まれてくる奇跡、生まれてこれなかったいのちなどー	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート・リアクションペーパー	258
13	大庭 みよ	妊娠・出産を通していのちを考える 一生まれてくる奇跡、生まれてこれなかったいのちなどー	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート・リアクションペーパー	258
14	大庭 みよ	妊娠・出産を通していのちを考える 一生まれてくる奇跡、生まれてこれなかったいのちなどー	予習: 指定された資料を読む 復習: レポート課題	258
教科書	指定なし			
参考書	玉井真理子・大谷いづみ(編)(2011). はじめて出会う生命倫理, 有斐閣アルマ 鯨島浩二(著)植野ゆかり(絵)(2003). わたしがあなたを選びました, 主婦の友社 深澤友紀(著)(2018). 産声のない天使たち, 朝日新聞出版			
備考	講義の実施スケジュールは担当教員の予定により変更される可能性がある。			

科目名	人間文化探求			担当者	○加藤 由美・加賀谷 豊 長井 真弓・石垣 亨 石橋 千賀
科目ナンバリング	106011203				常勤・非常勤
D P	2,4			教員研究室	1301
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・通年
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 私たち一人一人の生き方を「人間文化」と捉え、他者の多様な生き方を参考に、人生の価値、意味、目標など、私たちにとって根源的・普遍的な課題を探求する科目である。一連の授業を通じて各自の学びや生活について深く考え、これからの人生で「輝ける者」として各自がどのように輝いていくかを探求する。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 提出課題の採点結果はコメントを付して返却する。		
<b>【学習の到達目標】</b> ①他者及び自身の生き方について、情報モラルに留意しながら適切な表現方法やICT等を用いて説明出来る。②他者の生き方に関心を寄せ、そこから自身の成長に資する多様な視点や考え方を見出すことが出来る。③大学で学ぶことの意義を理解し、主体的に学ぶことが出来る。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> ①授業は隔週で行う(授業日程はオリエンテーションで提示する)。②PCは当該科目の授業参加に必要なツールである為、PCを持参すること。③課題の提出期限は厳守すること。		
<b>【成績評価方法】</b> 学修の到達目標の達成度を測る評価項目及び基準を定めた「ルーブリック」を用いて、提出課題の内容及び提出状況等に基づき成績評価を行う。			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> ①社会から求められている資質・能力の習得につながる。②多様な教材と学習方法及び学部を超えた学友との学びを通し、学際的な視点、思考の広がりが生まれる。		
<b>【実務家教員担当科目】</b> 医師、理学療法士、視能訓練士、医療ソーシャルワーカーの臨床経験を有する各教員が、それぞれの専門領域で培った知見等を汎用的に展開させた授業を行う。					

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	長井 真弓 加藤 由美 他	オリエンテーション(1) ①授業におけるPCの使い方、課題の提出方法②授業概要の俯瞰	予習：シラバスを読み、質問を用意する。復習：授業におけるPCの使い方、課題の提出方法等を確認する。科目概要を理解する。	258
2	加藤 由美 他	オリエンテーション(2)「人間文化探求」とは	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
3	加藤 由美 他	Grit(やり抜く力)の視点で捉える人間文化(1)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
4	加藤 由美 他	Gritの視点で捉える人間文化(2)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
5	加賀谷 豊 他	クリティカルシンキング	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
6	石垣 亨 他	私の人間文化(1)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
7	加藤 由美 他	探求：私の人間文化(1)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
8	石橋 千賀 他	私の人間文化(2)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
9	加藤 由美 他	探求：私の人間文化(2)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
10	長井 真弓 他	「障がい」って何だろう(1)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
11	長井 真弓 他	「障がい」って何だろう(2)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
12	石川奈津美 他	社会の伸びしろ(1)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
13	石川奈津美 他	社会の伸びしろ(2)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
14	加藤 由美 他	全体の振り返りとまとめ：私の人間文化(3)	予習・復習の具体的内容は、授業のねらいと評価指標に即してその都度指示する。	258
教科書	授業で用いる資料等は、その都度配付・配信する			
参考書	必要に応じて適宜指示する			
備考	講師(非常勤)の都合等により、授業計画の順番が入れ替わる場合がある			

科目名	生活の中の科学			担当者	○相澤 康弘・沈 紅 鈴木 陽一・高根 昭一 鈴木 伸夫・野崎 淳夫 須藤 諭・山本 和恵 八十川 淳・一條 佑介 川村 広則・二科 妃里 浅井 仁・家名田敏昭 工藤 剛実・高橋 るみ
科目ナンバリング	106011204				常勤
D P	1,2,4			教員研究室	1205 研究室 他
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期/後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ダイベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当する
【授業内容】		【課題等のフィードバック方法】			
<p>生活の「安全・安心・便利・豊かさ」をキーワードに、現在の科学技術が如何に我々の日々の生活に役立っているか、また科学技術の将来あるべき姿について学ぶ。</p> <p>具体的には、生活の中の電気、命を守る AED(自動体外式除細動器)、住まいや都市の安全・安心技術、災害の減災・復旧に有用な施設整備、生活を便利で豊かにする情報技術、等である。授業の半分程度は基礎知識の修得、半分程度がグループワークや実習・フィールドワーク・アイデアソン・ディスカッション等のアクティブラーニングスタイルで進められる。</p>		<p>授業では、都度質問を受け回答する。ミニレポートや Google クラブルームへの質問コメントについては、個別あるいは全体コメントにてフィードバックする。</p>			
【学習の到達目標】		【履修上の注意・予習・復習について】			
<p>科学技術が如何に我々の日々の生活に役立っているかを理解する。科学技術がもたらす「安全・安心・便利・豊かさ」について、能動的に活用できるようになる。</p>		<p>授業に関連する資料は、主として Google Classroom を利用して配信する。また、授業内容の復習や確認ができるように、授業の動画・音声データを提供する予定である。</p> <p>全 14 回の授業に出席することが大原則であるが、やむを得ず出席できなかった授業については、これらの資料や動画・音声データを利用して学習し、次回授業に臨むこと。</p>			
【成績評価方法】		【受講して得られる効果・メリット、その他】			
<p>毎回のテーマに対するミニレポートや科目全体に対する総合レポートを総合して評価する。</p>		<p>科学技術・工学分野における様々な専門領域における本学の専任教員から、多面的なテーマについて講義・実習指導を受けることができる。</p> <p>科学技術が如何に我々の日々の生活に役立っているかを理解し、その認識から個々の専門分野において活用することが期待できる。</p>			
		【実務家教員担当科目】			
		<p>科学技術・工学分野における様々な専門領域における本学の実務家教員も担当し具体的指導を行う。</p>			
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	鈴木 陽一・沈 紅 増田 相澤	ガイダンス	シラバスの確認、授業の進め方、成績評価の方法	258	
2	浅井 仁	生活の中の電気(100V、200V、直流?)	コンセントの交流と電池の直流の違いを調べる。 <ミニレポート>	258	
3	家名田敏昭	生活の中の電気(発電所から送電、家庭までの経路)	発電の方法や電気を送る送電線について調べる。 <ミニレポート>	258	
4	相澤 康弘	医療で用いられる電気(人体へ作用する電気)	生体電気の種類、生体電気刺激、治療に用いる電気を調べる。<ミニレポート>	258	
5	須藤 諭・川村 広則	安全・安心のための都市環境整備技術	身近な省エネルギー、居住地のハザードマップについて調べる。<ミニレポート>	258	
6	野崎 淳夫・増田 豊文	災害と水	災害応急用井戸、水害とマチ、避難生活と水について調べる。<ミニレポート>	258	
7	八十川 淳・二科 妃里	生活の中の電気(発電所から送電、課程までの経路など)	発電の方法や電気を送る送電線等について調べる。	258	
8	臨床教員・建築教員	AED正しい使い方演習、災害時避難所設営演習、班別実技演習の準備学習	AED正しい使い方演習、災害時避難所設営演習<ミニレポート>	258	
9	臨床教員・建築教員	AED正しい使い方演習、災害時避難所設営演習、班別実技演習	AED正しい使い方演習、災害時避難所設営演習<ミニレポート>	258	
10	知能情報教員	生活を便利で豊かにする情報アプリ：概要、準備学習	情報システム構築の流れを学び、グループごとに準備を行う。<ミニレポート>	258	
11	知能情報教員	アイデアソン演習1：提案アプリの案出と具体化の検討	前週の検討に基づきアプリの機能等の決定とプレゼンの準備を行う。<ミニレポート>	258	
12	知能情報教員	アイデアソン演習2：アプリの設計とプレゼンの準備	アイデアソン演習2：アプリの設計とプレゼンの準備	258	
13	知能情報教員	生活を便利で豊かにする情報アプリ：成果発表	提案するアプリに関するプレゼンをグループごとに行う。<投票、ミニレポート>	258	
14	鈴木 陽一・高根 昭一 増田 相澤	表彰 課題の出題と総括	アイデアソンの高評価グループ表彰 課題をテーマにレポート作成	258	
教科書	特に指定しない。				
参考書	その都度必要に応じて紹介する				
備考	なし				

科目名	地域活動・ボランティア			担当者	○豊田 正利・山崎 真帆 野崎 瑞樹・作山美智子 平山 和哉・徳田 律子 香山 明美・渡邊 洋一
科目ナンバリング	106011205				常勤
D P	1,2,4			教員研究室	3301
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・通年
授業形式	演習	授業時間	60時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
<b>【授業内容】</b> 様々な領域の活動に取り組み、現代社会に生きる自己の存在の有用性を得る機会とするとともに、理想とする地域社会の構築に向けた一員としての意識と態度の涵養を図る  <b>【学習の到達目標】</b> 主体的な学修とフィールドワーク体験をとおして、自己の有用性と理想とする地域社会の構築に向けた一員としての意識と態度を醸成する。  <b>【成績評価方法】</b> 毎回の授業で提出を求める「振り返りシート」の内容、地域活動・ボランティア活動に取り組む姿勢、活動報告書の内容等を総合的に評価する。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 毎回の授業で提出を求める「振り返りシート」については、コメント記入して返却する。各領域でのフィールドワークにおいて作成する「活動の記録」を学修の振り返りとして活用する。「個人のまとめ」「グループ報告資料」等を作成する。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 毎回の授業においては履修者自身の意欲的な姿勢、各領域毎のフィールドワークについては、自主的・主体的で積極的な取り組みを不可欠とする。  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 現代社会に生きる自己の存在の有用性を得る機会となることと、理想とする地域社会の構築に向けた一員としての意識と態度の涵養を図ることを可能とする。  <b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし		

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	本学専任教員	合同授業：ガイダンス～地域活動・ボランティア概要	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
2	非常勤講師	合同授業：仙台市ボランティアセンター紹介～利用方法、利用上の諸注意等	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
3	本学専任教員	合同授業：様々な領域(フィールド)の理解P-I	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
4	本学専任教員	合同授業：様々な領域(フィールド)の理解P-II	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
5	本学専任教員	合同授業：様々な領域(フィールド)の理解P-III	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
6	本学専任教員	合同授業：様々な領域(フィールド)の理解P-IV	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
7	本学専任教員	合同授業：様々な領域(フィールド)の理解P-V	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
8	本学専任教員	合同授業：様々な領域(フィールド)の理解P-VI	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
9	本学専任教員	合同授業：様々な領域(フィールド)の理解P-VII	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
10	本学専任教員	合同授業：様々な領域(フィールド)の理解P-VIII	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
11	本学専任教員	合同授業：様々な領域(フィールド)の理解P-IX	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
12	本学専任教員	合同授業：様々な領域(フィールド)の理解総括	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
13	本学専任教員	合同授業：希望領域(フィールド)の決定	テーマに関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
14	本学専任教員	領域(フィールド)に分かれての演習・活動	「活動の記録」作成および領域担当教員によるコメントをとおした事前・事後学修の実施	65	
15	本学専任教員	領域(フィールド)に分かれての演習・活動	「活動の記録」作成および領域担当教員によるコメントをとおした事前・事後学修の実施	65	
16	本学専任教員	領域(フィールド)に分かれての演習・活動	「活動の記録」作成および領域担当教員によるコメントをとおした事前・事後学修の実施	65	
17	本学専任教員	領域(フィールド)に分かれての演習・活動	「活動の記録」作成および領域担当教員によるコメントをとおした事前・事後学修の実施	65	
18	本学専任教員	領域(フィールド)に分かれての演習・活動	「活動の記録」作成および領域担当教員によるコメントをとおした事前・事後学修の実施	65	
19	本学専任教員	領域(フィールド)に分かれての演習・活動	「活動の記録」作成および領域担当教員によるコメントをとおした事前・事後学修の実施	65	
20	本学専任教員	領域(フィールド)に分かれての演習・活動	「活動の記録」作成および領域担当教員によるコメントをとおした事前・事後学修の実施	65	
21	本学専任教員	領域ごとに「個人のまとめ」作成	「個人のまとめ」事前準備と指導内容に基づく作成作業の実施	65	
22	本学専任教員	領域ごとに「個人のまとめ」作成	「個人のまとめ」事前準備と指導内容に基づく作成作業の実施	65	
23	本学専任教員	領域ごとの「個人のまとめ」報告会	報告会事前準備と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
24	本学専任教員	領域ごとに「領域のまとめ」(全体報告会用資料)作成	「領域のまとめ」(全体報告会用資料)完成に向けた協働学修	65	
25	本学専任教員	領域ごとに「領域のまとめ」(全体報告会用資料)完成	「領域のまとめ」(全体報告会用資料)完成に向けた協働学修	65	
26	本学専任教員	合同授業：全体報告会開催	「領域のまとめ」(全体報告会用資料)完成に向けた協働学修、事後のグループ討議	65	
27	本学専任教員	合同授業：全体報告会振り返り	事後のグループ討議結果記録の作成と「振り返りシート」の作成	65	
28	本学専任教員	合同授業：総括	関係する資料の熟読と「振り返りシート」のコメントに基づく事後学修	65	
教科書	指定しない。				
参考書	必要な資料については、その都度印刷して配布する。				
備考	各領域(フィールド)に分かれてからの活動は、土日、夏季休業期間中に行う場合もあります。フィールドに分かれてから、それぞれの担当教員とよく相談し合ってください。				

科目名	現代社会を視る		担当者	○馬内 里美・田邊 文彦 ウォルグレイブ イーライ	
科目ナンバリング	106011206			常勤・非常勤	
D P	2,4		教員研究室	1229	
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)		配当年次	1年次・前期/後期	
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学习支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
<b>【授業内容】</b> In this class, students will explore a number of concepts based around modern society and their place within it. 現代社会の中で自分と社会の関わりを学ぶ科目 As this is a bilingual class, students will utilize English in order to think and talk about their ideas in a new way. 英語を用いたバイリンガル・クラス  <b>【学習の到達目標】</b> 1. Form and share own opinions 意見を形成・他者と共有できる / 2. Research and present about an issue of personal interest and impact to them 内容を調べ発表できる / 3. Develop English reading skills in a bilingual class. 英語で伝えられる  <b>【成績評価方法】</b> 1. Reflections 40% 授業中の課題実施 / 2. Video Responses (Flip) 40% 課題文章を作成しビデオ投稿 / 3. Personal Presentation 20% 期末プレゼンテーション			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> Students are expected to prepare a short presentation each week based on the theme, and create a video expressing their ideas. 宿題は Flip で動画投稿をすること  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> This class is discussion-based. Students should attend 2/3 of classes. 2/3 (9回) 以上の課題提出とプレゼンが必要。よって5回以上欠席・課題未提出者はF評価となるので注意  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> Proactive attitude, Communication skills and Logical thinking skills. 「主体的な態度」「コミュニケーション力」「論理的思考力」が身につく  <b>【実務家教員担当科目】</b> 実務経験あり		

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Syllabus, Class Flow, Self-Introduction シラバス、授業計画、自己紹介	授業時間の2.5倍準備学修(予習・復習等) ※書籍を購読し課題提出、討論振り返り課題提出が9回以上必要なため	258
2	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	River Crossing 「川渡りゲーム体験」で「協力」を学ぶ	同上	258
3	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Teamwork 「チームワーク」を深く学ぶ	同上	258
4	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Chase the Dragon's Tail 「竜の尻尾ゲーム体験」で「状況変化と協力」を学ぶ	同上	258
5	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Cooperation & Competition 「協力と競争」の両立可能性を学ぶ	同上	258
6	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Change To create a change in your life. 人生に「変化」をもたらすことを学ぶ	同上	258
7	田邊 文彦・ウォルグレイブ イーライ・馬内 里美	Recap 復習	同上	258
8	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Slime Tag 「スライム・タグ・ゲーム体験」でグループ規模毎の対応策を学ぶ	同上	258
9	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Risk (Group Work) グループワークで「リスク対処」を学ぶ	同上	258
10	田邊 文彦・ウォルグレイブ イーライ・馬内 里美	Narrative (Group Work) グループワークで「ストーリー展開」を学ぶ	同上	258
11	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Complexity (Group Work) グループワークで「複雑性」を学ぶ	同上	258
12	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Personal Presentation 個人プレゼン準備「私の最も印象的な出来事」	同上	258
13	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Recap and Preparation まとめとプレゼンテーション	同上	258
14	馬内 里美・ウォルグレイブ イーライ・田邊 文彦	Presentation and Feedback プレゼンテーションと振り返り	同上	258
教科書		なし。教材は授業ごとに配布する		
参考書		授業中に提示		
備考		1年次担当。探求理解プロジェクト6科目の中で1つを選択する科目 / 英語によるコミュニケーション演習(グループ・ワーク、プレゼンテーション)がある / 5回以上欠席・課題未提出者は単位取得できないので注意		

科目名	ボランティア探求			担当者	○渡邊 洋一・学外指導者
科目ナンバリング	106012207				常勤
D P	2,3,4			教員研究室	1124
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・通年
授業形式	実習	授業時間	90時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		<input type="checkbox"/> 「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
<b>【授業内容】</b> 一年次に地域活動・ボランティアの科目を受講した学生を対象に、系統別ボランティア実践者からのレクチャー及びボランティアの実践実習を行い、それまでの講義・実習を受けて、ワークショップ及び実践実習で得たスキルを報告する  <b>【学習の到達目標】</b> 各種ボランティア活動の実践を通じて、各種ボランティア指導者及びNPO・NGO実践者・指導者等を目指すことを目的とする  <b>【成績評価方法】</b> 実践実習活動報告(レポート)及び最終報告会のプレゼンにより評価し、認定される単位は認(2単位)とする			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 実際にボランティア活動を行うことで、社会的課題・検証についても学ぶことができる  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 事前に行われるレクチャーを参考に実践実習で求められる活動内容を把握しておくこと また、損害保険の適用を前提とするため、事前に担当教員(単位認定者)へ届出すること  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 社会の仕組みを色々な角度から学ぶことで、社会的な視野が拡大すると共に社会的な信用が得られる 一年次の地域活動ボランティアの科目で培われたコミュニケーション能力の向上及び地域活動への理解が深くなる  <b>【実務家教員担当科目】</b> 系統別ボランティア実践者からのレクチャー及び各施設等でのボランティアの実践実習を行う		
<b>授 業 計 画</b>					
1. ボランティア活動講座 講義Ⅰ 基礎講座(一年次の講座の確認) 講師: 本学専任教員 講義Ⅱ～Ⅵ 系統別実践者からのレクチャー(講義・演習等) 講師: 外部講師 ・環境系(1コマ) ・福祉系(2コマ) 高齢・障害者福祉(1コマ)、母子・児童福祉(1コマ) ・生涯学習系(1コマ) ・地域振興系(1コマ) まちづくり・災害復興支援 2. ボランティア活動実践実習 講義Ⅱ～Ⅵから1・2箇所選択し、都合10時間程度の実習を行い、実習活動報告書(レポート)を提出 3. ボランティア活動総括 ・それまでの講義・実践実習活動に関するワークショップ(連講2コマ) ・実践活動の報告会(1コマ)					
教科書	使用しない、必要に応じて資料を配布				
参考書	講義時に必要に応じて紹介				
備考	実践実習を伴うため、事業日以外の日程で実施する場合もあり、特に土日、夏季・冬季の休業期間を充てることも多く、また夜間の活動も含めて考慮すること				

科目名	現代史			担当者	星野 修
科目ナンバリング	106021208				非常勤
D P	1			教員研究室	非常勤講師室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ダイアログ <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 冷戦後の日本と国際社会の変化と現状について、次の2つの問題を考察するという講義をします。 一つ目は、「なぜ、日本の政治は、こんなにも面白くないのか」という問題です。近年の国政選挙の投票率は、50%台前半です。日本の有権者の4,300万から5,000万人以上が棄権しており、20代の若者のおよそ3人に1人しか投票に行きません。日本の投票率の低さ、また若者の政治的関心の低さは、国際的にも群を抜いています。いつ頃から、なぜ、日本の有権者は、政治に関心も期待も持たなくなったのでしょうか。 二つ目の問いは、「国際社会において、民主主義は、なぜ、人気をなくし、専制化する国々が増えているのでしょうか」です。世界の人口の70%は、現在、専制体制の下で、自由も権利も奪われて生きています。「専制化の第3の波」といわれるこの状況は、いつ頃から、またなぜ、生じたのでしょうか。 この2つの問いに答えるかたちで、現代史の最も重大な問題を考察していきます。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 講義の終わりに質問時間を設けて、それに回答すると共に、重要な質問については、受講者全員で討議する。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 授業中の飲食、また遅刻を厳禁する。  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 現代史の動向・変化を理解することによって、有権者としての基本的知識と判断力を身につけることができるようになる。  <b>【実務家教員担当科目】</b> 該当しない。		
<b>【学習の到達目標】</b> 日本社会と国際社会の、ここ30年間ぐらいの動向・変化を理解するための、基礎的知識と社会・政治理論とを習得する。					
<b>【成績評価方法】</b> 中間試験(30点)と期末試験(70点)の合計で評価する。					

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	星野 修	1. 現代日本社会と国際社会の現状——講義の概要について——	講義録/配付資料を復習/予習し、また次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
2	星野 修	2. 日本の有権者の投票行動とその変化——国際比較——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
3	星野 修	3. 選挙制度——中選挙区制から小選挙区・比例代表並立制への転換——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
4	星野 修	4. 政党システムの変遷——選挙制度との関連——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
5	星野 修	5. 統治システム——議院内閣制、大統領制、半大統領制——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
6	星野 修	6. 政治体制の分類——民主制と専制——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
7	星野 修	7. ドイツと韓国との比較考察	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
8	星野 修	8. 国際社会の現状と変化——「民主化の第3の波」とその終焉——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
9	星野 修	9. 「専制化の第3の波」について	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
10	星野 修	10. 専制化の事例①——東欧諸国——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
11	星野 修	11. 専制化の事例②——南アジア——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
12	星野 修	12. 専制化の歴考察考察	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
13	星野 修	13. 専制化の現状の考察	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。	258
14	星野 修	14. 専制化と再民主化の展望	講義録/配付資料を復習し、疑問点をまとめておく。期末試験まえに回答する。	258
教科書	用いない。毎回、講義のレジュメと資料を配付する。			
参考書	用いない。(ただし、講義中に、参考文献は、随時、紹介する。)			
備考	特にないが、参加・討論型の講義にしたいとは思っています。			

科目名	文化人類学			担当者	岡 恵介
科目ナンバリング	106021209				常勤
D P	1			教員研究室	1321
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】		【課題等のフィードバック方法】			
<p>所与の環境とどのようにつきあい、いかにそれを改変して暮らしていくのかは、人類の進化の過程や、地域の民族・住民が共有する文化・価値観によって異なってくる。</p> <p>このような多様な環境と文化のあり方について、主としてアフリカの狩猟採集民や焼畑農耕民、北上山地山村の農耕民の具体的事例を参照しながら講義し、人類の進化を一方の軸としつつ、環境問題という視点をも絡めながら、文化人類学の基礎を学ぶ。</p>		<p>各講義の最後に時間を設け、質問を受け付け回答する。</p>			
【学習の到達目標】		【履修上の注意・予習・復習について】			
<p>人類の文化・社会の多様性を理解するため、世界や東北地方の農山村の事例に学びつつ、文化人類学の人類学的視点や基礎概念、多様な文化の存在と意義、人類の本来の暮らし方とその価値観について、一定程度理解する。</p>		<p>遅刻は15分まで可。</p> <p>飲食、携帯電話の使用は禁止。ただし、水分補給のためのペットボトルの持ち込みは可。前時のノートを整理してよく復習し、次回の講義範囲の予習をして、講義に臨むこと。板書をしながら講義を進めていくので、ノートを丹念に取ること。</p>			
【成績評価方法】		【受講して得られる効果・メリット、その他】			
<p>基本的に、1～2回のレポート(40%)と試験(60%、自筆のノート、教科書持ち込み可、ノートへのコピーの貼り込みは禁止)によって評価する。遠隔授業に移行した場合にはノートの提出を求める(ノート20%、レポート30%、試験50%)。</p>		<p>文化人類学の基礎と人類進化の方向性、人類文化の多様性を具体的な事例に基づいて学ぶことによって、異文化への理解や相対的なスタンスの持ち方と、伝統社会における環境問題を生起させないシステムの理解が、今後の日本社会の再構築における視点として有効であることが学べる。</p>			
		【実務家教員担当科目】			
		なし。			

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	岡 恵介	授業のすすめ方と、「文化人類学」とはどのような学問か?	人類の歴史と文化及び文化人類学の内容について予習し、板書をもとに様々な学問のなかでの文化人類学の位置づけについてノートをもとに復習する。	258	
2	岡 恵介	人類とはいかなる動物か? 一直立2足歩行、道具使用、言語使用、文化の有無	人類とその他動物とを隔てる決定的な違いは何かについて自分で調べて予習し、ノートをもとに様々な視点からの検討を復習する。	258	
3	岡 恵介	狩猟採集民の社会① 一農耕を行わない社会の持続可能性	狩猟採集民とはどんな人たちなのか予習し、農耕を行わない社会がなぜ持続的に存続できていたのかについて、ノートをもとに復習する。	258	
4	岡 恵介	狩猟採集民の社会② 一労働時間の短さと何よりも平等を重んじる社会	狩猟採集民社会の特徴について予習し、5つの特徴と、とくに重要な労働時間と平等性についてノートをもとに復習する。	258	
5	岡 恵介	狩猟採集民の社会③ 一現代社会との比較	世界の民族の様々な社会の生存戦略について予習し、タイムミニマイザー型社会とエナジーマキシマイザー型社会の類型化が意味するものを、ノートをもとに復習する。	258	
6	岡 恵介	焼畑農耕民の社会 一ザンビア国ベンバのチテムネ焼畑とクタナの論理	アフリカの焼畑農耕民の社会について予習し、ベンバの焼畑耕作の特徴と平等性への希求がもたらすものについて、ノートをもとに復習する	258	
7	岡 恵介	ネイティブ・アメリカンや北海道アイヌの社会一中緯度地帯の狩猟採集民	ネイティブ・アメリカンや北海道アイヌの歴史について予習し、中緯度狩猟採集民の社会の特徴と彼らが辿った歴史的過程について、ノートをもとに復習する。	258	
8	岡 恵介	農耕民としての日本人 一憑きもの、呪詛、定住化	人口の大半が農民だった江戸時代の日本人の農山村社会について予習し、定住化のメリット・デメリットについて、ノートをもとに復習する。	258	
9	岡 恵介	北上山地の暮らし① 一環境・生業・伝承	北上山地の山村の辿ってきた歴史について教科書で予習し、その環境利用や生業複合、伝承について、ノートと教科書をもとに復習する。	258	
10	岡 恵介	北上山地の暮らし② 一継承されてきた狩猟採集などの生業文化	北上山地山村の自然環境を利用した生業についてノートと教科書で予習し、山村の生業複合の意味について、ノートと教科書をもとに復習する。	258	
11	岡 恵介	北上山地の暮らし③ 一雑穀を中心とする畑作と食文化	北上山地山村の畑作・焼畑、牧畜や森林利用、施肥についてノートと教科書で予習し、その特徴である米を主食としない文化について、ノートと教科書をもとに復習する。	258	
12	岡 恵介	北上山地の暮らし④ 一牧畜と森林、畑をめぐるエコシステム	北上山地山村の牧畜や森林利用、施肥についてノートと教科書で予習し、その特徴である生業複合の形成するエコシステムについて、ノートと教科書をもとに復習する。	258	
13	岡 恵介	北上山地の暮らし⑤ 一近世以降の飢饉との戦いと救荒食、山地特有の生業	北上山地山村の飢饉の歴史、救荒食、山地の生業についてノートと教科書で予習し、地域の資源を利用したサバイバル・ストラテジーや、それらを成立させた自然環境条件などについて、ノートと教科書をもとに復習する。	258	
14	岡 恵介	北上山地山村の暮らしの日本社会における位置づけと授業のふりかえり	これまでの授業をふりかえり、とくに重要であったと考える点についてノートと教科書で予習し、ふりかえりの授業でこれまで十分理解できていなかった点をノートと教科書をもとに復習する。	258	
教科書	講義の途中からテキスト「山棲みの生き方」七月社を使用する。				
参考書	講義のなかで紹介していく。				
備考	なし。				

科目名	地域文化論			担当者	岡 恵介
科目ナンバリング	1060212010				常勤
D P	1			教員研究室	1321
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input checked="" type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 約160年前まで東京は江戸と呼ばれ、鎖国政策でほとんど外国の物資が入ってこない中で、同時代の欧米の都市と比べても後れを取らない生活文化が営まれていた。近世では世界最大の都市といえる人口100万都市の江戸の膨大な日常消費は、草の根レベルの活発なリサイクルで支えられていた。藁、竹、灰、みな太陽エネルギーの有効利用で捨てずにリサイクルされていた。現代社会のお手本ともなりうる循環型リサイクル社会であった江戸を、地域文化という視点から探っていく。				<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 各講義の最後に時間を設けて、質問を受け付け回答する。	
<b>【学習の到達目標】</b> エネルギー利用を中心とした循環型リサイクル社会としての江戸の実態を理解し、今後の日本社会にどのように反映していくべきかを述べる事が出来る。				<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 毎時質問を用意するための予習を課す。全員質問できるように準備しておくこと。 発表時は、各人発表内容を分かりやすくまとめたレジュメを用意し、発表前に担当教員のチェックを受けること。答えられなかった質問には、後日調べて回答すること。 遅刻は15分まで可。飲食禁止、水分補給のためのペットボトルの持ち込みは可。	
<b>【成績評価方法】</b> 作成したレジュメの内容を含む発表内容80%、毎時の質問内容と回数20%により評価する。				<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 江戸におけるエコロジカルな視点や技術について学び、実生活に応用することができるようになる。	
				<b>【実務家教員担当科目】</b> なし。	

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	岡 恵介	ガイダンス～本講義の意図と展開～	授業概要から授業内容の流れを予習し、ノートをもとに授業の意図するところを復習し、自分が使う教科書を手配して入手しておく。	258
2	岡 恵介	江戸のリサイクルの実態を探る	教科書の該当部分を読んで予習し、講義内容についてノートをもとに復習しておく。	258
3	岡 恵介	照明は植物由来や魚由来の油	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
4	岡 恵介	稲藁で様々な民具や防寒具が作られた	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
5	岡 恵介	プラスチック登場前の重要素材だった竹	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
6	岡 恵介	衣類は、麻などの畑作物や古着の再利用で	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
7	岡 恵介	古い蔵に棲む微生物が、世界に類を見ない酒日本酒を醸した	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
8	岡 恵介	畑作物収穫→食料→人糞尿→肥料→畑作物収穫のリサイクル	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
9	岡 恵介	竈や囲炉裏の灰があく抜きや糞の溶媒となった	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
10	岡 恵介	適度な樹木の伐採が、里山を形成した	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
11	岡 恵介	物流は船で、日本海側が大動脈だった	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
12	岡 恵介	豊かな森林の保護が、旨い魚を育てた	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
13	岡 恵介	森林保水力が川の流れを維持し、水車を回すエネルギーを生んだ	教科書の該当部分を読んで予習し、発表レジュメと質疑内容について復習しておく。	258
14	岡 恵介	振り返りとまとめ	これまでの発表レジュメを読み返して予習し、これまでの授業で聞いた発表内容から江戸のリサイクル文化についてまとめる。	258
教科書	アズビー・ブラウン著「江戸に学ぶエコ生活術」阪急コミュニケーションズ。			
参考書	授業のなかで紹介していく。			
備考	なし。			

科目名	心理学概論			担当者	野崎 瑞樹
科目ナンバリング	1060212012				常勤
D P	1			教員研究室	3309
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 知覚、学習、記憶、人格、発達、社会など、心理学のさまざまな領域における基本的な知識を習得し、人間理解を促進することによって、保健福祉・生活福祉の専門教育に向けた教養を身につける。		【課題等のフィードバック方法】 次回の講義で解説する。 講義の後、質問を受け付ける。			
【学習の到達目標】 日常生活におけるさまざまな現象や身近な経験について、心理学的視点から考察することができる。 自分や他者について理解を深める。		【履修上の注意・予習・復習について】 心理学の最も基礎的な科目である。			
【成績評価方法】 定期試験 80%、出席および受講態度等 20%		【受講して得られる効果・メリット、その他】 認定心理士を取得するために必要な科目である。また、任用資格(社会福祉主事、身体障害者福祉司)に必要な科目である。 さまざまな場面で人との関わりが求められる保健福祉・生活福祉を学ぶ過程において、人々の心理や行動、社会における諸現象を理解する基礎となる。			
		【実務家教員担当科目】 非該当			

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	野崎 瑞樹	オリエンテーション	シラバスを読んで授業内容を理解する	258
2	野崎 瑞樹	心理学とは(歴史、領域、対象、方法など)	予習: 日常生活における心理学に関連する事象について考える。 復習: 授業で学習した心理学の視点について考察する	258
3	野崎 瑞樹	知覚(視覚、錯視)	予習: 日常生活における心理学に関連する事象について考える。 復習: 授業で学習した内容が日常生活の中でどのように応用されているか考察する。	258
4	野崎 瑞樹	知覚(知覚に影響するもの)	予習: 日常生活における心理学に関連する事象について考える。 復習: 授業で学習した内容が日常生活の中でどのように応用されているか考察する。	258
5	野崎 瑞樹	記憶(記憶のしくみと種類)	予習: 自身の経験と他者の話などから、記憶について考える。 復習: 授業で学習した内容を踏まえ、改めて自身の経験を含めて考察する。	258
6	野崎 瑞樹	学習(条件付け、学習の応用)	予習: 自身の経験と他者の話などから、学習について考える。 復習: 授業で学習した内容を踏まえ、改めて自身の経験を含めて考察する。	258
7	野崎 瑞樹	思考(問題解決)	予習: 自身の経験と他者の話などから、思考について考える。 復習: 授業で学習した内容を踏まえ、改めて自身の経験を含めて考察する。	258
8	野崎 瑞樹	情緒(こころとからだの関係)	予習: 自身の経験と他者の話などから、情緒について考える。 復習: 授業で学習した内容を踏まえ、自身・他者の立場から考察する。	258
9	野崎 瑞樹	欲求・動機付け(諸理論と応用)	予習: 自身の経験と他者の話などから、行動の源となる欲求について考える。 復習: 授業で学習した内容を踏まえ、自身・他者の立場から考察する。	258
10	野崎 瑞樹	人格(パーソナリティ理論、測定)	予習: 自身の経験と他者の話などから、人格について考える。 復習: 授業で学習した内容を踏まえ、自身・他者について考察する。	258
11	野崎 瑞樹	発達(胎児期～青年期)	予習: 自身のこれまでの発達について考える。 復習: 授業で学習した内容を踏まえ、自身・他者について考察する。	258
12	野崎 瑞樹	発達(青年期～老年期)	予習: 自身のこれからの発達について考える。 復習: 授業で学習した内容を踏まえ、自身・他者について考察する。	258
13	野崎 瑞樹	社会(自己と他者)	予習: 自身の経験と他者の話などから、自己について考える。 復習: 授業で学習した内容を踏まえ、自身・他者について考察する。	258
14	野崎 瑞樹	社会(関係と集団)	予習: 自身の経験と他者の話などから、対人関係について考える。 復習: 授業で学習した内容を踏まえ、自身・他者について考察する。	258
教科書	指定しない。			
参考書	随時紹介する。			
備考	特になし。			

科目名	哲学			担当者	菅原 宏道
科目ナンバリング	1060212013				非常勤
D P	1			教員研究室	非常勤講師室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 古代から近代までの西洋哲学を、知の形成と変遷の歴史として概観する。次に、論理学の基礎を科学的思考として学ぶ。そして、自律的に思考して判断や行為をなすための科学的リテラシーの基礎を学ぶ。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> Google Classroom や e メールを使用し、提出物や質問などに対して、必要に応じたフィードバックを個別に行います。		
<b>【学習の到達目標】</b> (1) 哲学がどのような知的営みであるかを理解できる。(2) さまざまな哲学について、整理して理解し、知識として定着させることができる。(3) さまざまな哲学について、自分自身の主張とその理由を読み手(聞き手)に伝えることができる。(4) 科学的思考としての論理学と科学的リテラシーについて理解し、それらを現実の事象に適用することができる。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> <b>[重要]</b> Google Classroom や e メールを使用して、履修者全員あるいは個別に連絡をすることがあります。履修者は、常用する PC やスマートフォンなどのデバイスで教員からの連絡を常に受信できるようにしておいてください。		
<b>【成績評価方法】</b> (a) 課題 50%, (b) 試験 50% 成績評価の基準は「学習の到達目標」への到達度とします。			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 古来より、人間、世界、物事などがどのように考えられてきたかを知ることや、論理学を科学的思考の観点から学ぶことは、学問や私たちの実生活における思考、判断、行為をよりよく導く上で有益と思います。		
			<b>【実務家教員担当科目】</b> 本科目は、東北大学や諸学会において欧米諸国の哲学・思想や倫理学を、また、医療系、理学系のプログラムなどにおいて諸科学に関わる研究をしている担当者が、それらの知見や成果を活かした講義をする。		

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	菅原 宏道	イントロダクション：哲学の問いと論理学の問い	[予習] 本科目のシラバスを理解しておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
2	菅原 宏道	古代哲学1：ソクラテス以前の哲学者、ソクラテス	[予習] 知と徳の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
3	菅原 宏道	古代哲学2：プラトン、アリストテレス	[予習] 普遍と個別の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
4	菅原 宏道	中世哲学：アウグスティヌス、トマス・アクィナス	[予習] 存在と本質の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
5	菅原 宏道	近世哲学1：デカルト、スピノザ	[予習] 観念の由来について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
6	菅原 宏道	近世哲学2：ロック、ヒューム	[予習] 経験による知識と信念について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
7	菅原 宏道	近代哲学：カント	[予習] 認識の成立について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
8	菅原 宏道	論理学入門1：日常的な思考と論理学、推論規則	[予習] 論証の正しさについて考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
9	菅原 宏道	論理学入門2：全称命題と特称命題	[予習] 「すべて」と「一部」の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
10	菅原 宏道	科学的思考入門1：演繹と帰納(枚挙的帰納、類推、アブダクション)	[予習] 演繹と帰納について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
11	菅原 宏道	科学的思考入門2：仮説演繹法	[予習] 仮説の検証について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
12	菅原 宏道	科学的思考入門3：説明、予測、応用	[予習] 社会における科学の役割について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
13	菅原 宏道	科学的リテラシー1：トランス・サイエンス問題	[予習] 科学・技術に関わる価値について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
14	菅原 宏道	科学的リテラシー2：科学・技術に関する政策の決定	[予習] 科学・技術政策の責任について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。	258
教科書	配布および事前に Google Classroom にアップロードするレジュメに基づいて講義してゆきます。			
参考書	『哲学マップ』、貫成人(著)、ちくま新書、2004年 『まったくゼロからの論理学』、野矢茂樹(著)、岩波書店、2020年 『科学的思考』のレッスン』、戸田山和久(著)、NHK出版、2011年			
備考	オフィス・アワーは、初回の講義と Google Classroom で伝えます。			

科目名	教育学			担当者	佐々木真由美	
科目ナンバリング	1060212014				非常勤	
D P	1			教員研究室	非常勤講師室	
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・後期	
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位	
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ダイバート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし					
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】		【課題等のフィードバック方法】				
<p>・本授業は教育の目的・意義・方法等について基本的原則や理論的基礎を学び、身近な教育問題を取り上げながら学習者の成長に寄り添う教育の在り方について考察していく。</p>		<p>・学習過程に復習の時間を位置付け、解説を加える。・学友による相互評価をする。</p>				
【学習の到達目標】		【履修上の注意・予習・復習について】				
<p>①教育の目的・意義・方法・内容等についての基本的原則や理論的基礎を理解できる。②教育史、教育行政制度、学校経営等の視点から社会の要請に応える教育の意義を理解できる。③いじめ・不登校対策、教育評価、教員の資質能力等の教育者側の視点から教育を考察することができる。</p>		<p>・課題がある。・感染症の感染状況により、授業方法を変更することがある。・平常時の授業においては、双方向性のある授業となる。・発表、指名がある。・制限のある対面授業では、Class-roomに参加し、意見交換をする。</p>				
【成績評価方法】		【受講して得られる効果・メリット、その他】				
<p>・最終レポートの内容及び課題の提出状況・内容、授業への参加態度等を総合的に判断し、評価する。・科目の評価項目・基準等を定めたルーブリックに基づいて評価する。</p>		<p>・社会から求められている資質・能力の習得につながる。・多様な教材と学習方法による学びを通し、学び方が身に付く。</p>				
【実務家教員担当科目】		非該当				
<b>授 業 計 画</b>						
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間			
			予習・復習		時間(分)	
1	佐々木真由美	オリエンテーション(授業のねらい、授業内容、評価方法等)。アイスブレイク。 ④ルーブリック	予習:影響を受けた人や出来事、家訓等をまとめる。復習:学習を振り返り。在学中に必要な学びを文字化する。。			258
2	佐々木真由美	教育の目的や意義をふまえ、教育格差等について考える。④教育基本法、教育格差	予習:教育の目的について調べる。復習:教育による格差・不平等を取り上げ、解決策を提案する。			258
3	佐々木真由美	事例をもとに、子どもの成長・人間の成長について考える。④発達最近接領域	予習:心がけている/きた学び方についてまとめる。復習:学友の学び方を参考に、取り組みたい学び方を文字化する。			258
4	佐々木真由美	学びの効果を高める教育方法について考える。④詰め込み教育、ゆとり教育	予習:「教え方がうまい先生とは?」具体的な事例を集める。復習:ゆとり教育の本質をふまえ、成長を促す学びについてまとめる。			258
5	佐々木真由美	義務教育の歴史を踏まえ、教育を受ける権利について考える。④教育勅語	予習:違いを述べる。「この子らに世の光を、この子らを世の光に。」復習:今日の教育問題と解決策を提案する。			258
6	佐々木真由美	教育行政制度を理解し、学びを支える仕組みについて考える。④文部科学省、教育委員会等	予習:卒業証書の文言とその意味についてまとめる。復習:社会とつながる大学の学びを表すMy卒業証を作成する。			258
7	佐々木真由美	居場所となるべき学校の姿を考える。④いじめ防止対策推進法、フリースクール、不登校	予習:いじめ、不登校に関する新聞記事を収集する。復習:子どもたちが社会とつながって学ぶ居場所について提案する。			258
8	佐々木真由美	社会の要請に応える教育課程について考える。④教育課程、ヒドゥンカリキュラム	予習:指導を受け、身に付いた価値観や生き方をまとめる。復習:残しておきたい学習内容(教材)とその理由を整理する。			258
9	佐々木真由美	発達の特性に基づいた教育について考える。④発達障がい、インクルーシブ	予習:発達障がい等に関する新聞記事を収集する。復習:自身ができるインクルーシブな社会をつくる取組をまとめる。			258
10	佐々木真由美	公正な評価、評価方法について考える。④評価規準、評価基準、モデレーション	予習:ルーブリックをもとに自己の学習を評価する。復習:学習を振り返り、今後注力する評価項目を整理する。			258
11	佐々木真由美	教育効果を高める学校経営について考える。④社会に開かれた教育課程	予習:教員以外からの学びを一覧にする。復習:学校外での効果的な学びについてマイプランを作成する。			258
12	佐々木真由美	学び(学習)の本質について考える。④生涯教育	予習:カルチャーセンター等の広告やリーフレットを持ち寄る。復習:「習得・探究」に夢中になる理由をまとめる。			258
13	佐々木真由美	社会から求められる資質・能力について知り、今後の学び方を考える。④主体的・対話的で深い学び	予習:資料について意見を述べる。復習:学友の意見を比較・分析し、学び方を整理する。Society5.0に向けた人材育成。			258
14	佐々木真由美	総括:目指す自分像を実現するための学習方法等を考える。④キャリアデザイン	予習:キャリア形成に関する気付き等をまとめる。復習:社会人1年目の自分に手紙でエールを送る。			258
教科書	適宜プリントを配付					
参考書	問いからはじめる教育学(有斐閣ストゥディア)、学制百年史(文部科学省)、 教育思想史(有斐閣アルマ)、「アクティブ・ラーニング」を考える(東洋館出版社) 知識基盤社会を生き抜く子どもを育てる コンピテンシー・ベースの授業づくり(ぎょうせい)					
備考	特になし					

科目名	生命倫理学			担当者	高山 馨
科目ナンバリング	1060212015				非常勤
D P	1,2			教員研究室	非常勤講師室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 本講義では、現代倫理学で用いられる基礎的な考え方や方法を通じて、とりわけ医療やその技術の発展によって生じている倫理的な問題を学びます。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 毎回アンケートを取り、質問に答える回を定期的に設ける。		
<b>【学習の到達目標】</b> (1) 生命倫理学の基礎知識を身につける。 (2) 生命倫理学で用いる方法についての基礎知識を身につける。 (3) 生命倫理学の問題を理解し、現実のことがらについて上述の基礎知識や方法を自分でも用いることができるようになる。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 適宜復習し、参考文献にもあたることを望ましい。		
<b>【成績評価方法】</b> 平常点 40% (アンケートの提出等)、学期末試験 60%			<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当しない。		
<b>授 業 計 画</b>					

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	高山 馨	イントロダクション：倫理学の方法と作法	〈予習〉本科目のシラバスを一読する。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
2	高山 馨	倫理学の代表的な立場(1)：功利主義	〈予習〉配布資料を一読し、善悪の基準について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
3	高山 馨	倫理学の代表的な立場(2)：義務論	〈予習〉配布資料を一読し、善悪の基準について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
4	高山 馨	倫理学の代表的な立場(3)：徳倫理学	〈予習〉配布資料を一読し、善悪の基準について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
5	高山 馨	質問への回答(余裕があれば、そのほかの倫理理論)	〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
6	高山 馨	医療倫理の四原則	〈予習〉配布資料を一読し、医療における価値の基準について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
7	高山 馨	パターンリズムとインフォームドコンセント	〈予習〉配布資料を一読し、患者の自己決定について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
8	高山 馨	終末期医療Ⅰ	〈予習〉配布資料を一読し、安楽死の是非について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
9	高山 馨	終末期医療Ⅱ	〈予習〉配布資料を一読し、患者の幸福について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
10	高山 馨	質問への回答(余裕があれば、ケアの倫理)	〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
11	高山 馨	生殖医療Ⅰ	〈予習〉配布資料を一読し、生殖医療の適用範囲について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
12	高山 馨	生殖医療Ⅱ	〈予習〉配布資料を一読し、胎児の道徳的地位について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
13	高山 馨	再生医療	〈予習〉配布資料を一読し、再生医療の可能性について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。	258	
14	高山 馨	全体のまとめ	〈復習〉これまでの講義内容を整理して理解する。	258	
教科書	プリントを配布するので、教科書は不要です。				
参考書	講義内で適宜紹介します。				
備考	特になし。				

科目名	コミュニケーション論			担当者	邑本 俊亮
科目ナンバリング	1060212016				非常勤
D P	1,2,4			教員研究室	非常勤講師室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> この授業では、心理学をベースにコミュニケーションの基礎と応用を学びます。私たちはふだん、あたりまえのように相手が発した情報を理解し、あたりまえのように自分の考えを表現して相手とコミュニケーションを行っています。しかし、そこには私たち人間のきわめて高度な心理メカニズムが働いています。また、コミュニケーションはどんな場面でもうまくゆくとは限りません。その成否はさまざまな要因に左右されます。その要因の1つが、情報の送り手のコミュニケーション能力です。自分の考えを正確に、そして効果的に他者に伝える能力。それはみなさんの今後の人生において、ますます重要なものとなっていくでしょう。この授業を通して、そのような能力を向上させるためのヒントを獲得してもらえれば幸いです。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 小テストの解説を、小テスト実施直後に行う。小テスト結果は開示する。		
<b>【学習の到達目標】</b> 1. 人と人とのコミュニケーションに関する心理学的知識を獲得し、日常生活の中で思い出したり活かしたりできるようになる。 2. 実社会で役立つコミュニケーション能力を向上させるためのきっかけをつかむ。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 次の行為は原則としてすべて禁止です。遅刻、途中退出、私語、授業中の携帯・スマホ、他の受講者に迷惑をかける行為、提出物の締切後の提出、不正行為。		
<b>【成績評価方法】</b> 提出物 5%、小テスト 45%、定期試験 50%			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 1. 人と人とのコミュニケーションに関する心理学的知識を獲得し、日常生活の中で思い出したり活かしたりできるようになります。 2. 実社会で役立つコミュニケーション能力を向上させるためのきっかけが得られます。		
<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし					
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	邑本 俊亮	言葉で伝えることの難しさ	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
2	邑本 俊亮	言葉以外のメッセージ(1)	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
3	邑本 俊亮	言葉以外のメッセージ(2)	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
4	邑本 俊亮	まとめと小テスト1	ここまでの内容を復習し、小テストに備えて勉強しておく。授業後は、授業内容を復習し、自己関連づけを行う。	258	
5	邑本 俊亮	自己とコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
6	邑本 俊亮	会話の成立要件	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
7	邑本 俊亮	言語理解の心理メカニズム	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
8	邑本 俊亮	作文の認知過程	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
9	邑本 俊亮	まとめと小テスト2	ここまでの内容を復習し、小テストに備えて勉強しておく。授業後は、授業内容を復習し、自己関連づけを行う。	258	
10	邑本 俊亮	好きを生み出すコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
11	邑本 俊亮	見せて伝えるコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
12	邑本 俊亮	実社会でのコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
13	邑本 俊亮	コミュニケーションクイズ大会	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	258	
14	邑本 俊亮	小テスト3と全体のまとめ	ここまでの内容を復習し、小テストに備えて勉強しておく。授業後は、授業内容を復習し、自己関連づけを行う。	258	
教科書	邑本俊亮(著)『言葉とコミュニケーション 心理学を日常に活かす』朝倉書店				
参考書	なし				
備考	なし				

科目名	経済学概論			担当者	坂本 直樹
科目ナンバリング	1060212017				非常勤
D P	1			教員研究室	非常勤講師室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

【授業内容】

この講義では、大学生として身につけてほしい経済学の素養を説明する。経済の見方を身につけるには、「経済学的な考え方」を理解することが必要である。ニュースや新聞等で経済事情を語る人々のことを「エコノミスト」というが、エコノミストになるには、社会科学系の学部を卒業する必要はない。経済学的な考え方で世の中の社会現象を説明できるようになることが、エコノミストになるためには必要である。

【学習の到達目標】

経済の知識を増やすのではなく、経済学的な考え方を身につける。具体的には、機会費用の概念による意思決定、比較優位の原理による分業と特化の利益、需要曲線と供給曲線のシフトによる市場の変化、マクロ経済政策の方法、囚人のジレンマなどの理解である。

【成績評価方法】

授業全体で小テストを20問出題し(授業1回あたり1、2問)、1問あたり5点を配点して100点により成績を評価する。合格点(60点)に満たない場合は、10点満点のレポート課題の提出を認め、小テストとレポートを合算した得点を成績とするが、この場合、成績の上限を60点とする。

【課題等のフィードバック方法】

課題として小テストを実施したのち、解説を付けた採点結果を配付する。さらに、それに基づくディスカッションを行う。なお、小テストの提示、解答入力、採点、解説の提示はすべてオンラインにより双方向で行う。

【履修上の注意・予習・復習について】

教科書を指定しているので、授業計画を見て授業前に該当する章をよく読んでおくこと。

【受講して得られる効果・メリット、その他】

- ・社会科学がどのような学問分野なのか知ることができる。
- ・自分の専門を活かして公務員になるという選択肢もあるが、その場合、教養試験の社会科学の枠で「政治・経済」が試験科目に課される。本講義は公務員試験の内容にも対応している。

【実務家教員担当科目】

該当しない。

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	坂本 直樹	ガイダンス(授業の進め方)	予習: シラバスの確認、目次やはしがき等による教科書の概要の確認 復習: シラバスの再確認	258
2	坂本 直樹	経済学への招待(序章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
3	坂本 直樹	選択と取引①(第1章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
4	坂本 直樹	選択と取引②(第1章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
5	坂本 直樹	需要・供給分析・基礎①(第2章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
6	坂本 直樹	需要・供給分析・基礎②(第2章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
7	坂本 直樹	需要・供給分析・ビジネスへの応用(第3章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
8	坂本 直樹	需要・供給分析・政策への応用(第3章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
9	坂本 直樹	GDP・物価・失業①(第4章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
10	坂本 直樹	GDP・物価・失業②(第4章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
11	坂本 直樹	経済成長と安定化政策①(第5章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
12	坂本 直樹	経済成長と安定化政策②(第5章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
13	坂本 直樹	ゲーム理論の基礎①(第6章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
14	坂本 直樹	ゲーム理論の基礎②(第6章)	予習: 教科書の通読 復習: 教科書の精読・小テスト	258
教科書	矢口和宏・坂本直樹編著『経済学概論』(株式会社みらい)			
参考書	・伊藤元重『入門経済学(第4版)』(日本評論社) ・グレゴリー・マンキュー『マンキュー 入門経済学(第2版)』(東洋経済新報社)			
備考	・授業計画の学習内容にある( )の中は教科書の該当章である。 ・授業計画の5回目～12回目は「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」の主要なテーマであり、公務員試験との関連が強い。			

科目名	政治学			担当者	王 元
科目ナンバリング	1060212018				常勤
D P	1			教員研究室	1324
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】		【課題等のフィードバック方法】			
<p>人間は社会的動物である。政治は人間の社会的利害を調整するしくみである。人々が生活する社会における秩序を形成し、維持し、修正し、また時には破壊することを通じて実行される活動と手段である。</p> <p>政治学は古代ギリシアに誕生して以来、長い歴史を刻んできた。しかし、政治行動の判断基準や結論には必ずしも法則性があるとはいえない。むしろ、政治を担う人の個性やイデオロギー、感情、さらには偶然性に左右される側面もある。総合的に知識や手法も駆使して最善の政策決定を促すところに、政治学の目的や妙味がある。</p> <p>政治学の基礎知識と発想方法を解説する。政治学の面白さと大切さを伝え、政治現象一般を把握する視点を身に付けてもらうことがこの講義のねらいである。講義形式を基本とする。ただし適宜ビデオ教材を利用する。</p>		<p>授業終了後、質問を受け付け、回答します。</p>			
【学習の到達目標】		【履修上の注意・予習・復習について】			
<p>近代社会の特徴、主たる政治思想の歴史、自由主義と民主主義の思想などについて基本的な知識を習得することをめざす。併せて政治現象への洞察力を高め、政治判断の能力を培いたい。</p>		<p>私語及び携帯電話の使用禁止。 受け身にならず、自ら探究心を持つことが重要だ。 政治問題への関心を抱き、まず新聞を読む習慣を身に付けてほしい。</p>			
【成績評価方法】		【受講して得られる効果・メリット、その他】			
<p>期末試験の成績に、出席などを加味する。</p>		<p>政治現象を分析するための概念と手法を身につけ、各種の資格試験に必要な政治分野の基礎知識を学ぶことができる。</p>			
		【実務家教員担当科目】			
		該当なし			
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	王 元	ガイダンス：政治学の概念と体系	政治とは何か 政治学とは何	258	
2	王 元	国家統治と主権	主権概念の史的経緯 市民社会・国民国家の成立と政治的統合	258	
3	王 元	権力	権力の性質、支配・権威・リーダーシップ・影響とソフトパワー	258	
4	王 元	集権と分権	政治集権と中央・地方の権力関係 地方自治の意義・過疎と過密	258	
5	王 元	政治参加	代表制の種類	258	
6	王 元	選挙と投票行動	選挙の諸原則 選挙制度	258	
7	王 元	政党政治	代議制民主主義における政党の機能と組織 議会の機能・審議過程と野党の役割	258	
8	王 元	世論と政治	マスメディアと世論の形成 圧力団体発生の原因と活動	258	
9	王 元	官僚制	政治と行政 官僚制の概念と官僚制化	258	
10	王 元	代表的な政治体制	議院内閣制、大統領制と党国体制 米国、英国、日本と中国などそれぞれの特徴	258	
11	王 元	政治文化と政治発展	政治意識 民主主義の維持と拡大	258	
12	王 元	国際政治	国際政治と国内政治 グローバルゼーション	258	
13	王 元	地政学	地理的な視点から人類政治を巨視的に見る	258	
14	王 元	現代政治の課題	福祉国家の成立、維持と発展	258	
教科書	教科書は用いず、適宜プリントを配布する。				
参考書	堀江湛・岡沢憲夫編『現代政治学』（法学書院、2011）。				
備考	日々の新聞を読み、国内と国際政治情勢の把握に努められたい。				

科目名	憲法			担当者	淡路 智典
科目ナンバリング	1060212019				常勤
D P	1,2			教員研究室	1224
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

憲法とは国の根幹を定める法律である。この授業では憲法の基本的な内容を扱う憲法総論、国家によっても侵害されることのない個人の権利を扱う人権論、国家の基本的な仕組みをさだめる統治機構論をそれぞれ見ていく。できるだけ学生に身近な話題を絡めつつ、憲法の基本的な考え方や条文解釈を説明していく。

**【学習の到達目標】**

憲法という国家の根本法について基礎的な概念を理解し、基本的人権や統治機構のあり方に関して、自己の見解を持てるようにする。

**【成績評価方法】**

期末試験の点数に平常点を加味して決定する。  
内訳：期末試験 80%、平常点 20%

**【課題等のフィードバック方法】**

授業の疑問点を Google classroom に書いてもらい、次の回の授業の冒頭で回答する。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

スライドを授業前に確認し、わからない法律用語の予習。他の受講生の迷惑になることはしないこと。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

憲法に対する理解を深めることによって、憲法改正をはじめとする具体的な憲法問題に関して、主体的に考えられるようになる。個人の侵害されてはならない基本的人権を理解することにより、社会問題に関して一層深く理解することができるようになる。また一票を持つ主権者として必要な知識と自覚を得ることができる。

**【実務家教員担当科目】**

該当しない。

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	淡路 智典	ガイダンス・憲法とは	シラバスの内容確認・教科書(判例集)の読み方を理解する	258
2	淡路 智典	憲法概説	スライドを授業前に確認し、憲法の全体像を掴む	258
3	淡路 智典	幸福追求権と法の下での平等	判例を参考にして、包括的基本権や平等権について理解する	258
4	淡路 智典	精神的自由権(内心の自由)	判例を参考にして、思想・良心の自由や信教の自由について理解する	258
5	淡路 智典	精神的自由権(表現の自由)	判例を参考にして、表現の自由の重要性や限界について理解する	258
6	淡路 智典	経済的自由権	判例を参考にして、職業選択の自由や財産権について理解する	258
7	淡路 智典	人身の自由	判例を参考にして、刑事事件で保障される権利等について理解する	258
8	淡路 智典	国務請求権と参政権	判例を参考にして、裁判を受ける権利や参政権について理解する	258
9	淡路 智典	社会権	判例を参考にして、生存権や教育を受ける権利、労働基本権について理解する	258
10	淡路 智典	権力分立の原理と国会	政治思想や歴史的経緯を参考にして、三権分立の概念を理解する	258
11	淡路 智典	内閣	法制度を参考にして、公務員制度を理解する	258
12	淡路 智典	裁判所	法制度を参考にして、裁判や裁判制度について理解する	258
13	淡路 智典	天皇制、平和主義	憲法の条文を参考に、象徴天皇制や平和主義について理解する	258
14	淡路 智典	憲法の保障	憲法の理念を参考に、硬性憲法について理解する	258
教科書	岡田順太/淡路智典/今井健太郎編『判例キーワード憲法』(成文堂、2020年、ISBN: 978-4-7923-0666-3)			
参考書	芦部信喜『憲法(第7版)』(岩波書店、2019年、ISBN: 9784000613224)			
備考	特になし。			

科目名	法学概論			担当者	秋山まゆみ
科目ナンバリング	1060212020				常勤
D P	1,2			教員研究室	1121 研究室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 法学は、法を対象とし、それを理論体系的に理解するための学問ですが、これは特殊な人が学ぶものではありません。社会に生きる人は、意識するとしないとを問わず、日常生活の活動の中に法的な側面をもっているため、人は誰しも社会生活を営む限り、法に対する正しい知識が必要となるわけです。 本講義では、法に対する正しい知識を身につけるため、基礎的な法学の知識を習得すると同時に、法的なものの方、考え方を身に付け、法律に基づいて紛争を解決するための手段を理解していくことを目標とします。また、今後習うであろう憲法、民法、刑法等の法律科目への橋渡しとなる講義を目指します。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 講義中にオンラインでミニッツペーパーを配り、疑問点を書いてもらったりミニテスト等に活用します。 次回以降の講義の中で回答・解説等を行います。		
<b>【学習の到達目標】</b> ①基礎的な法学の知識の習得 ②紛争を解決するための手立てを理解する			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 教科書の指定されたページを事前に読んで、予習しておいてください。		
<b>【成績評価方法】</b> 定期試験・レポート提出等 70% 平常点 30%			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 法制度全般を概観でき、法律専門科目への橋渡しとなる基礎的知識が身に付きます。 法的紛争に巻き込まれた際に、自ら解決へと導くことができるような知識が身に付きます。		
			<b>【実務家教員担当科目】</b> なし		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	秋山まゆみ	ガイダンス 法とは何か	①下記内容の予習・復習を行う 法と社会生活、法律の役割、法の目的、権利と義務	258	
2	秋山まゆみ	法にはどのような形式のものがあるか	①下記内容の予習・復習を行う 法源、法の分類	258	
3	秋山まゆみ	実際に法律を使うためには	①下記内容の予習・復習を行う 法の解釈、法と裁判官、法の解釈の方法	258	
4	秋山まゆみ	法律に基づいて紛争を解決するためには	①下記内容の予習・復習を行う 法と裁判、裁判制度、公正な裁判を行うための裁判の諸原則	258	
5	秋山まゆみ	民法(1)	①下記内容の予習・復習を行う 契約、意思表示、無効、取消し	258	
6	秋山まゆみ	民法(2)	①下記内容の予習・復習を行う 物とは何か	258	
7	秋山まゆみ	民法(3)	①下記内容の予習・復習を行う 結婚、離婚、相続	258	
8	秋山まゆみ	消費者法(1)	①下記内容の予習・復習を行う 特定商取引法の制定背景、目的	258	
9	秋山まゆみ	消費者法(2)	特定商取引法の規制内容	258	
10	秋山まゆみ	憲法(1)	①下記内容の予習・復習を行う 選挙権、国会、内閣	258	
11	秋山まゆみ	憲法(2)	①下記内容の予習・復習を行う 個人情報、プライバシー権、知る権利	258	
12	秋山まゆみ	刑法(1)	①下記内容の予習・復習を行う 犯罪、罪刑法定主義、故意犯処罰の原則	258	
13	秋山まゆみ	刑法(2)	①下記内容の予習・復習を行う 刑事手続きの流れ	258	
14	秋山まゆみ	まとめ	①下記内容の予習・復習を行う まとめ	258	
教科書	授業の時に指定する				
参考書	六法全書を持っていくことが望ましい。				
備考	履修者が120人を超えた場合は、必修ではない学生の履修を制限する場合があります。				

科目名	英語Ⅱ			担当者	増井三千代
科目ナンバリング	1060222029				常勤
D P	1			教員研究室	1328 研究室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・通年
授業形式	演習	授業時間	60時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ダイバート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> この授業では、「英語Ⅰ」で学んだコミュニケーション能力をさらに伸ばすことを目指し、Listening/Speaking(会話活動)、Reading/Writing(英文読解、英文法、語彙力向上)を半期に分けて学習する。順番はクラスによって異なる。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 講義終了後、質問を受け付け回答する。			
<b>【学習の到達目標】</b> ・パラフレーズ、ジェスチャーなどで言語面の不足を補う ・グループディスカッションを通して、理論立てて物事を説明できるようになる。 ・異文化における価値観や行動様式を理解する。		<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> ・各クラスとも出席を重視する。遅刻に関しては各担当教員で対応が異なるが、経過時間によっては欠席扱いとなることもあるので、遅刻しないよう心がけてほしい。 ・教科書、辞書を持参すること。持参しない場合、欠席扱いになることもある。			
<b>【成績評価方法】</b> 各クラスでは、以下を総合的に判断する。 平常点、授業への積極的参加、課題、テスト 詳細については初回授業時に説明する。		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 実践的な英語授業を通して、日常生活からビジネスの場まで対応できる英語基礎運用能力を高められる。			
		<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし			

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	マームグレン・他	オリエンテーション	テキストの目次を読み、教科書全体の内容を把握しておく。授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
2	マームグレン・他	大意把握から重要語句の確認(1)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
3	マームグレン・他	大意把握から重要語句の確認(2)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
4	マームグレン・他	大意把握から重要語句の確認(3)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
5	マームグレン・他	クリティカルリーディングとイディオムの習得(1)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
6	マームグレン・他	クリティカルリーディングとイディオムの習得(2)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
7	マームグレン・他	クリティカルリーディングとイディオムの習得(3)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
8	マームグレン・他	情報収集、下書き、訂正、編集のライティングプロセスに慣れる(1)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
9	マームグレン・他	情報収集、下書き、訂正、編集のライティングプロセスに慣れる(2)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
10	マームグレン・他	センテンスからパラグラフライティングへの基礎演習(1)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
11	マームグレン・他	センテンスからパラグラフライティングへの基礎演習(2)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
12	マームグレン・他	センテンスからパラグラフライティングへの基礎演習(3)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
13	マームグレン・他	ビジネス英語の構文と表現	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
14	マームグレン・他	まとめ	授業で分からなかった部分について教員への質問を考えておく。理解できなかった箇所は重点的に勉強し直す。	65
15	マームグレン・他	オリエンテーション	テキストの目次を読み、教科書全体の内容を把握しておく。授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
16	マームグレン・他	問題に対する自分の意見表明、交換、決定のプロセスに慣れる(1)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
17	マームグレン・他	問題に対する自分の意見表明、交換、決定のプロセスに慣れる(2)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
18	マームグレン・他	問題に対する自分の意見表明、交換、決定のプロセスに慣れる(3)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
19	マームグレン・他	筋道を立てて物事を説明し、意見を述べ、相手との理解を深める(1)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
20	マームグレン・他	筋道を立てて物事を説明し、意見を述べ、相手との理解を深める(2)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
21	マームグレン・他	筋道を立てて物事を説明し、意見を述べ、相手との理解を深める(3)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
22	マームグレン・他	言い換え(パラフレーズ)のコツ(1)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
23	マームグレン・他	言い換え(パラフレーズ)のコツ(2)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
24	マームグレン・他	受動的ではなく、能動的に聴く方法(1)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
25	マームグレン・他	受動的ではなく、能動的に聴く方法(2)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
26	マームグレン・他	受動的ではなく、能動的に聴く方法(3)	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
27	マームグレン・他	フォーマル、インフォーマルな表現と用法	予習: テキストの次のUnitの単語を調べる。 復習: 授業で学習した単語のスベルを覚える。	65
28	マームグレン・他	まとめ	授業で分からなかった部分について教員への質問を考えておく。理解できなかった箇所は重点的に勉強し直す。	65
教科書	所属する組によって購入する教科書が異なるので注意する。			
参考書	適宜授業時に指示する。 英文法の参考書を用意し、予習、復習で利用するのが望ましい。文法書は高校で使用したものでかまわない。			
備考	9万語以上の単語を収録した「ジーニアス英和辞典」(大修館)か、それと同等レベルの辞書・電子辞書を用意すること。			

科目名	海外研修			担当者	○増井三千代・立花顕一郎 王元・文慶喆
科目ナンバリング	1060212032				常勤
D P	1			教員研究室	1328・1223・1324・1322 研究室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・通年
授業形式	演習	授業時間	60時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 以下のいずれかの海外プログラムに参加し、現地の人々との交流を通して、異文化に対する理解を深めると同時にコミュニケーション力の向上を目指す。 (1) 長期休業期間に海外(英語圏、中国、韓国)へ渡航し、現地で開催される短期語学研修に参加するグループ研修プログラム (2) 学生個人による現地実習を含む短期語学・異文化理解プログラム(必須条件: 所定の計画書の提出、5日以上の渡航、研究テーマの設定)				<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 各プログラムの実施担当教員が随時質問を受け付け、回答する。	
<b>【学習の到達目標】</b> 異文化に対する柔軟性を身につけ、現地の言葉を駆使しながら積極的にコミュニケーションを図る。また、現地の人々の考え方や価値観を通じて、日本を客観的かつ相対的に見る広い視野を身につける。				<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 1. 実習に伴う参加費、渡航費用等は自己負担となる。 2. 国際情勢の急激な変化により、研修実施が困難になる場合がある。 3. 詳細な日程や費用等については、事前に開催される説明会に出席して確認する。	
<b>【成績評価方法】</b> 単位取得には、以下の全ての活動に参加することが求められる。 1. 研修前に行われる事前研修会、勉強会等への参加、取り組み状況 25% 2. 研修先での授業やその他プログラムへの参加、取り組み状況 50% 3. 帰国後の研修報告書提出および報告会での成果発表 25%				<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> グループ研修には引率教員が同行するため、海外未経験、語学に不安でも安心して参加できる。また、異文化交流経験は自分の人生の可能性を大きく広げることにつながる。	
				<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし	
<b>授 業 計 画</b>					
<b>【授業計画】</b> 1～2 事前研修 3～7 実習1日目 8～12 実習2日目 13～17 実習3日目 17～21 実習4日目 22～26 実習5日目 ※プログラムによっては実習の日数が増える可能性有り 27 報告書作成および報告会準備 28 報告会					
教科書	資料を配布する。				
参考書	適宜紹介する。				
備考	各プログラムの申込は履修登録期間外に行うため、Global Education Project (GEP) の Google Classroom に必ず登録し、掲載される申請方法に従って申し込むこと。この申請をもって履修登録を行う。なお、授業内容(2)の個人研修型プログラムについては、申請条件を満たさなければ、履修できない場合があることに留意する。 クラスコード ebypqdj				

科目名	健康科学			担当者	森田 清美
科目ナンバリング	1060212033				常勤
D P	1,4			教員研究室	3313
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input checked="" type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

本講義では、今後必要となる自己の健康管理方法の一つである運動について学び、健康づくりのための基本的な知識の理解と生活習慣の改善、良い生活習慣の実践についてを学ぶ。

**【学習の到達目標】**

- ・生活習慣病、メタボリックシンドロームについて理解し運動による予防について理解する。
- ・健康診断や形態測定の結果を確認し、自身の健康づくりの必要性に気づく。
- ・個々の目的に合わせた健康づくりプログラムを作成・実践できるようになる。

**【成績評価方法】**

テスト 50%、レポート課題 20%・小テスト 30%

**【課題等のフィードバック方法】**

毎回授業時に前授業の復習を行う。また、授業内容からレポートの提出や小テストを課す。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

教科書、参考資料などでの予習、復習を欠かさないこと。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

- ・自身の健康増進とその維持のために必要な理論や方法について学ぶことができる。
- ・健康づくりに必要な運動を計画し、安全に実践する力を養える。

**【実務家教員担当科目】**

該当なし

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	森田 清美	健康とは何か	シラバスの内容を確認し、授業内容を整理する	258
2	森田 清美	我が国の健康問題	健康とは何かについて自らの考えを説明できるようにまとめる。健康日本21の概要を一読する	258
3	森田 清美	我が国の健康づくり施策	自分が住んでいる町の健康状態を調べ、まとめる	258
4	森田 清美	健康と身体測定(形態測定、体力測定)	体力測定結果、健康診断結果を準備し、自分の健康状態をまとめる	258
5	森田 清美	身体の仕組みと構造(骨と筋肉)	授業や資料の中で理解できなかった言葉を挙げ、それについて調べておく	258
6	森田 清美	健康と食事・栄養について	食事バランスガイドや摂取カロリー表を活用して自分の栄養状態を振り返る	258
7	森田 清美	健康づくりと運動・スポーツ	エクササイズガイドを一読する。授業や資料の中で理解できなかった言葉を挙げ、それについて調べておく	258
8	森田 清美	運動処方プロセス	自分の健康づくりへの課題を考え、これから運動を実践するための目的を設定する	258
9	森田 清美	運動プログラムの実際	体力測定の結果を確認しておく。また過去に経験または現在実施している運動・スポーツについてまとめておく。	258
10	森田 清美	健康生活の実現に向けたプログラムの作成	健康や体力維持・増進のために自らの実施できるプログラムを作成しまとめる	258
11	森田 清美	健康診断の活用について	健康診断の利用について学ぶため自身の健康診断の結果を確認しておく	258
12	森田 清美	ヘルスプロモーション、プライマリーヘルスケア	授業や資料の中で理解できなかった言葉を挙げ、それについて調べておく	258
13	森田 清美	健康とヘルスリテラシー	健康情報の入手と意思決定について自らの考えと学習内容をについてまとめる	258
14	森田 清美	全体のまとめ	自己の健康管理、各会の授業内容の復習、まとめ	258
教科書	適宜プリント、資料を配布する。			
参考書	適宜紹介する			
備考	新聞や雑誌、テレビなどの健康やスポーツ・身体運動に関するトピックスの動向に注意しておくこと。			

科目名	人体の構造と機能及び疾病			担当者	遠藤ちつる
科目ナンバリング	1060412035				非常勤
D P	1,3			教員研究室	非常勤講師室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> ①人の身体構造と心身機能について理解した上で、健康や疾病の捉え方・回復過程に関して理解する ②人のライフステージにおける心身の変化と健康課題を理解し、公衆衛生の観点から、解決する為の対策等を理解する  <b>【学習の到達目標】</b> 身体の構造と機能が理解でき、健康の維持・増進及び疾患の予防に必要な知識や対策が理解できる  <b>【成績評価方法】</b> 定期試験：80% 平常点：20% (出席点・小テスト等)			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> ・毎回、小テストで理解度を確認する ・授業の感想・質問で把握し翌週フィードバック  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> ・授業の開始時に、前回授業内容の小テストを行うので、配布資料は持参し、きちんと管理すること ・携帯電話の使用や授業に関係のない私語は厳禁  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> ・自身の健康に関しての意識が高まるとともに、将来関わるであろう対象者の理解につながる ・国家試験対策につながる  <b>【実務家教員担当科目】</b> 看護師としての臨床経験と、看護学校での教育経験のもと、健康・疾病予防等に関して講義する		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	遠藤ちつる	1. ライフステージにおける心身の変化と健康課題 ①ライフステージにおける心身の特徴(乳幼児～成人期) ②心身の老化・加齢	使用テキストの内容を確認し、ライフステージ・発達段階・老化等を確認		258
2	遠藤ちつる	③ライフステージ別健康課題 2. 健康および疾病の捉え方 ①健康・疾病の概念 ②国際機能分類(ICF)	前回の配布資料 発達段階・老化に関して確認		258
3	遠藤ちつる	3. 身体構造と心身機能 ①人体の構造と名称	前回の配布資料 ライフステージ、ICFに関して確認		258
4	遠藤ちつる	②器官系と臓器の役割(1) ・循環器系 ・呼吸器系	前回の配布資料 人体の構造・名称の確認		258
5	遠藤ちつる	②器官系と臓器の役割(2) ・消化器系 ・泌尿器系 ・内分泌系	前回の配布資料 循環器・呼吸器系の確認		258
6	遠藤ちつる	②器官系と臓器の役割(3) ・神経系 ・感覚器系 ・血液	前回の配布資料 消化器・泌尿器系等確認		258
7	遠藤ちつる	4. 疾病と障害の成り立ち及び回復過程 ①疾病の発生原因 ②病変の成立機序	前回の配布資料 神経・感覚器系との確認		258
8	遠藤ちつる	5. リハビリテーションの概要と範囲 ①リハビリテーションの定義・目的・方法 ②障害の概要	前回の配布資料 疾病の発生原因等確認		258
9	遠藤ちつる	6. 疾病と障害および予防・治療・予後等 ①感染症 ②神経疾患・認知症・高次脳機能障害	前回の配布資料 リハビリテーションの目的や内容を確認		258
10	遠藤ちつる	③脳血管疾患 ④心疾患 ⑤内分泌疾患 ⑥呼吸器疾患	前回の配布資料 感染症・認知症・高次脳機能障害を確認		258
11	遠藤ちつる	⑦泌尿器疾患 ⑧消化器疾患 ⑨血液・免疫系疾患	前回の配布資料 脳・心臓・肺疾患の確認		258
12	遠藤ちつる	⑩感覚器系その他 ⑪精神・発達障害等 ⑫小児科疾患・肢体不自由・知的障害	前回の配布資料 消化器・泌尿器・免疫系疾患の確認		258
13	遠藤ちつる	⑬高齢者に多い疾患 ⑭生活習慣病 ⑮悪性腫瘍と緩和ケア	前回の配布資料 感覚器・小児関連疾患の確認		258
14	遠藤ちつる	7. 公衆衛生の概要 健康増進と保健医療対策	前回の配布資料 生活習慣病・緩和ケアに関して確認		258
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座(中央法規) 配布プリント				
参考書	指定なし				
備考	なし				

科目名	社会学			担当者	齊藤 綾美
科目ナンバリング	1060412037				常勤
D P	1,3,4			教員研究室	3307
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

本講義では、現代日本社会の様々な社会現象に関するテキストを読みながら、社会学的な考え方を理解し、身につけることを目的とする。自らの経験を踏まえたうえで、「社会」について自覚的にとらえ、自分と社会の関係性について考える。アイデンティティ、福祉、教育、地域社会などに関わる諸問題について解説する。

**【学習の到達目標】**

1. 社会学の基本的な考え方を理解し、説明することができる。2. 様々な社会現象について説明することができる。3. 社会問題について自分の意見を述べる事ができる。4. 自分と社会の関係性について社会学的な視点からとらえ、説明することができる。

**【成績評価方法】**

定期試験(100%)

**【課題等のフィードバック方法】**

要望があればクラスルームで試験結果についてフィードバックする。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

社会学に関する基本的な考え方を身につけることができる。社会現象や社会問題に関する知識を獲得し、考えることができる。

**【実務家教員担当科目】**

該当せず。

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	齊藤 綾美	社会学の歴史と対象	教科書を読んで社会学とは何かを整理する。	258
2	齊藤 綾美	社会システム	社会システムから連想するものを考える。	258
3	齊藤 綾美	アイデンティティ(自己と他者、社会化、相互行為)	教科書第1章を読んで、アイデンティティについて整理する。	258
4	齊藤 綾美	家族	教科書第2章を読んで、家族について整理する。	258
5	齊藤 綾美	教育・福祉(社会政策と社会問題、人口)	教科書第3章を読んで、教育・福祉について整理する。	258
6	齊藤 綾美	地域社会(地域)	教科書第4章を読んで、地域について整理する。	258
7	齊藤 綾美	労働(組織と集団、労働)	教科書第5章を読んで、労働について整理する。	258
8	齊藤 綾美	文化	教科書第6章を読んで、文化について整理する。	258
9	齊藤 綾美	性・ジェンダー	教科書第8章を読んで、性・ジェンダーについて整理する。	258
10	齊藤 綾美	エスニシティ(グローバリゼーション、社会変動)	教科書第9章を読んで、エスニシティについて整理する。	258
11	齊藤 綾美	格差・不平等(社会的格差、健康、世代)	教科書第10章を読んで、格差・不平等について整理する。	258
12	齊藤 綾美	社会問題(差別と偏見)	教科書第11章を読んで、社会問題について整理する。	258
13	齊藤 綾美	社会運動(社会政策と社会問題2、災害と復興)	教科書第12章を読んで、社会運動について整理する。	258
14	齊藤 綾美	自然環境(環境)	教科書第13章を読んで、自然環境について整理する。	258
教科書		工藤保則・大山小夜・笠井賢紀、2017年『基礎ゼミ社会学』世界思想社。		
参考書		長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志、2019年『社会学(新版)』有斐閣。 必要があれば授業中に指示する。 社会福祉士を目指す履修者は次の参考書も入手することが望ましい。日本ソーシャルワーク教育学校連盟編2021年『社会学と社会システム』中央法規。		
備考		なし。		

科目名	社会福祉の政策			担当者	小淵 高志
科目ナンバリング	1060412039				常勤
D P	1,2			教員研究室	1305
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

社会福祉の政策の決定プロセス、決定要素、実施計画、提供体制などの様々な要因を多面的な視点から明らかにし、その将来像について論じます。

**【学習の到達目標】**

相談援助活動と福祉政策との関係について理解します。

**【成績評価方法】**

平常点(20%)、課題レポート(20%)、筆記試験(60%)による総合評価とします。

**【課題等のフィードバック方法】**

授業中の課題提出の解説を次回の授業で行う。講義終了後に、質問を受け付け回答する。授業中にGoogle Classroomのチャットやアンケートフォームなどを使い、質疑応答や意見交換やグループ・ディスカッションを行います。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

指示に従って、必ず予習と復習をしてください。授業の録画を振り返り(復習)、分からないことや理解を深めたいことを、Googleミートのメッセージ機能を使って質問してください。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

社会福祉の政策を、大局的にとらえる力が身につく効果を期待できます。

**【実務家教員担当科目】**

該当なし

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	小淵 高志	社会福祉の原理	現代社会における社会福祉の制度や政策についての理解を深めよう。	258
2	小淵 高志	社会福祉の概念	社会福祉の概要を調べよう。	258
3	小淵 高志	欧米の社会福祉の歴史	欧米の福祉の制度についてその歴史の理解を深めよう。	258
4	小淵 高志	日本の社会福祉政策の歴史	日本の福祉の制度についてその歴史の理解を深めよう。	258
5	小淵 高志	現代日本の福祉問題	現代日本の福祉についてその問題を把握しよう。	258
6	小淵 高志	所得保障	所得保障の制度を理解しよう。	258
7	小淵 高志	保健・医療・介護	保健・医療・介護の3つの分野の制度が互いに連携していることを理解しよう。	258
8	小淵 高志	福祉サービス	福祉サービスの現状を確認しよう。	258
9	小淵 高志	関連政策	福祉領域における関連施策から、支援とその課題を考えよう。	258
10	小淵 高志	社会福祉の計画と評価	社会福祉の計画と評価について理解を深めよう。	258
11	小淵 高志	福祉制度の費用と財政	福祉制度の費用と財政の動向を把握しよう。	258
12	小淵 高志	福祉ニーズと供給システム	福祉ニーズと供給システムについて理解を深めよう。	258
13	小淵 高志	福祉政策と市場経済	福祉政策と市場経済の制度における課題を考えよう。	258
14	小淵 高志	社会福祉政策の国際的展望	社会福祉政策を国際的に展望してみよう。	258
教科書	坂田周一著『社会福祉政策』有斐閣			
参考書	授業中に適宜紹介します			
備考	【注意】この科目は社会福祉士養成科目です。社会福祉士国家試験受験資格の取得に必須の科目です。			

科目名	社会保障論Ⅱ			担当者	森田慎二郎
科目ナンバリング	1060422042				常勤
D P	1,2			教員研究室	3305
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

<p><b>【授業内容】</b> この講義は、社会保障論Ⅰとあわせて、現代社会における社会保障制度の役割と課題について学ぶ。</p> <p><b>【学習の到達目標】</b> 年金保険制度の具体的内容、社会保険の理論、諸外国における社会保障制度の概要、社会保障制度の歴史と財政など理解し、該当する国家試験過去問題を解く。</p> <p><b>【成績評価方法】</b> 期末テスト 100%</p>	<p><b>【課題等のフィードバック方法】</b> 授業終了後、ミニッツペーパーにより質問を受け付け、次回に回答する。</p> <p><b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 携帯電話、私語は周りの迷惑になるので厳禁。</p> <p><b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 社会福祉士国家試験「社会保障」を解ける学力が身につけられる。</p> <p><b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし。</p>
---	---

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	森田慎二郎	年金制度の概要と被保険者	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
2	森田慎二郎	老齢給付	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
3	森田慎二郎	障害給付 遺族給付	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
4	森田慎二郎	公的年金の特徴と年金財政	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
5	森田慎二郎	年金改革の歴史	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
6	森田慎二郎	年金の3階建て構造と企業年金の基礎	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
7	森田慎二郎	社会保険の歴史と理論	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
8	森田慎二郎	社会保障の歴史(世界)	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
9	森田慎二郎	諸外国における社会保障制度	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
10	森田慎二郎	人口問題と社会保障	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
11	森田慎二郎	社会保障の財政	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
12	森田慎二郎	社会保障の歴史(日本)	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
13	森田慎二郎	社会保障の機能と現代的課題	テキストでキーワードを予習する。 配布資料で国家試験の過去問題を中心に復習する。	258
14	森田慎二郎	全体のまとめ	教科書、これまでの配布資料で出題範囲を学習する。	258
教科書	椋野美智子・田中耕太郎著『はじめての社会保障』有斐閣アルマ			
参考書	適宜紹介する。			
備考	特になし。			

科目名	保健医療サービス論			担当者	加藤 由美
科目ナンバリング	1060422043				常勤
D P	1,2,3			教員研究室	1301
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 保健医療と福祉に関連する領域の体系的理解を図る。 傷病者・家族の理解と適切な支援のあり方/保健医療の動向/保健医療領域に関する政策、制度、サービス/保健医療領域における社会福祉士の役割と連携・協働  <b>【学習の到達目標】</b> ・保健医療の経済的枠組みを理解する。 ・医療機能の分化・分担と連携に基づく医療提供体制の概要を理解する。 ・保健医療に関する各専門職の役割を理解する。 ・チーム医療など多職種連携によるチームアプローチの形態等を理解する。 ・傷病者と家族に対する支援のあり方を理解する。  <b>【成績評価方法】</b> 科目内容の理解度(配点85)及び学修姿勢(配点15)に基づき評価する。科目内容の理解度は定期試験(85点満点)の点数を評価に用いる。学修姿勢の評価は授業毎の予習課題(5点満点)及び確認テスト課題(10点満点)の各平均点の合計を用いる。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> ・課題等のフィードバックはGoogleClassroomで個別に行う。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 詳細はオリエンテーションにて説明する。  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> ソーシャルワーク実践に不可欠な保健医療と福祉に関する知識を習得できる。  <b>【実務家教員担当科目】</b> 病院の医療ソーシャルワーカーとして17年7ヶ月の実務経験を有する教員が、その経験を活かして保健医療と福祉の実践的理解を促す講義を行う。			
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	加藤 由美	科目オリエンテーション	予習：科目シラバスを熟読する。 復習：科目の概要と進め方を理解し、学習計画を立てる。	258	
2	加藤 由美	医療保険と診療報酬	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
3	加藤 由美	公費負担医療/国民医療費	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
4	加藤 由美	医療法/医療提供施設	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
5	加藤 由美	医療機能の分化・分担と連携	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
6	加藤 由美	地域包括ケアシステムにおける医療介護	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
7	加藤 由美	疾病構造の変化	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
8	加藤 由美	傷病者と家族の理解	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
9	加藤 由美	医療倫理/患者の権利	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
10	加藤 由美	患者の意思決定支援	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
11	加藤 由美	医療ソーシャルワーカーの業務	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
12	加藤 由美	保健医療の専門職	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
13	加藤 由美	チーム医療と多職種連携	予習：予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習：確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
14	加藤 由美	全体の振り返りとまとめ	予習：これまでの授業のポイントを整理してまとめる。 復習：全体の振り返りとまとめを行う。	258	
教科書	最新 社会福祉士養成講座 保健医療と福祉 保健医療と福祉： 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集) 出版社：中央法規				
参考書	なし				
備考	本科目は社会福祉士国家試験の指定科目である。国試受験者は必ず履修すること。 本科目の理解徹底及び国試受験対策を兼ねて、3年次配当の下記科目履修を強く推奨する。 医療ソーシャルワーク論(3年次前期)/医療福祉マネジメント論(3年次後期)				

科目名	地域福祉論			担当者	豊田 正利
科目ナンバリング	1060432045				常勤
D P	3,4			教員研究室	3301
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 社会福祉士養成課程における教育内容をもとに設定する。 1. 地域福祉の基本的考え方、展開、動向について理解する。 2. 地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。 3. 地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解する。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 講義終了後、質問を受け付ける。出欠カードをミニッツペーパーとして活用する。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> ・遅刻は講義開始 20 分までとし、以降の入室は認めない。 ・講義中の私語、携帯の使用等は厳禁とする。 ・講義終了時に復習の重点事項と次回講義の予習に関する重点事項について説明するので、指示に従い、各自予習と復習を必ず行うこと。		
<b>【学習の到達目標】</b> 上記「授業内容」の明確化及び達成。			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 今後の社会福祉士に求められている「地域の福祉課題の把握や社会資源の調整・開発、ネットワークの形成を図るなど、地域福祉の増進に働きかける役割」について理解と修得を図ることができる。		
<b>【成績評価方法】</b> 定期試験 60%、その他提出をを求めるレポート 40%、以上に基づき総合的に評価する。			<b>【実務家教員担当科目】</b> 社会福祉協議会職員としての実務経験を活かした実践的な業務内容について講義する。		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	豊田 正利	1. ガイダンスーこれからの学習に向けて	新聞やニュース報道等とおして、身近な地域で起きている様々な福祉課題について事前に理解を図る。これからの学習に向けて自己の目標を設定する。		258
2	豊田 正利	2. 「生存権」の意義と社会福祉	日本国憲法の3大原則について事前に復習して理解を図る。「生存権」のもつ意味について考察する。		258
3	豊田 正利	3. 地域福祉とは何かー地域福祉の概念p-I	事前にテキストを熟読して内容を理解しておく。社会福祉法の改正の経緯をもとに、地域福祉の意味の変遷について考察する。		258
4	豊田 正利	4. 地域福祉とは何かー地域福祉の概念p-II	事前にテキストを熟読して、わが国における主要な理論の内容を把握しておく。理論の体系的理解をもとに、意味の変遷について考察する。		258
5	豊田 正利	5. 地域福祉とは何かーコミュニティの考え方	事前にテキストを熟読して内容を理解しておく。自己が居住する地域について、学修したコミュニティのモデルに充当して考察する。		258
6	豊田 正利	6. 地域福祉とは何かーノーマライゼーションの考え方	事前にテキストを熟読して内容を理解しておく。ノーマライゼーション理念がわが国の地域福祉にもたらしている影響について考察する。		258
7	豊田 正利	7. 地域福祉の歴史ー日本の地域福祉の歴史	事前にテキストを熟読して内容を理解しておく。社会の諸状況と地域福祉政策の変遷過程の関連を考察する。		258
8	豊田 正利	8. 地域福祉の歴史ー諸外国の地域福祉の歴史	事前にテキストを熟読して内容を理解しておく。諸外国の政策が我が国の地域福祉政策にもたらした影響について考察する。		258
9	豊田 正利	9. 地域福祉の推進主体ー社会福祉協議会	事前に自身の出身地(居住地)の社会福祉協議会について調べておく。今日の社会福祉協議会が求められる役割について考察する。		258
10	豊田 正利	10. 地域福祉の推進主体ー民生委員・児童委員	事前にテキストを熟読して内容を理解しておく。民生委員・児童委員の制度の歴史の変遷と役割の変化について考察する。		258
11	豊田 正利	11. 地域福祉の推進主体ー住民組織	事前に身近な地域における町内会、自治会等の活動について理解しておく。町内会・自治会の必要性について考察する。		258
12	豊田 正利	12. 地域福祉の推進主体ーボランティア、NPO組織ー	事前に「ボランティア」に対するイメージについて整理しておく。今日のわが国において求められるボランティアやNPO組織の役割について考察する。		258
13	豊田 正利	13. 住民主体の地域福祉活動ー住民の組織化活動	事前に身近な地域における住民による福祉活動について理解しておく。「住民主体」という言葉のもつ意味と意義について考察する。		258
14	豊田 正利	14. 住民主体の地域福祉活動ー福祉教育	小・中・高等学校で体験した福祉教育活動について振り返る。地域福祉の推進に向けた福祉教育の意味と意義について考察する。		258
教科書	都築光一編豊田正利他著『現代の地域福祉第2版』建帛社、2022年				
参考書	別途指示する。				
備考	本科目は社会福祉士養成指定科目である。				

科目名	地域福祉方法論			担当者	豊田 正利
科目ナンバリング	1060432046				常勤
D P	3,4			教員研究室	3301
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 社会福祉士養成における教育目標にもとづいて設定する。 1. 地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。 2. 包括的支援体制の考え方と、多職種および多機関協働の意義と実際について理解する。 3. 地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解する。 (1) 社会資源の活用・調整・開発の方法について理解する。 (2) 福祉ニーズの把握方法について理解する。 (3) 地域トータルケアシステムの構築方法について理解する。 (4) サービスの評価方法について理解する。  <b>【学習の到達目標】</b> 上記「授業内容」の明確化及び達成。  <b>【成績評価方法】</b> 定期試験60%、提出を求めるレポート40%、以上に基づき総合的に評価する。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 講義終了後、質問を受け付ける。出欠カードをミニッツペーパーとして活用する。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 講義終了時の指示に従い、各自予習と復習を必ず行うこと。  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 今後の社会福祉士に求められる知識と技術の修得が可能となる。  <b>【実務家教員担当科目】</b> 社会福祉協議会職員としての経験を活かして実践的な講義を行う。		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	豊田 正利	1. ガイダンスーこれからの学習に向けて	新聞やニュース報道等をもとに、身近な地域で発生している課題とその原因について理解を図る。その課題の改善・解決を図るための地域社会のあり方について考察する。	258	
2	豊田 正利	2. 福祉行財政の組織と原則	事前にテキストを熟読して大まかな内容の理解を図る。福祉行財政の原則の今日的な意義について考察する。	258	
3	豊田 正利	3. 福祉行財政の歴史	事前にテキストを熟読して大まかな内容の理解を図る。福祉行財政の変遷過程に対する理解をとおして現状と課題について考察する。	258	
4	豊田 正利	4. 福祉計画の概要	事前にテキストを熟読して大まかな内容の理解を図る。様々な領域における福祉計画の関連性を考察する。	258	
5	豊田 正利	5. 地域福祉計画策定の過程と方法	事前にテキストを熟読して大まかな内容の理解を図る。地域福祉計画及び地域福祉活動計画の作手にかかわる住民参加の重要性について考察する。	258	
6	豊田 正利	6. 地域福祉の支援体制ー地域包括ケアシステム	事前にテキストを熟読して大まかな内容の理解を図る。地域包括ケアシステムの構築が必要とされる社会状況について考察する。	258	
7	豊田 正利	7. 地域福祉の支援体制ー生活困窮者自立支援の考え方	事前にテキストを熟読して大まかな内容の理解を図る。多様化する住民の生活課題とニーズについて考察する。	258	
8	豊田 正利	8. 地域福祉の支援体制ー多機関連携と多職種連携	事前にテキストを熟読して大まかな内容の理解を図る。多機関連携・多職種連携の重要性について考察する。	258	
9	豊田 正利	9. 地域福祉の支援体制ー権利擁護	事前にテキストを熟読して大まかな内容の理解を図る。権利擁護に関する制度の理解をとおして今後の課題について考察する。	258	
10	豊田 正利	10. 地域福祉を推進する方法と技術ーコミュニティワークの基本原則	事前にソーシャルワークに関する知識の整理を図る。コミュニティワークの基本原則の重要性について身近な事例をとおして考察する。	258	
11	豊田 正利	11. 地域福祉を推進する方法と技術ーコミュニティワークの展開過程	ケースワークとグループワークの展開過程について知識の整理を図る。コミュニティワークの展開過程との共通点と相違について考察する。	258	
12	豊田 正利	12. 地域福祉を推進する方法と技術ーコミュニティソーシャルワークの考え方	事前にコミュニティソーシャルワークに対する大まかな理解を図る。今後のコミュニティソーシャルワークの役割について考察する。	258	
13	豊田 正利	13. 地域における福祉ニーズの把握と実際	様々な情報媒体をとおして身近な地域における福祉ニーズについて理解を図る。学修した内容をもとにテーマを設定して調査用紙を作成する。	258	
14	豊田 正利	14. 災害と地域福祉	事前にテキストを熟読するとともに、東日本大震災発生時における当時の生活状況について整理する。災害発生時における自身の役割について考察する。	258	
教科書	都築光一編豊田正利他著『現代の地域福祉第2版』建帛社、2022年				
参考書	別途指示する。				
備考	この科目は社会福祉士国家試験受験指定科目である。				

科目名	公的扶助論			担当者	小淵 高志
科目ナンバリング	1060432047				常勤
D P	1,2			教員研究室	1305
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

生活保護制度の原理や実施過程、低所得者対策などを解説します。

**【学習の到達目標】**

ソーシャルワーク実践に必要な、公的扶助制度の知識を獲得します。

**【成績評価方法】**

定期試験(60%)、授業中の課題提出(30%)、意見交換や質問などの発言(10%)の合計。

**【課題等のフィードバック方法】**

授業中の課題提出の解説を次回の授業で行う。講義終了後に、質問を受け付け回答する。授業中にGoogle Classroomのチャットやアンケートフォームなどを使い、質疑応答や意見交換やグループ・ディスカッションを行います。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

指示に従って、必ず予習と復習をしてください。授業の録画を振り返り(復習)、分からないことや理解を深めたいことを、Google Meetのメッセージ機能を使って質問してください。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

現代の貧困問題を見つめ直し、制度設計を再考する政策科学への理解が深まります。

**【実務家教員担当科目】**

該当なし

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	小淵 高志	低所得者に対する支援の制度と方法を学ぶ前に	低所得者と貧困問題とを整理しておこう。	258
2	小淵 高志	低所得階層の生活実態と貧困	低所得階層が生み出される背景と問題とを考えてみよう。	258
3	小淵 高志	社会保障制度と公的扶助	社会保障制度の仕組みと公的扶助制度との関係を調べておこう。	258
4	小淵 高志	生活保護の実施体制	国と自治体との役割を整理しておこう。	258
5	小淵 高志	生活保護制度の原理・原則(1)	生活保護法の基本原理を押さえておこう。	258
6	小淵 高志	生活保護制度の原理・原則(2)	生活保護法の原則を押さえておこう。	258
7	小淵 高志	生活保護基準と要否判定	最低生活保障水準と保護基準の設定方式を調べてみよう。	258
8	小淵 高志	生活保護の動向と財源	生活保護費の財源と動向を調べておこう。	258
9	小淵 高志	専門職の役割と相談援助活動	専門職の役割と支援過程を整理しておこう。	258
10	小淵 高志	自立支援プログラムによる相談援助	プログラムの策定と支援過程を整理しておこう。	258
11	小淵 高志	ホームレスの生活と相談援助	ホームレスの現状と生活への理解を進めておこう。	258
12	小淵 高志	低所得者への社会福祉サービス	生活困窮者自立支援制度や生活福祉資金貸付制度について調べてみよう。	258
13	小淵 高志	所得者への就労支援サービス	雇用・就労の動向と労働政策について調べておこう。	258
14	小淵 高志	公的扶助制度の歴史	イギリスの救貧制度や日本の歴史を調べてみよう。	258
教科書	渋谷哲編『貧困に対する支援の制度と方法』(株)みらい			
参考書	授業中に適宜紹介します			
備考	【注意】この科目は社会福祉士養成科目です。社会福祉士国家試験受験資格の取得に必須の科目です。			

科目名	権利擁護と成年後見			担当者	前川 勤
科目ナンバリング	1060442048				非常勤
D P	2,3,4			教員研究室	非常勤講師室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	4年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 相談援助に必要な権利擁護の知識を理解できるように、レジメを配布するとともに、パワーポイントや動画なども利用しながら理解を深める授業を行います。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 講義終了後に、質問を受付け回答します。		
<b>【学習の到達目標】</b> 相談援助に必要な権利擁護の知識を得るとともに、国家試験のための傾向と対策を行い、合格レベルの力を養成するとともに、社会に出てソーシャルワーカーとして働いていく上でのスキルアップをしていくための法的思考能力の養成を目標とします。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 私語やゲーム機、携帯電話等の講義に関係ないものの使用及び充電等の行為については禁止する。他の学生の迷惑となると判断した場合は、退室を指示する場合がある。		
<b>【成績評価方法】</b> レポートにより評価します(100%)。			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> ソーシャルワーカーとして必要とされる権利擁護の知識を得るとともに、卒業時の社会福祉士国家試験合格レベルの力を養成します。		
			<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	前川 勤	法の基礎 ソーシャルワークと法のかかわり	第1部第1章 第2章第1節		258
2	前川 勤	憲法(1)	第1部 第2章第2節		258
3	前川 勤	憲法(2)	第1部 第2章第2節		258
4	前川 勤	憲法(3)	第1部 第2章第2節		258
5	前川 勤	民法(1)	第1部 第2章第3節		258
6	前川 勤	民法(2)	第1部 第2章第3節		258
7	前川 勤	民法(3)	第1部 第2章第3節		258
8	前川 勤	行政法(1)	第1部 第2章第4節		258
9	前川 勤	行政法(2)	第1部 第2章第4節		258
10	前川 勤	成年後見制度(1)	第2部第1章 第1節 第2節		258
11	前川 勤	成年後見制度(2)	第2部第1章 第3節 第4節 第5節		258
12	前川 勤	権利擁護を支える仕組み	第2部第2章		258
13	前川 勤	権利擁護活動で直面し得る法的諸問題	第2部第3章		258
14	前川 勤	権利擁護にかかわる組織、団体、専門職	第2部第4章		258
教科書	社会福祉学習双書 2024「権利擁護を支える法制度・刑事司法と福祉」 社会福祉法人 全国社会福祉協議会「社会福祉学習双書」編集委員会編				
参考書	蘆部信喜「憲法」岩波書店、藤田宙靖「行政法入門」有斐閣、裁判所職員総合研修所監修「民法概説」司法協会				
備考	なし				

科目名	相談援助の基盤と専門職 I			担当者	鑑 さやか
科目ナンバリング	1060412049				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1307
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 相談援助の専門性に係る倫理や定義、およびその形成過程についてのベーシックな理解を図ると共に、今後専門職者として学習を進めるうえで必要な素養を身に着ける。		【課題等のフィードバック方法】 単元終了時に実施する小テストを返却し、解説を行う			
【学習の到達目標】 step1: 相談援助専門職の役割と意義について理解する step2: 相談援助の倫理・範囲および理念について理解する step3: ソーシャルワーク形成過程を理解する		【履修上の注意・予習・復習について】 授業開始20分までは教室への入室を認めます。 欠席が3分の1以上の者は原則として定期試験の受験資格はないので注意すること。 授業中のスマートフォンの使用や私語、飲食は禁止します。 詳しくは初回授業時に提示します。			
【成績評価方法】 定期試験評価70% 授業内課題評価30%		【受講して得られる効果・メリット、その他】 ソーシャルワーカーとしての価値・知識等の基盤となる相談援助の概念・範囲および理念・歴史等について理解できる。			
		【実務家教員担当科目】 該当なし			

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	鑑 さやか	社会福祉士・精神保健福祉士の役割と意義、現代社会と地域生活	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
2	鑑 さやか	ソーシャルワークの概念	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
3	鑑 さやか	ソーシャルワークの構成要素	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
4	鑑 さやか	ソーシャルワークの形成過程：源流	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
5	鑑 さやか	ソーシャルワークの形成過程：基礎確定期・発展期	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
6	鑑 さやか	ソーシャルワークの形成過程：展開期・統合化	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
7	鑑 さやか	ソーシャルワークの形成過程：日本	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
8	鑑 さやか	ソーシャルワーカーと価値・ソーシャルワーク実践と価値	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
9	鑑 さやか	ソーシャルワーク実践と権利擁護	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
10	鑑 さやか	クライアントの尊厳と自己決定	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
11	鑑 さやか	ノーマライゼーションと社会的包摂	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
12	鑑 さやか	専門職倫理	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
13	鑑 さやか	倫理綱領の内容と歴史	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
14	鑑 さやか	倫理的ジレンマ	事前に教科書の該当箇所に通し、講義後は講義時に指示するレジユメの重要箇所の確実な理解を図る	258	
教科書	最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座 第11巻 ソーシャルワークの基盤と専門職 中央法規出版				
参考書	講義内にて随時紹介する				
備考	本科目は社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験受験資格に必要な指定科目である				

科目名	ソーシャルワーク論Ⅰ			担当者	徳田 律子
科目ナンバリング	1060422051				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3302
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input checked="" type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 人間の関係性の理解や関係形成に必要なコミュニケーションに関する基本的知識を学び、対人援助職としての基盤を醸成する。具体的内容は次のとおり。 ・現代社会における人間の生き方の多様性を理解する。 ・相談援助における人と環境の交互作用を用いた援助理論を理解する。 ・ソーシャルワークの対象及び様々な実践モデルを理解する。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> ・授業内では Classroom を活用した確認テストとその解説を行う、レポートの各課題の出題とフィードバックは、GoogleClassroom で行う。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 履修上の留意事項及び遅刻の判断等についての詳細は、オリエンテーションで説明する。  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> ソーシャルワーク論Ⅱ,Ⅲ,Ⅳの各科目を理解する基盤形成となる。  <b>【実務家教員担当科目】</b> なし		
<b>【学習の到達目標】</b> ・相談援助の基本的理解 ・人と環境の交互作用に関する理解 ・ソーシャルワークの代表的な実践モデル及び実践アプローチの理解					
<b>【成績評価方法】</b> 予習・復習課題・確認テスト(60点)及び定期試験(40点)に基づき、到達目標の達成度を総合的に評価する。					
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	徳田 律子	相談援助の基礎1: 人間関係におけるコミュニケーションを用いた援助の意義	予習: 科目シラバスを熟読する。 復習: 科目の概要と進め方に基づき、学習計画を立てる。	258	
2	徳田 律子	相談援助の基礎2: 相談援助における対象者理解—他者理解と自己覚知等	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
3	徳田 律子	相談援助の基礎3: 基礎理論の誕生と変遷—精神分析、システム理論、生態学等	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
4	徳田 律子	実践モデルの理解1: 心理社会的アプローチ、機能的アプローチ	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
5	徳田 律子	実践モデルの理解2: 問題解決アプローチ、課題中心アプローチ	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
6	徳田 律子	実践モデルの理解3: 危機介入アプローチ、行動変容アプローチ	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
7	徳田 律子	実践モデルの理解4: 治療モデルと生活モデルの理解	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
8	徳田 律子	実践モデルの理解5: ストレングスモデル、エンパワメントアプローチ	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
9	徳田 律子	実践モデルの理解6: ジェネラリストアプローチ等	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
10	徳田 律子	集団を活用した相談援助1: グループワークの歴史等	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
11	徳田 律子	集団を活用した相談援助2: グループワークの実際、自助グループ等	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
12	徳田 律子	相談援助の技術1: 面接の基礎—面接空間、言語的・非言語的コミュニケーション	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
13	徳田 律子	相談援助の技術2: 面接の技術—バイスティックの原則、傾聴、共感、直面化等	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
14	徳田 律子	相談援助の技術3: 面接の実際—面接の構造、面接の工夫(機器や記述の活用等)	予習: 各授業のポイントを整理してまとめる。 復習: 全体の振り返りとまとめを行う。	258	
教科書	「新版・ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」(株)みらい				
参考書	必要に応じて適宜指示する。				
備考	本科目は社会福祉士国家試験の指定科目である。国試受験者は履修漏れの無いよう留意すること。				

科目名	ソーシャルワーク論Ⅱ			担当者	村田 道彦
科目ナンバリング	1060422052				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> ソーシャルワークの理論と方法Ⅰでは、相談援助の実践における理論的な指針となるさまざまな実践モデルとアプローチについて学んだ。この講義では、ソーシャルワーク実践における共通基盤となる援助過程に関する知識と技術について学ぶことを目的としている。そのために、インテークからアフターケアに至るまでのソーシャルワークの展開過程を中心とした講義を行うとともに、介護保険法・障害者自立支援法等に基づくサービス計画の実際や支援に関わる人的・社会的資源について解説する。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 講義の最後に実施する確認テストを返却し、解説を行う。		
<b>【学習の到達目標】</b> ソーシャルワークの展開過程についての知識と技術を学び、専門職としての支援の方策を理解する。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 復習課題を提示するので積極的に取り組むこと。また、理解を深めるために、事前にテキストの該当箇所を読んでおくこと。講義中の私語・飲食・携帯電話等の使用および充電は認めない。ただし、どうしても必要な場合の飲量摂取は認めるが机の上には置かない。他の学生の迷惑になると判断した場合は、退室を指示する場合がある。		
<b>【成績評価方法】</b> <基礎点> 定期試験 60点 (a) <加算点> 平常点 20点 (b)、課題レポート 20点 (C) で評価する <評価> (a) + (b) + (C) = 90点以上 S, 89 ~ 80点 A, 79 ~ 70点 B, 69 ~ 60点 C, 59点以下 D			<b>【実務家教員担当科目】</b> 地元の病院・施設のソーシャルワーカーや生活相談員と連携し、臨床現場で展開する支援計画の課題に対して学生自身が問題の抽出やアプローチの検証を行い実践的な技術を学習する。		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	村田 道彦	オリエンテーション・ソーシャルワークの展開過程の概要を学ぶ	教科書・シラバスを読んで授業形式・内容を把握する。		258
2	村田 道彦	ケースの発見(アウトリーチ・スクリーニング)について学ぶ	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
3	村田 道彦	インテーク(意義・目的・方法・留意点・契約)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
4	村田 道彦	アセスメント(意義・目的・方法・留意点)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
5	村田 道彦	プランニング(意義・目的・方法・留意点・効果と限界の予測・支援方針・内容の説明・同意)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
6	村田 道彦	支援の実施(意義・目的・方法・留意点)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
7	村田 道彦	モニタリング(意義・目的・方法・留意点・効果測定)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
8	村田 道彦	支援の終結(目的・方法・留意点)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。社会福祉法と関連法に関するミニレポート課題を課す。		258
9	村田 道彦	事後評価(目的・方法・留意点)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
10	村田 道彦	アフターケア(目的・方法・留意点)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
11	村田 道彦	ケアマネジメントの原則、意義と方法(歴史・適用と対象・意義・プロセス・モデル)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
12	村田 道彦	コミュニティワークの意義と目的(ソーシャルインクルージョン・住民参加)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
13	村田 道彦	スーパービジョンの意義、目的、方法(定義・バイザーとバイジー・機能・形態と方法)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
14	村田 道彦	コンサルテーションの意義、目的、方法(定義、コンサルタントとコンサルティーの関係、方法)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
教科書	日本ソーシャルワーク教育学校連携『ソーシャルワークの理論と方法』中央法規				
参考書	特に指定なし				
備考	この科目は社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目である。				

科目名	ソーシャルワーク論Ⅲ			担当者	志水田鶴子
科目ナンバリング	1060432053				非常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	非常勤講師室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 1) ソーシャルワークにおける援助関係の形成 2) ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 3) ネットワークの形成  <b>【学習の到達目標】</b> ①社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、より実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。 ②社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。  <b>【成績評価方法】</b> ・定期試験の代わりに授業内でミニテストを2回実施する 90点(a) ※出席回数が10回以上でない場合は受験資格無し ・レポートを1回5点+平常点5点(10回以上出席の場合)=10点(b) (a) + (b) =90点以上 S、89点～80点 A、79点～70点 B、69点～60点 C 59点以下 D			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> Google クラウドルームを活用し、リアクションペーパーを提出してもらうが、リアクションペーパーに記載された質問は授業内又は次の授業で解説する。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> ・復習課題を適宜指示するため、積極的に取り組み、達成すること ・やむを得ない理由以外の20分以上の遅刻は欠席扱いとする。理由がある場合には講義終了後に申し出ること。特段の理由のない遅刻は2回で欠席1回に換算する。 ・私語や携帯電話等の講義に関係ないものの使用及び充電等の行為については禁止する。  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 1) ソーシャルワークにおける「面接」の技術について理解が深められる 2) 我が国の最新の福祉情報支援の現状を知ることができる 3) ソーシャルワークの実践場面において求められる記録の管理方法について習得できる  <b>【実務家教員担当科目】</b> なし		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	志水田鶴子	オリエンテーション	ソーシャルワークにおける専門技術に関して調べる		258
2	志水田鶴子	第1章 ソーシャルワークにおける援助関係の形成	ソーシャルワーカーが身につけておかなければならない専門的態度と援助関係の形成について、バイステックの7原則と来談者(クライアント)中心療法のセラピストについて調べておく。実際の面接場面の事例を調べておく。		258
3	志水田鶴子	第1章 ソーシャルワークにおける援助関係の形成 第2章 ソーシャルワーカーの自己覚知と他者理解	ソーシャルワーカーが身につけておかなければならない専門的態度と援助関係の形成について、バイステックの7原則と来談者(クライアント)中心療法のセラピストについて調べておく。実際の面接場面の事例を調べておく。		258
4	志水田鶴子	第2章 ソーシャルワーカーの自己覚知と他者理解	教科書の事例を読み、ソーシャルワーカーとしての自己理解の必要性について、自分に置き換えて考えてみる。そのプロセスでわからないことは調べておく。		258
5	志水田鶴子	第2章 ソーシャルワーカーの自己覚知と他者理解 第3章 ソーシャルワークにおけるコミュニケーション	ソーシャルワーカーがクライアントに対して支援活動を展開する際に直面する葛藤について、事例などを参考にしながら調べておく。		258
6	志水田鶴子	第3章 ソーシャルワークにおけるコミュニケーション	コミュニケーションとは何か、コミュニケーション技術について調べておく。自分のコミュニケーションの特徴についても確認しておく。		258
7	志水田鶴子	第4章 ソーシャルワークにおける面接技術	ソーシャルワークにおける面接技術について調べておく。		258
8	志水田鶴子	第4章 ソーシャルワークにおける面接技術	ソーシャルワークにおける面接技術について調べておく。 ミニテスト①		258
9	志水田鶴子	第5章 ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発	社会資源にはどのようなものがあるのかについて調べておく。		258
10	志水田鶴子	第5章 ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発	ソーシャルアクションについて調べておく。		258
11	志水田鶴子	第5章 ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発	ソーシャルアクション実践でのアセスメントについて調べておく。		258
12	志水田鶴子	第6章 ソーシャルネットワークキング	ソーシャルネットワークキングとは何か、その意義について調べておく		258
13	志水田鶴子	第6章 ソーシャルネットワークキング	ソーシャルネットワークキング意義について振り返りを行っておく		258
14	志水田鶴子	第6章 ソーシャルネットワークキング まとめ	授業で学んだことを復習しておく。 ミニテスト②		258
教科書	新版ソーシャルワーカー教育シリーズ③ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ(専門)(株)みらい ※すでに購入している者については、新たに購入する必要はない。				
参考書	特になし				
備考	本科目は社会福祉士国家試験指定科目である。国家試験受験予定者は、履修漏れのないよう注意すること。 ミニテストは Google フォームで2回実施する予定である。欠席がないように注意すること。				

科目名	ソーシャルワーク論Ⅳ			担当者	志水田鶴子
科目ナンバリング	1060432054				非常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	非常勤講師室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】			【課題等のフィードバック方法】		
1. ソーシャルワークに関連する方法 2. カンファレンス、事例分析 3. ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際			リアクションペーパーに記載された質問は授業内又は次の授業で解説する。		
【学習の到達目標】			【履修上の注意・予習・復習について】		
1. 社会福祉士として実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解する。 2. 支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について理解する。 3. 地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。 4. 個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための、事例分析の意義や方法を理解する。			・復習課題を適宜指示するため、積極的に取り組み、達成すること ・やむを得ない理由以外の20分以上の遅刻は欠席扱いとする。理由がある場合には講義終了後に申し出ること。特段の理由のない遅刻は2回で欠席1回に換算する。 ・私語や携帯電話等の講義に関係ないものの使用及び充電等の行為については禁止する。		
【成績評価方法】			【受講して得られる効果・メリット、その他】		
・定期試験の代わりに授業内でミニテストを2回実施する 90点(a) ※出席回数が10回以上でない場合は受験資格無し ・レポートを1回5点+平常点5点(10回以上出席の場合)=10点(b) (a)+(b)=90点以上S、89点~80点A、79点~70点B、69点~60点C 59点以下D			これまで学んだソーシャルワーカーに求められる価値と倫理、専門知識と技術などを統合し、事例を活用しながらソーシャルワーカーとしての実践力を高めるための基盤を整備する。		
			【実務家教員担当科目】		
			なし		

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	志水田鶴子	オリエンテーション	第1章から第6章までの振り返りを行う。第7章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
2	志水田鶴子	第7章 ソーシャルワークの関連技法	第7章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
3	志水田鶴子	第7章 ソーシャルワークの関連技法 第8章 事例研究の方法と事例分析	第7章と第8章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
4	志水田鶴子	第8章 事例研究の方法と事例分析	第8章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
5	志水田鶴子	第8章 事例研究の方法と事例分析	第8章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
6	志水田鶴子	第8章 事例研究の方法と事例分析 第9章 ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際	第8章と第9章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
7	志水田鶴子	第9章 ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際 ミニテスト①	第9章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
8	志水田鶴子	第9章 ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際	第9章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
9	志水田鶴子	第10章 総合的・包括的なソーシャルワークの実際1—家族支援	第10章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
10	志水田鶴子	第10章 総合的・包括的なソーシャルワークの実際1—家族支援	第10章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
11	志水田鶴子	第10章 総合的・包括的なソーシャルワークの実際1—家族支援 第11章 総合的・包括的なソーシャルワークの実際2—地域支援	第10章と第11章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
12	志水田鶴子	第11章 総合的・包括的なソーシャルワークの実際2—地域支援	第11章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
13	志水田鶴子	第11章 総合的・包括的なソーシャルワークの実際2—地域支援 第12章 総合的・包括的なソーシャルワークの実際3—非常時・災害時の支援	第11章と第12章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
14	志水田鶴子	第12章 総合的・包括的なソーシャルワークの実際3—非常時・災害時の支援 ミニテスト②	第12章について読み、わからない言葉や制度等について調べておく。	258	
教科書	新社会福祉士養成課程対応 ソーシャルワーカー教育シリーズ③ 新版ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ(専門編) 株式会社みらい *すでにソーシャルワーク論Ⅰ~Ⅲで購入している場合には、新たに購入する必要はない。				
参考書	適宜紹介する				
備考	社会福祉士国家試験の指定科目であるので、社会福祉士国家試験を受験希望の者は履修漏れに注意すること。				

科目名	高齢者福祉論			担当者	村田 道彦
科目ナンバリング	1060422055				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1202
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 日本における高齢化率は既に29%を超え、国民の4人に1人が65歳以上の高齢者となる時代を迎えている。こうした「超」高齢社会は今後、継続することが確実視されており、介護をはじめとする高齢者福祉施策の充実が国民にとって重要な関心事となっている。この講義では、高齢者が直面する様々な生活上の課題について学び、高齢者の生活を支える社会的諸制度について理解することを目的とする。そのために高齢者福祉に関わる現在の社会的状況と基本的な法制度・施策、および介護に関わる基本的考え方について講義する。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 授業内あるいは次の授業で解説する。		
<b>【学習の到達目標】</b> 高齢者に対する尊厳を身につけ、高齢者の抱える生活課題及び支援に必要な制度の発展過程、生活支援技術としての介護に関する基本的知識を理解する。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 復習課題を提示するので積極的に取り組むこと。また、理解を深めるために、事前にテキストの該当箇所を読んでおくこと。講義中の私語・飲食・携帯電話等の使用および充電は認めない。ただし、どうしても必要な場合の飲量摂取は認めるが、机の上には置かない。		
<b>【成績評価方法】</b> <基礎点> 定期試験 60% (a) ※出席回数が10回未満の場合は受験資格なし～ <加算点> 平常点、課題レポート 40% (b) <評価> (a) + (b) = 90点以上 S, 89～80点 A, 79～70点 B, 69～60点 C, 59点以下 D			<b>【実務家教員担当科目】</b> 福祉サービス第三者評価者として10年以上の経験をもつ者が、経験を活かして施設や在宅サービスにおける組織マネジメント、相談・介護支援、リスク管理、住環境等、その現状や課題について解説する。		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	村田 道彦	高齢者の定義と特徴(社会的・身体的・精神的理解)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
2	村田 道彦	高齢者の生活実態(住居・所得・世帯・雇用、就労・介護需要、介護予防)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
3	村田 道彦	高齢者を取り巻く社会環境(独居・老老介護・ダブルケア・8050問題・高齢者虐待・介護者の離職)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
4	村田 道彦	高齢者福祉の理念(人権の尊重・尊厳の保持・老人福祉法、介護保険法における理念)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
5	村田 道彦	高齢者観の変遷(敬老思想・エイジズム・社会的弱者・アクティブエイジング)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
6	村田 道彦	高齢者福祉制度の発展過程	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
7	村田 道彦	介護保険制度(介護保険法と介護保険制度の概要・介護報酬の概要・組織及び団体の役割)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
8	村田 道彦	介護保険制度(保険者と被保険者・保険料・要介護認定の仕組みとプロセス・居宅サービス、施設サービスの種類)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
9	村田 道彦	老人福祉法(老人福祉法の概要・措置)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
10	村田 道彦	高齢者虐待防止法(概要・未然防止・通報義務、早期発見)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
11	村田 道彦	バリアフリー法(概要・施設設置管理者等の責務)	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
12	村田 道彦	高齢者住まい法及び高齢者雇用安定法、育児・介護休業法	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
13	村田 道彦	高齢者と家族等の支援における関係機関の役割	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
14	村田 道彦	高齢者と家族等に対する支援の実際	予習:教科書の該当箇所・関連資料に目を通す。復習:授業で学習した箇所を考察する。課題プリントを課す。		258
教科書	日本ソーシャルワーク教育学校連盟『高齢者福祉』中央法規				
参考書	特に指定なし				
備考	社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目である。				

科目名	高齢者総合支援論			担当者	黒沢 麻美
科目ナンバリング	1060422056				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3313
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】		【課題等のフィードバック方法】			
<p>高齢化の進展と人々の住まい方の変化により、高齢者夫婦のみの世帯や一人暮らしの高齢者が増加している。また介護保険の導入から19年が経過し、介護に対する意識、介護サービスの在り方・利用の仕方、介護予防の考え方が変化している。この講義では、高齢者の生活の個別性を理解し、対象者の主体性を尊重した総合的な支援の方法を学ぶことを目的としている。そのために介護保険制度を中心として、高齢者福祉サービスの内容、高齢者福祉に携わる専門職の役割、高齢者虐待への対応と予防策等、高齢者の生活を支える諸制度や社会資源について解説する。</p>		<p>授業内あるいは次の授業で解説する。</p> <p>【履修上の注意・予習・復習について】 講義中の私語・食事・私的な携帯電話の使用は認めない。他の学生の迷惑になると判断した場合は、退室を指示する場合がある。</p> <p>【受講して得られる効果・メリット、その他】 要介護高齢者の生活を支える重要な社会資源である介護保険制度を理解することで、当事者および家族が支援を必要とする時の相談援助および支援計画の作成に役立てることができる。</p> <p>【実務家教員担当科目】 高齢者施設での実務経験、介護福祉士、介護支援専門員資格を取得している教員が担当</p>			
【学習の到達目標】		【成績評価方法】			
<p>介護保険制度の仕組みと運用の実態を理解し、高齢者に対する多様な生活支援のあり方の実際を知る。支援者の視点だけでなく、高齢者の視点を理解することの重要性を学ぶ。</p>		<p>定期試験 80%、平常点（出席、課題レポート、授業への取り組み状況）20% ※出席回数が10回未満の場合は受験資格なし</p>			
授 業 計 画					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	黒沢 麻美	高齢者の生活ニーズと支援（フォーマルサポート、インフォーマルサポート）	シラバスを読んで授業内容を理解する。		258
2	黒沢 麻美	介護保険法の概要（背景と目的、保険制度の内容、要介護認定のプロセスなど）	予習：介護保険法について調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
3	黒沢 麻美	介護保険法における各種機関の役割（国、自治体、事業者、国保連など）	予習：介護保険法について調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
4	黒沢 麻美	介護保険サービスの内容①（居宅サービス）	予習：介護保険サービスについて調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
5	黒沢 麻美	介護保険サービスの内容②（地域密着型サービス、施設サービス）	予習：介護保険サービスについて調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
6	黒沢 麻美	地域包括支援センターの役割と活動	予習：地域包括支援センターについて調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
7	黒沢 麻美	専門職の役割と実際①（介護支援専門員、訪問介護職員、介護職員、生活相談員など）	予習：高齢者に関する専門職について調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
8	黒沢 麻美	専門職の役割と実際②（福祉用具専門相談員、介護相談員、認定審査会委員など）	予習：高齢者に関する専門職について調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
9	黒沢 麻美	職種間の連携ネットワーク	予習：職種間連携について調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
10	黒沢 麻美	認知症ケアの理解①（認知症の理解、認知症高齢者の行動の理解）	予習：認知症について調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
11	黒沢 麻美	認知症ケアの理解②（認知症ケアの理念、認知症ケアの実際）	予習：認知症について調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
12	黒沢 麻美	認知症ケアの理解③（認知症ケアの実際）	予習：認知症について調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
13	黒沢 麻美	認知症ケアの理解④（認知症ケアの実際、若年性認知症など）	予習：認知症について調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
14	黒沢 麻美	高齢者のQOLを高める環境要素（住環境の改善、福祉機器の活用）	予習：適切な住環境について調べる。 復習：授業で学習した例示等を含めて考察する。		258
教科書	指定なし				
参考書	最新社会福祉士養成講座2 高齢者福祉 最新介護福祉士養成講座13 認知症の理解				
備考	特になし。				

科目名	子ども家庭福祉論			担当者	鑑 さやか
科目ナンバリング	1060422057				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1307
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

この講義では、子ども家庭福祉施策の概況を念頭に置きつつ、子どもを巡る社会事情がどのように変化してきているか、また、今後の子ども家庭福祉の方向はどのようなものであるべきかについて、最新の動向を中心に紹介しながら子ども家庭福祉の理念、制度、援助の実践について講義を行う。

**【学習の到達目標】**

- ・現代社会における子ども親と子どもの権利保障について理解する
- ・子ども家庭福祉の法制度および行財政について理解する
- ・子ども家庭福祉援助の実際と課題について理解し、援助活動を行う際に必要な基礎的知識を身につける

**【成績評価方法】**

定期試験評価 70% 授業内課題評価 30%

**【課題等のフィードバック方法】**

授業内で実施する小テストを返却し、解説を行う

**【履修上の注意・予習・復習について】**

授業開始後 20 分までは教室への入室を認めます。  
欠席が 3 分の 1 以上の者は原則として定期試験の受験資格はないので注意すること。  
詳しくは初回授業時に提示します。  
授業中のスマートフォンの使用や私語、飲食は禁止します。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

本科目では、子ども家庭福祉領域の概況を理解することにより、基礎的な知識を学ぶことができる。

**【実務家教員担当科目】**

該当なし

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	鑑 さやか	オリエンテーション・子どもと家庭を取り巻く状況	予習・復習の内容および方法についてはオリエンテーション時に指示する	258
2	鑑 さやか	子ども家庭福祉の理念と概念	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
3	鑑 さやか	子ども家庭福祉の権利保障	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
4	鑑 さやか	子ども家庭福祉の歴史的展開①	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
5	鑑 さやか	子ども家庭福祉の歴史的展開②	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
6	鑑 さやか	子ども家庭福祉の歴史的展開③	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
7	鑑 さやか	子ども家庭福祉の法制度①	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
8	鑑 さやか	子ども家庭福祉の法制度②	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
9	鑑 さやか	子ども家庭福祉の実施体制①	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
10	鑑 さやか	子ども家庭福祉の実施体制②	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
11	鑑 さやか	子ども家庭福祉を取り巻く状況と福祉サービス～子どもの虐待～	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
12	鑑 さやか	子ども家庭福祉を取り巻く状況と福祉サービス～少子化～	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
13	鑑 さやか	子ども家庭福祉を取り巻く状況と福祉サービス～子育て支援～	予習：教科書を読み、専門用語の意味を理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
14	鑑 さやか	社会的養護を必要とする子どもに対する福祉サービス～事例検討～	予習：前回まで使用した教科書・資料を再確認しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
教科書	児童・家庭福祉 中央法規出版			
参考書	社会福祉小六法 日本子ども資料年鑑 KTC 出版 その他 必要な文献は講義の都度提示予定			
備考	特になし			

科目名	社会福祉調査論			担当者	齊藤 綾美
科目ナンバリング	1060432059				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3307
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> ニーズの発見、対象者の生活や課題の理解、行政その他機関が発表する調査データの理解など、社会調査に関する知識や能力が、社会調査士やソーシャル・ワーカーには求められる。本講義では、量的調査および質的調査の特徴、歴史、方法、意義と限界について解説する。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> テストの結果について要望があれば、追再試後にクラスルームに掲示する。		
<b>【学習の到達目標】</b> 1. 社会調査の概要と方法について説明できる。2. 量的調査と質的調査の意義と限界について説明できる。3. 調査リテラシーを獲得する。4. 簡単な調査票や質問紙を作成することができる。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b>  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 1. 量的調査と質的調査の特徴を知ることができる。2. 調査リテラシーを獲得することができる。3. 簡単な社会調査を計画することができる。4. 調査の善し悪しについて評価することができる。		
<b>【成績評価方法】</b> 課題(50%)、定期試験(50%)			<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当せず。		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	齊藤 綾美	調査とは何か	社会調査とは何か、福祉調査について整理する。		258
2	齊藤 綾美	調査の実例1(公的調査、世論調査)	公的調査、世論調査とは何か調べ、特徴を整理する。		258
3	齊藤 綾美	調査の実例2(学術調査、マーケティング・リサーチ、その他)	学術調査、マーケティング・リサーチの特徴を調べる。		258
4	齊藤 綾美	調査方法論	社会調査法の特徴を整理する。		258
5	齊藤 綾美	調査の歴史	過去の社会調査にはどのようなものがあるか調べる。		258
6	齊藤 綾美	調査の過程と調査倫理	調査倫理とは何か整理する。		258
7	齊藤 綾美	量的調査1: 量的調査の特徴、測度水準と調査規模・スケジュール・費用・対象・方法の決定	量的調査の特徴について調べる。		258
8	齊藤 綾美	量的調査2: 調査票作成	調査票を作成するうえで、どのような点に注意すべきか調べる。		258
9	齊藤 綾美	量的調査3: 標本調査	標本調査の考え方について調べる。		258
10	齊藤 綾美	量的調査4: 調査結果の集計	調査結果の集計・分析方法、統計的検定、相関係数、回帰鑑定などの基本的概念について整理する。		258
11	齊藤 綾美	質的調査1: 質的調査の種類と方法	質的調査にはどのような特徴があるか調べる。		258
12	齊藤 綾美	質的調査2: 調査票の作成	調査票を作成する上での注意点について調べる。		258
13	齊藤 綾美	質的調査3: データ分析	質的調査で得られたデータの分析の仕方について調べる。		258
14	齊藤 綾美	評価方法としての調査	調査やが評価としてどのように使われるか考える。		258
教科書	なし。				
参考書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、2021年『社会福祉調査の基礎』中央法規。その他については講義時に随時紹介する。				
備考	社会調査士の資格取得に関わる科目(A「社会調査の基本的事項に関する科目」)である。社会福祉士国家試験科目「社会福祉調査の基礎」に該当する。				

科目名	福祉経営論			担当者	○千脇 隆志・高梨 友也
科目ナンバリング	1060442060				非常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	非常勤講師室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	4年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**  
「福祉サービスの組織と経営」第3版を教科書に、社会福祉施設の経営全般に関する基本的な理解と、社会福祉事業を取り巻く環境及び課題等について、実践的視点から講義や演習を行います。

**【学習の到達目標】**  
社会福祉サービスに関する基礎的な知識、事業運営上の課題、求められる意義、スキル等について包括的に学びます。

**【成績評価方法】**  
定期試験60%(点)、平常点20%(点)、小レポート20%(点)により評価します。

**【課題等のフィードバック方法】**  
小レポート提出と、講義に関する振り返り等を行います。小レポートにて、質問を受け付け、次回の講義等で回答する。

**【履修上の注意・予習・復習について】**  
専門用語等の習熟や、その時々々の社会福祉に関する状況把握等が必要です。事前に教科書に目を通すことや、福祉関連のニュース等に関心を持つことを心がけてください。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**  
実際の現場に立った際に、社会状況を反映した包括的な視点や、社会福祉施設経営に必要な実践的知識を身につけることができます。

**【実務家教員担当科目】**  
該当なし。

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	千脇 隆志	社会福祉法人の概要と役割	事前に教科書(該当する学習内容)をよく読みこんでくこと 2回目以降も同様	258
2	高梨 友也	社会福祉施設の概要と推移	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
3	千脇 隆志	社会福祉法人・社会福祉施設の経営管理	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
4	高梨 友也	経営管理、問題解決のあり方、モチベーション	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
5	千脇 隆志	社会福祉施設のサービス管理	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
6	千脇 隆志	社会福祉施設・事業のリスクマネジメント	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
7	高梨 友也	社会福祉施設のサービスと権利擁護	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
8	高梨 友也	社会福祉施設の人事管理と労務管理、研修	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
9	千脇 隆志	社会福祉施設の情報管理	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
10	千脇 隆志	組織におけるリーダーシップ	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
11	高梨 友也	社会福祉事業のマーケティングと品質管理	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
12	高梨 友也	社会福祉施設のサービス評価と契約	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
13	高梨 友也	社会福祉施設の会計管理と財務管理	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
14	千脇 隆志	社会福祉施設整備と福祉用具	事前に教科書をよく読みこんでくこと	258
教科書	「福祉サービスの組織と経営」第3版 福祉臨床シリーズ編集委員会編 弘文堂			
参考書	社会福祉六法、P・ドラッカー等マネジメントに関する本			
備考	質問等の問合わせ先 千脇 隆志			

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅰ			担当者	○村田 道彦・大竹 伸治
科目ナンバリング	1060422062				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1202・1303
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	演習	授業時間	30時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> ソーシャルワークとは、「人」が何らかの社会生活上の困難に直面している「人」にかかわり、様々な社会資源を活用しながらその「生活」を支援することをいう。本科目では、専門職者として「人」が「人」にかかわる時に求められる人権尊重、権利擁護、自立支援、面接技法、プレゼンテーション等についての基礎的な理解を図ることを目的とする。具体的には、ロールプレイやディスカッション、グループワーク等を通じた学習により、今後ソーシャルワーカーを目指す者として、自ら学び、考え、主体的に行動する態度を涵養するものである			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 毎回の演習終了後に提出された振り返りレポート又は課題へ対し、コメントあるいは解説を行う		
<b>【学習の到達目標】</b> Step1: ソーシャルワークにおける支援者としての視点や態度、倫理や価値などにかかわる基礎的な知識、技術を理解する。 Step2: ソーシャルワークとは何かについて考え、支援者に求められる価値・知識・技術の本来的意義とは何かに気づく。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 本科目は演習という科目の性質上、受講者の主体的な参加を前提としている。演習には積極的に取り組み、実施後には毎回振り返りを行うことが求められる		
<b>【成績評価方法】</b> 出席及び課題の提出(60%)、受講態度(40%)等により、総合的に評価する。 評価に際しては、当該科目の性質上とくに受講態度と出席を重視する。			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 本科目を通じ、ソーシャルワーカーとしての素養を得ることができる。また、日常生活において、ワーカーとしての視点や技術がいかに養われるものであるかについて学ぶことができる。		
			<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	村田 道彦 大竹 伸治	自己覚知の理解	自己覚知に関するミニレポート課題を課す		65
2	村田 道彦 大竹 伸治	価値観の相違(多様性)	価値観の相違に関するミニレポート課題を課す		65
3	村田 道彦 大竹 伸治	人権(権利擁護)と尊厳	人権(権利擁護)と尊厳に関するミニレポート課題を課す		65
4	村田 道彦 大竹 伸治	平等と個性の尊重	平等と個性の尊重に関するミニレポート課題を課す		65
5	村田 道彦 大竹 伸治	社会正義とは何か	社会正義に関するミニレポート課題を課す		65
6	村田 道彦 大竹 伸治	自己決定の尊重とクライアントの利益	自己決定の尊重とクライアントの利益に関するミニレポート課題を課す		65
7	村田 道彦 大竹 伸治	ワーカーの倫理的責任	ワーカーの倫理的責任に関するミニレポート課題を課す		65
8	村田 道彦 大竹 伸治	基本的なコミュニケーションの技法1	基本的なコミュニケーションに関するミニレポート課題を課す		65
9	村田 道彦 大竹 伸治	基本的なコミュニケーションの技法2	基本的なコミュニケーションに関するミニレポート課題を課す		65
10	村田 道彦 大竹 伸治	ソーシャルワークの記録	ソーシャルワークの記録に関するミニレポート課題を課す		65
11	村田 道彦 大竹 伸治	ソーシャルワークの展開過程と面接技法1	ソーシャルワークの展開過程と面接に関するミニレポート課題を課す		65
12	村田 道彦 大竹 伸治	ソーシャルワークの展開過程と面接技法2	ソーシャルワークの展開過程と面接に関するミニレポート課題を課す		65
13	村田 道彦 大竹 伸治	グループダイナミクスの活用	グループダイナミクスに関するミニレポート課題を課す		65
14	村田 道彦 大竹 伸治	ソーシャルワークにおけるプレゼンテーション技術	プレゼンテーションに関するミニレポート課題を課す		65
教科書	13. ソーシャルワーク演習【共通科目】2021.2.1 発行 中央法規出版 また適宜、授業においてプリントを配布する				
参考書	特に指定なし。				
備考	・本科目は社会福祉士国家試験指定科目である。国家試験受験予定者は、履修漏れの無いよう注意すること。・本科目は演習という科目の性質上、やむを得ない理由による欠席は3回まで認めるが、4回以上となった時点で履修放棄とする。遅刻は20分までとし、2回で欠席1回分とする。(問合せ教員: 村田道彦)				

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅱ			担当者	○鑑 さやか・徳田 律子
科目ナンバリング	1060422063				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1307・3302
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	演習	授業時間	30時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> ロールプレイやディスカッション、グループワーク等を通じた学習により、ソーシャルワーカーを目指す者として必要な基礎的技術の習得を目的とする。  <b>【学習の到達目標】</b> ・ソーシャルワーク実習を視野に入れながら、演習を通じて人権尊重、権利擁護、自立支援に基づく社会福祉援助技術の修得を目指す ・福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、総合的かつ包括的な援助についての視点および基礎的技術を身につける  <b>【成績評価方法】</b> 出席及び課題の提出(60%)、受講態度(40%)等により、総合的に評価する。 評価に際しては、当該科目の性質上とくに受講態度と出席を重視する。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 毎回の演習終了後に提出された振り返りレポート又は課題へ対し、コメントあるいは解説を行う。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 本科目は演習という科目の性質上、受講者の主体的な参加を前提としている。 演習には積極的に取り組み、実施後には毎回振り返りを行うことが求められる。  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 本科目は原則としてソーシャルワーク実習を履修する予定の学生を対象とする科目であり、演習を通して相談援助技術の基礎的技術を習得することができる。  <b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし			
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	鑑 さやか・徳田 律子	オリエンテーション・ソーシャルワークの専門性とは	ソーシャルワークにおける面接の専門性についてまとめる	65	
2	鑑 さやか・徳田 律子	事例の理解とケースの発見	相談援助における事例の理解とケースの発見に関するレポート課題を課す	65	
3	鑑 さやか・徳田 律子	インテークにおける利用者理解と面接技法①	インテークにおける利用者理解と面接技法を復習し、レポートにまとめる	65	
4	鑑 さやか・徳田 律子	インテークにおける利用者理解と面接技法②	インテークにおける利用者理解と面接技法を復習し、レポートにまとめる	65	
5	鑑 さやか・徳田 律子	アセスメントにおける利用者理解と面接技法	コアセスメントにおける利用者理解と面接技法を復習し、レポートにまとめる	65	
6	鑑 さやか・徳田 律子	アセスメントにおける利用者理解と記録技術	アセスメントにおける利用者理解と記録技術を復習し、レポートにまとめる	65	
7	鑑 さやか・徳田 律子	プランニングにおける利用者理解と技術①	プランニングにおける利用者理解と技術を復習し、レポートにまとめる	65	
8	鑑 さやか・徳田 律子	プランニングにおける利用者理解と技術②	プランニングにおける利用者理解と技術を復習し、レポートにまとめる	65	
9	鑑 さやか・徳田 律子	介入における利用者理解と技術	介入における利用者理解と技術を復習し、レポートにまとめる	65	
10	鑑 さやか・徳田 律子	モニタリングと評価・チームアプローチの理解	モニタリングと評価・チームアプローチを復習し、レポートにまとめる	65	
11	鑑 さやか・徳田 律子	終結と事後評価	終結と事後評価を復習し、レポートにまとめる	65	
12	鑑 さやか・徳田 律子	実践事例検討演習①	実践事例検討演習を振り返り、レポートをまとめる	65	
13	鑑 さやか・徳田 律子	実践事例検討演習①	実践事例検討演習を振り返り、レポートをまとめる	65	
14	鑑 さやか・徳田 律子	ソーシャルワークの展開過程とその専門性	ソーシャルワークの展開過程とその専門性に関するレポートを課す	65	
教科書	なし 適宜、授業においてプリントを配布する。				
参考書	特に指定なし				
備 考	・本科目は社会福祉士国家試験指定科目である。国家試験受験予定者は、履修漏れのないよう注意すること。 ・本科目は演習という科目の性質上、やむを得ない理由による欠席は3回まで認めるが、4回以上となった時点で履修放棄とする。遅刻は20分までとし、2回で欠席1回分とする。 (問合せ教員：各演習担当教員)				

科目名	精神医学 I			担当者	二木 文明
科目ナンバリング	1060412071				常勤
D P	1,2			教員研究室	3209 研究室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1 年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30 時間	単位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし				
ICT 活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 本授業では、精神医学の概念や方法、精神疾患の分類・診断や治療、更に精神医療全般に関して講義を行う。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 授業終了時に質問を受けつけ、回答する。			
<b>【学習の到達目標】</b> 医療・福祉の場で必要とされる精神医学および精神医療に関する基本的な考え方と知識の習得を目標とする。		<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 受講中の私語は平常点の減点対象とするが、注意されても私語を止めない学生には教室からの退室を命じる。また、受講中の飲食と携帯使用も禁止とする。 なお、復習は非常に大切である。			
<b>【成績評価方法】</b> 定期試験を 85%、平常点を 15% の計 100 点とする。		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> うつ病や高齢者の認知症など精神疾患が大幅に増加している現代において、精神医学および精神医療に関する考え方と知識を学ぶことはとても重要である。			
		<b>【実務家教員担当科目】</b> 総合病院の精神科や精神科病院において長い間、精神科医師としての業務に携わった教員が、精神疾患および精神医療に関する基本的な考え方と知識を教授する。			
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	二木 文明	1. 精神医学序論	事前に講義内容のプリントを配布するので授業の前日までに目を通しておくこと、授業が終わってから講義内容を復習すること。	258	
2	二木 文明	2. 脳の構造と機能、こころの生物学的理解と心理学的理解	同上	258	
3	二木 文明	3. 精神疾患の従来の分類、ICD と DSM の分類、精神疾患の診断法	同上	258	
4	二木 文明	4. 症状性および器質性精神障害 ①アルツハイマー型認知症(前半)	同上	258	
5	二木 文明	5. 症状性および器質性精神障害 ②アルツハイマー型認知症(後半)	同上	258	
6	二木 文明	6. 症状性および器質性精神障害 ③血管性認知症	同上	258	
7	二木 文明	7. 症状性および器質性精神障害 ④その他の認知症	同上	258	
8	二木 文明	8. 症状性および器質性精神障害 ⑤てんかん	同上	258	
9	二木 文明	9. 精神作用物質による精神と行動の障害 ①アルコール関連障害	同上	258	
10	二木 文明	10. 精神作用物質による精神と行動の障害 ②薬物依存	同上	258	
11	二木 文明	11. 内因性の精神疾患：気分障害①	同上	258	
12	二木 文明	12. 内因性の精神疾患：気分障害②	同上	258	
13	二木 文明	13. 内因性の精神疾患：統合失調症①	同上	258	
14	二木 文明	14. 内因性の精神疾患：統合失調症②	同上	258	
教科書	『最新精神保健福祉士養成講座 1 精神医学と精神医療』中央法規出版				
参考書	授業中、必要に応じ提示する。				
備考	本科目は精神保健福祉士国家試験の指定科目である。				

科目名	精神医学Ⅱ			担当者	二木 文明
科目ナンバリング	1060412072				常勤
D P	1,2			教員研究室	3209 研究室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**  
本授業では、精神医学の概念や方法、精神疾患の分類・診断や治療、更に精神医療全般に関して講義を行う。

**【学習の到達目標】**  
医療・福祉の場で必要とされる精神医学および精神医療に関する基本的な考え方と知識の習得を目標とする。

**【成績評価方法】**  
定期試験を85%、平常点を15%の計100点とする。

**【課題等のフィードバック方法】**  
授業終了時に質問を受け付け、回答する。

**【履修上の注意・予習・復習について】**  
受講中の私語は平常点の減点対象とするが、注意されても私語を止めない学生には教室からの退室を命じる。また、受講中の飲食と携帯使用も禁止とする。  
なお、復習は非常に大切である。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**  
うつ病や高齢者の認知症など精神疾患が大幅に増加している現代において、精神医学および精神医療に関する考え方と知識を学ぶことはとても重要である。

**【実務家教員担当科目】**  
総合病院の精神科や精神科病院において長い間、精神科医師としての業務に携わった教員が、精神疾患および精神医療に関する基本的な考え方と知識を教授する。

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	二木 文明	1. 神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害①	事前に講義内容のプリントを配布するので授業の前日までに目を通しておくこと、授業が終わってから講義内容を復習すること。	258
2	二木 文明	2. 神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害②	同上	258
3	二木 文明	3. 神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害③	同上	258
4	二木 文明	4. 摂食障害, 睡眠障害	同上	258
5	二木 文明	5. パーソナリティと行動の障害	同上	258
6	二木 文明	6. 小児期および青年期にみられる精神障害① 心理的発達の障害	同上	258
7	二木 文明	7. 小児期および青年期にみられる精神障害② 心理的発達の障害	同上	258
8	二木 文明	8. 児童および青年期にみられる精神障害③ 行動と情緒の障害	同上	258
9	二木 文明	9. 児童および青年期にみられる精神障害④ 知的障害	同上	258
10	二木 文明	10. 精神医療の歴史① 西欧の精神医療	同上	258
11	二木 文明	11. 精神医療の歴史② 日本の精神医療	同上	258
12	二木 文明	12. 精神科医療機関における医療の実際: 外来医療	同上	258
13	二木 文明	13. 精神科医療機関における医療の実際: 入院医療①	同上	258
14	二木 文明	14. 精神科医療機関における医療の実際: 入院医療②	同上	258
教科書	『最新精神保健福祉士養成講座 1 精神医学と精神医療』 中央法規出版			
参考書	授業中、必要に応じ提示する。			
備考	本科目は精神保健福祉士国家試験の指定科目である。			

科目名	生活支援工学			担当者	徳田 律子
科目ナンバリング	1060422090				常勤
D P	2,3			教員研究室	3302
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input checked="" type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 本講義では、まず福祉用具の歴史や現代の法制度などの福祉用具総論について講義を行います。次に、移動用具、起居用具、排泄用具、入浴用具、コミュニケーション機器など、それぞれの福祉用具の種類別に機能や使い方、選定のポイントについて講義を行います。最後に、福祉用具を使用する環境整備や二次障害の問題、福祉用具専門職について講義を行い、まとめます。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> ・提出した課題について、次の授業時間に解説する ・講義終了後、質問を受け付け、回答する		
<b>【学習の到達目標】</b> 高齢者や障害のある人がより豊かな生活を送るための支援において、生活環境を含めた問題への取り組みは最も基本に存在するものである。生活支援工学では、医療・保健・福祉に携わる専門職者が利用者の生活状況全体を理解する視点を持つことを目標にしつつ、福祉用具支援に必要と考えられる基本的知識と技術を学習することを目的としている。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 福祉用具展示室の見学などフィールドワークも実施するため、挨拶やマナーを守れることが重視されます。		
<b>【成績評価方法】</b> 出席が3分の2を上回る者を評価の対象とする。 授業中に示した課題に対する達成度の評価(授業への取り組み態度15%、レポート課題3つで45%、授業中に課す課題5つで40%)により総合的に評価する。			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 1) 福祉用具の構造や機能を覚えるだけでなく、触って自ら考えるというプロセスを体験する。 2) 福祉用具専門相談員や福祉住環境コーディネーターなどの資格取得にチャレンジする際の基礎知識を得ることができる。		
			<b>【実務家教員担当科目】</b> なし		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	徳田 律子	医療福祉専門職者と生活支援工学	障害と住環境整備の重要性について整理する		258
2	徳田 律子	福祉用具の歴史と現代の法制度	福祉用具の種類について調べる		258
3	徳田 律子	生活場面別にみた福祉用具の理論と実際-歩行を補助する道具-	人間の歩行動作を阻害する疾病・障害等について調べる		258
4	徳田 律子	生活場面別にみた福祉用具の理論と実際-歩行を代替する道具-	車いすの各部の名称について調べる 最新の車いすを取り扱った視聴覚教材を視聴し、感想をまとめる		258
5	徳田 律子	生活場面別にみた福祉用具の理論と実際-車いすとシーティング-	シーティングを取り扱った視聴覚教材を視聴し、感想をまとめる		258
6	徳田 律子	生活場面別にみた福祉用具の理論と実際-排泄用具-	身近な障害者用トイレを取り上げ、その特徴について整理する		258
7	徳田 律子	生活場面別にみた福祉用具の理論と実際-起居関連用具-	起居関連用具を取り扱った視聴覚教材を視聴し、感想をまとめる		258
8	徳田 律子	福祉用具に関わる専門職者の理解	専門職者の活動に関する視聴覚教材を視聴し、感想をまとめる		258
9	徳田 律子	福祉用具の利用と住環境整備の実際	介護保険で利用可能な住宅改修費の具体的項目と費用負担など各種手続きについて調べる		258
10	徳田 律子	福祉用具と二次障害(1)	二次障害を取り扱った視聴覚教材を視聴し、二次障害が発生した原因を分析し、望ましい対応について整理する		258
11	徳田 律子	福祉用具と二次障害(2)	二次障害を取り扱った視聴覚教材を視聴し、二次障害が発生した原因を分析し、望ましい対応について整理する		258
12	徳田 律子	テクノロジーウォッチング	身近なアシスティブテクノロジーを観察し、レポートにまとめる		258
13	徳田 律子	福祉用具とアフォーダンスの世界	私たちの行動を阻害する環境を探し、レポートにまとめる		258
14	徳田 律子	介護ロボット技術への応用	実用化された介護ロボットについて調べる 介護ロボットに関する視聴覚教材を視聴し、目的ごとに類型化する		258
教科書	特になし				
参考書	ドナルド・A. ノーマン著「誰のためのデザイン?—認知科学者のデザイン原論」新曜社				
備考	特になし				

科目名	障害者支援論			担当者	黒沢 麻美
科目ナンバリング	1060422091				常勤
D P	1,2			教員研究室	3313
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 高齢化の進展と人々の住まい方の変化により、高齢者夫婦のみの世帯や一人暮らしの高齢者が増加している。また介護保険の導入から19年が経過し、介護に対する意識、介護サービスの在り方・利用の仕方、介護予防の考え方が変化している。この講義では、高齢者の生活の個別性を理解し、対象者の主体性を尊重した総合的な支援の方法を学ぶことを目的としている。そのために介護保険制度を中心として、高齢者福祉サービスの内容、高齢者福祉に携わる専門職の役割、高齢者虐待への対応と予防策等、高齢者の生活を支える諸制度や社会資源について解説する。				<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 授業内あるいは次の授業で解説する。	
<b>【学習の到達目標】</b> 介護保険制度の仕組みと運用の実態を理解し、高齢者に対する多様な生活支援のあり方の実際を知る。支援者の視点だけでなく、高齢者の視点を理解することの重要性を学ぶ。				<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 講義中の私語・食事・私的な携帯電話の使用は認めない。他の学生の迷惑になると判断した場合は、退室を指示する場合がある。	
<b>【成績評価方法】</b> 定期試験 80%、平常点(出席、課題レポート、授業への取り組み状況) 20% ※出席回数が10回未満の場合は受験資格なし				<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 要介護高齢者の生活を支える重要な社会資源である介護保険制度を理解することで、当事者および家族が支援を必要とする時の相談援助および支援計画の作成に役立てることができる。	
<b>【実務家教員担当科目】</b> 高齢者施設での実務経験、介護福祉士、介護支援専門員資格を取得している教員が担当					

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	黒沢 麻美	高齢者の生活ニーズと支援(フォーマルサポート、インフォーマルサポート)	シラバスを読んで授業内容を理解する。	258
2	黒沢 麻美	介護保険法の概要(背景と目的、保険制度の内容、要介護認定のプロセスなど)	予習: 介護保険法について調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
3	黒沢 麻美	介護保険法における各種機関の役割(国、自治体、事業者、国保連など)	予習: 介護保険法について調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
4	黒沢 麻美	介護保険サービスの内容①(居宅サービス)	予習: 介護保険サービスについて調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
5	黒沢 麻美	介護保険サービスの内容②(地域密着型サービス、施設サービス)	予習: 介護保険サービスについて調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
6	黒沢 麻美	地域包括支援センターの役割と活動	予習: 地域包括支援センターについて調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
7	黒沢 麻美	専門職の役割と実際①(介護支援専門員、訪問介護職員、介護職員、生活相談員など)	予習: 高齢者に関する専門職について調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
8	黒沢 麻美	専門職の役割と実際②(福祉用具専門相談員、介護相談員、認定審査会委員など)	予習: 高齢者に関する専門職について調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
9	黒沢 麻美	職種間の連携ネットワーク	予習: 職種間連携について調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
10	黒沢 麻美	認知症ケアの理解①(認知症の理解、認知症高齢者の行動の理解)	予習: 認知症について調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
11	黒沢 麻美	認知症ケアの理解②(認知症ケアの理念、認知症ケアの実際)	予習: 認知症について調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
12	黒沢 麻美	認知症ケアの理解③(認知症ケアの実際)	予習: 認知症について調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
13	黒沢 麻美	認知症ケアの理解④(認知症ケアの実際、若年性認知症など)	予習: 認知症について調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
14	黒沢 麻美	高齢者のQOLを高める環境要素(住環境の改善、福祉機器の活用)	予習: 適切な住環境について調べる。 復習: 授業で学習した例示等を含めて考察する。	258
教科書	指定なし			
参考書	最新社会福祉士養成講座2 高齢者福祉 最新介護福祉士養成講座13 認知症の理解			
備考	特になし。			

科目名	子ども家庭支援論			担当者	鑑 さやか
科目ナンバリング	1060432093				常勤
D P	1,2			教員研究室	1307
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

子どもを取り巻く福祉施策は、昭和20年代の要保護児童や非行児童の保護活動を原点とし、社会のニーズに即応しつつその幅を広げてきている。  
この講義では、「子ども家庭福祉論」の内容を基盤とし、最新の動向および事例を中心に紹介しながら「子どもの最善の利益」を最優先した子ども家庭福祉のあり方について講義を行う。

**【学習の到達目標】**

子ども家庭福祉の発展に資する人材の養成を目標とする。具体的には、子どもと、子どもをとりまく環境を総合的に把握し行動できる感性と行動力、思考力の習得を目的とする。

**【成績評価方法】**

定期試験評価 70% 授業内課題評価 30%

**【課題等のフィードバック方法】**

授業内で実施する小テストを返却し、解説を行う

**【履修上の注意・予習・復習について】**

授業開始後20分までは教室への入室を認めます。  
欠席が前・後期各5回以上の者は原則として定期試験の受験資格はないので注意すること。  
詳しくは初回授業時に提示します。  
授業中のスマートフォンの使用や私語、飲食は禁止します。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

本科目では、子どもと子どもを取り巻く環境を総合的に理解し、子ども家庭福祉の現場で活用できる知識を学ぶことができる。

**【実務家教員担当科目】**

該当なし

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	鑑 さやか	オリエンテーション	予習・復習の内容および方法についてはオリエンテーション時に指示する	258
2	鑑 さやか	子ども家庭福祉領域で活躍する専門職	予習：教科書を読み、専門用語等について理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
3	鑑 さやか	少子化社会の子育て支援サービス①	予習：教科書を読み、専門用語等について理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
4	鑑 さやか	少子化社会の子育て支援サービス②	予習：教科書を読み、専門用語等について理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
5	鑑 さやか	ひとり親家庭に対する福祉サービス	予習：教科書を読み、専門用語等について理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
6	鑑 さやか	障害児に対する福祉サービス	予習：教科書を読み、専門用語等について理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
7	鑑 さやか	思春期の子どもに対する福祉サービス	予習：教科書・文献等を用いて思春期の子どもの現状や課題を調べ理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
8	鑑 さやか	非行少年に対する福祉サービス	予習：教科書を読み、専門用語等について理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
9	鑑 さやか	子どもの貧困に対する福祉サービス	予習：教科書を読み、専門用語等について理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
10	鑑 さやか	要保護児童に対する福祉サービス①	予習：教科書を読み、専門用語等について理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
11	鑑 さやか	要保護児童に対する福祉サービス②	予習：教科書を読み、専門用語等について理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
12	鑑 さやか	要保護児童に対する福祉サービス③	予習：教科書を読み、専門用語等について理解しておく 復習：次回授業の最初に授業内容に係る小テストを実施するので、復習をしておくこと	258
13	鑑 さやか	子ども虐待による死亡事例から学ぶ	予習：教科書・文献等を用いて子どもの虐待の現状や課題についてまとめておく 復習：授業内容に係る小レポートを課す	258
14	鑑 さやか	子ども家庭福祉領域の援助の実際①～事例検討～	予習：前回まで使用した教科書・資料を再確認し理解しておく 復習：授業内容に係る小レポートを課す	258
教科書	最新社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉 中央法規出版			
参考書	社会福祉小六法 日本子ども資料年鑑 KTC 出版 その他 必要な文献は講義の都度提示予定			
備考	特になし			

科目名	医療福祉論			担当者	○加藤 由美・広瀬 和之 熊谷 智美
科目ナンバリング	1060432095				常勤・非常勤
D P	1,4			教員研究室	1301
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 国試指定科目「保健医療と福祉」の内容理解を、医療ソーシャルワークの側面(クライアントの理解/専門職の役割/多職種連携/面接/意思決定支援)から強化・深化させる。  <b>【学習の到達目標】</b> ・クライアントを「生活者」として捉えることが出来る。 ・「保健医療と福祉」で学んだ保健医療専門職の役割を理解している。 ・保健医療における多職種連携の諸形態を理解している。 ・ソーシャルワークの面接に係る知識を習得している。 ・患者の意思決定支援とインフォームドコンセントを関連付けて理解できる。  <b>【成績評価方法】</b> 下記①②③の合計で評価する(詳細はオリエンテーションで説明) ①指示された事前学習の達成度を問う「予習課題」(複数回実施): 10点 ②各授業の理解度を問う「確認テスト」(複数回実施): 10点 ③領域毎の小テスト(3回実施): 80点				<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 課題等のフィードバックは GoogleClassroom で個別に行う。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 詳細はオリエンテーションにて説明する。  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> ・国試指定科目「保健医療と福祉」の理解が強化・深化する。 ・当該科目の学修が国試対策につながる。  <b>【実務家教員担当科目】</b> 病院の医療ソーシャルワーカーとして17年7ヶ月勤務した教員が、その実務経験を活かして医療ソーシャルワークの側面から国試指定科目「保健医療と福祉」の実践的理解を促す講義を行う。	
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	加藤 由美	科目オリエンテーション	予習: 科目シラバスを熟読する。 復習: 科目の到達目標の達成に向けて学習計画を立てる。		258
2	加藤 由美	クライアント理解を援ける複眼的視点	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。		258
3	加藤 由美	クライアント理解を援けるマッピング技法	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。		258
4	加藤 由美	領域【クライアント理解】の振り返りとまとめ: 小テスト(1)	予習: 領域全体の俯瞰的理解を図る。 復習: 小テストの振り返りを行う。		258
5	加藤 由美	保健医療の専門職(1)	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。		258
6	加藤 由美	保健医療の専門職(2)	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。		258
7	加藤 由美	医療ソーシャルワーク業務の範囲と内容	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。		258
8	広瀬 和之 加藤 由美	医療ソーシャルワークの実際	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。		258
9	加藤 由美	領域【専門職とチーム医療】の振り返りとまとめ: 小テスト(2)	予習: 領域全体の俯瞰的理解を図る。 復習: 小テストの振り返りを行う。		258
10	加藤 由美	医療におけるソーシャルワーク面接(1)	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。		258
11	加藤 由美	医療におけるソーシャルワーク面接(2)	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。		258
12	加藤 由美	患者の意思決定支援とインフォームドコンセント	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。		258
13	熊谷 智美 加藤 由美	クライアントとのコミュニケーション	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。		258
14	加藤 由美	領域【面接と自己決定支援】の振り返りとまとめ: 小テスト(3)	予習: 領域全体の俯瞰的理解を図る。 復習: 小テストの振り返りを行う。		258
教科書	地域包括ケア時代の医療ソーシャルワーク実践テキスト: 日本医療ソーシャルワーク学会(編)、日総研出版				
参考書	なし				
備考	国試指定科目「保健医療と福祉」等の理解を、医療ソーシャルワークの側面から強化・深化させる科目である。国試受験者の履修を強く勧める。				

科目名	スクールソーシャルワーク論			担当者	大竹 伸治
科目ナンバリング	1060432096				常勤
D P	2,4			教員研究室	1303
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 児童・生徒の問題行動の背景には、こころの問題、家庭生活、地域、学校などといった要素が複雑に影響している。スクールソーシャルワーカーは、学校の枠を超えて、関係機関とのネットワークを利用し、さまざまな環境に働き掛け、児童・生徒並びに家族の自立を支援していく。これら具体的な実践方法を紹介しながら、スクールソーシャルワークについて理解を深める。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 小テストの解説を次の講義に行う。・講義終了後、質問を受け付け回答を行う。		
<b>【学習の到達目標】</b> ・2008年に「スクールソーシャルワーク活用事業」が導入された背景について理解をする。 ・児童・生徒が抱えている課題を家庭・学校・地域といった全体性から理解を深め、スクールソーシャルワーカーの果たす役割について理解を深める。 ・スクールソーシャルワーカーの実践モデルを理解するとともに、実際にどのように活用されているのかを事例を通し理解する。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 講義中の私語は禁止。他の学生の迷惑になると判断した場合は、退室を指示することがある。		
<b>【成績評価方法】</b> 受講態度 20%、レポート・小テスト 20%、定期試験 60% の総合評価として 60 点以上を合格とする。			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> ・スクールソーシャルワーカーの具体的な実践活動を知ることができる。 ・ソーシャル・コンサルテーションの視点を知ることができる。 ・スクールソーシャルワーカーの採用状況や活動について情報を得ることができる。		
			<b>【実務家教員担当科目】</b> スクールソーシャルワーカーである教員が、スクールソーシャルワークの基礎的知識や技術について講義する。		

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	大竹 伸治	スクールソーシャルワークとは	テキストの「Ⅱ スクールソーシャルとは」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
2	大竹 伸治	スクールソーシャルワークの歴史	テキストの「Ⅲ スクールソーシャルの歴史と動向」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
3	大竹 伸治	スクールソーシャルワークの基礎的理論	テキストの「Ⅵ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
4	大竹 伸治	学校教育現場の現状 1	テキストの「Ⅳ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
5	大竹 伸治	学校教育現場の現状 2	テキストの「Ⅳ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
6	大竹 伸治	児童・思春期の精神保健福祉的諸問題 1	テキストの「Ⅷ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
7	大竹 伸治	児童・思春期の精神保健福祉的諸問題 2	テキストの「Ⅷ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
8	大竹 伸治	スクールソーシャルワークの実際 1	テキストの「Ⅷ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
9	大竹 伸治	スクールソーシャルワークの実際 2	テキストの「Ⅷ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
10	大竹 伸治	スクールソーシャルワークの実際 3	テキストの「Ⅷ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
11	大竹 伸治	スクールソーシャルワークの実際 4	テキストの「Ⅷ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
12	大竹 伸治	スクールソーシャルワークの実際 5	テキストの「Ⅷ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
13	大竹 伸治	スクールソーシャルワークの実際 6	テキストの「Ⅷ スクールソーシャルの基礎理論」を読んでくること。また関連科目のテキストや資料を参照し、講義内容の理解を深めること。	258
14	大竹 伸治	これまでの講義内容を振り返り、総合的な理解を図る	テキストに示されているゴッチック体を再度読み返すこと。また配布された資料、ノートに目を通すこと。	258
教科書	山野則子・野田正人・半場利美佳編(2016)『よくわかるスクールソーシャルワーク』第2版 ミネルヴァ書房			
参考書	講義の中で必要に応じて紹介する。			
備考	特になし			

科目名	医療福祉マネジメント論			担当者	○加藤 由美・二瓶 洋子
科目ナンバリング	1060432097				常勤・非常勤
D P	3,4			教員研究室	1301
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 国試指定科目「保健医療と福祉」の内容理解を、医療マネジメントの側面(国民医療費/医療保険と診療報酬/医療提供体制/地域連携クリティカルパス)から強化・深化させる。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 課題等のフィードバックは GoogleClassroom で個別的に行う。		
<b>【学習の到達目標】</b> ・国民医療費の動向と医療政策を関連づけて捉えることが出来る。 ・医療保険と診療報酬を関連づけて理解している。 ・医療機能の分化・分担と連携に基づく医療提供体制を理解している。 ・クリティカルパスや地域連携パスを医療マネジメントの視点で捉えることが出来る。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 詳細はオリエンテーションにて説明する。		
<b>【成績評価方法】</b> 下記①②③の合計で評価する(詳細はオリエンテーションで説明) ①指示された事前学習の達成度を問う「予習課題」(複数回実施): 10点 ②各授業の理解度を問う「確認テスト」(複数回実施): 10点 ③領域毎の小テスト(3回実施): 80点			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> ・国試指定科目「保健医療と福祉」の理解が強化・深化する。 ・当該科目の学修が国試対策となる。		
<b>【実務家教員担当科目】</b> 病院の医療ソーシャルワーカーとして17年7ヶ月勤務した教員が、その実務経験を活かして医療ソーシャルワークの側面から国試指定科目「保健医療と福祉」の実践的理解を促す講義を行う。					
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	加藤 由美	オリエンテーション	予習: 科目シラバスを熟読する。 復習: 科目の概要と進め方を理解し、学習計画を立てる。	258	
2	加藤 由美	国民医療費の動向	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
3	加藤 由美	医療保険と診療報酬	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
4	加藤 由美	公費医療制度等	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
5	加藤 由美	領域【医療提供の経済的仕組み】の振り返りとまとめ: 小テスト(1)	予習: 領域の俯瞰的理解を図る。 復習: 小テストの振り返りを通じて領域内容の理解を深める。	258	
6	加藤 由美	医療法と医療機能	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
7	加藤 由美	医療施設と医療機能	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
8	加藤 由美	地域医療計画/地域医療構想	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
9	加藤 由美	領域【医療提供体制】の振り返りとまとめ: 小テスト(2)	予習: 領域の俯瞰的理解を図る。 復習: 小テストの振り返りを通じて領域内容の理解を深める。	258	
10	加藤 由美	医療の背景と特性	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
11	加藤 由美	医療の質と評価	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
12	加藤 由美	クリティカルパス/地域連携パス	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
13	二瓶 洋子 加藤 由美	医療安全管理の理論と実際	予習: 予習課題に取り組み、期限内に提出する。 復習: 確認テスト課題等に取り組み、期限内に提出する。	258	
14	加藤 由美	領域【医療の質とマネジメント】の振り返りとまとめ: 小テスト(3)	予習: 領域の俯瞰的理解を図る。 復習: 小テストの振り返りを通じて領域内容の理解を深める。	258	
教科書	病院早わかり読本 第6版: 飯田修平(編著) 医学書院				
参考書	なし				
備考	国試指定科目「保健医療と福祉」等の理解を、医療マネジメントの側面から強化・深化させる科目である。国試受験者の履修を強く勧める。				

科目名	医療政策論			担当者	吉田 裕人
科目ナンバリング	10604320100				常勤
D P	2,3			教員研究室	1201
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

本講義では、日本の少子高齢化の現状を把握することからはじめ、医療に関連する経済学の基本的な理論を展開する。具体的にはミクロ経済学の視点から他のサービスとは異なる医療サービスの特徴について学習し、これを通じて我が国の医療政策について理解を深め、その現状と課題を整理する。

**【学習の到達目標】**

医療を考えるにあたっての基本的な経済学の知識を習得し、日本の医療保険制度の機能と役割を理解する。

**【成績評価方法】**

出席状況 20% 定期試験 70% その他 10%

**【課題等のフィードバック方法】**

講義終了後、質問を受け付け回答する。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

医療なしでは人の生活は成立しない。暮らしに密着した医療に関心を持つ。そういった姿勢を本講義を通じて身につけてもらい、興味・関心が広がっていくことを期待する。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

一部ではあるが、基本的なミクロ経済学を学習できるとともにそれを通じて、医療という身近な存在の役割などを理解することができる。また、少子高齢化が進行する日本における高齢者医療の問題、医療制度改革の課題などを客観的に見る目を養うことができる。

**【実務家教員担当科目】**

該当なし。

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	吉田 裕人	少子高齢化社会	日本の高齢化の現状など	258
2	吉田 裕人	市場について	消費者余剰・生産者余剰など	258
3	吉田 裕人	市場の失敗①	外部性の存在による社会的厚生への損失	258
4	吉田 裕人	市場の失敗②	情報の非対称性による社会的厚生への損失	258
5	吉田 裕人	医療サービスの経済学的特徴	社会保険の必要性について	258
6	吉田 裕人	医療サービスの需要	医療サービスの価格の需要弾力性など	258
7	吉田 裕人	医療問題の構造①	医療におけるモラルハザードなど	258
8	吉田 裕人	医療問題の構造②	応能負担・応益負担など	258
9	吉田 裕人	医療問題の構造③	保険者・政府から医療機関へのお金の流れなど	258
10	吉田 裕人	日本の医療制度①	日本の社会保険の種類など	258
11	吉田 裕人	日本の医療制度②	診療報酬制度について①	258
12	吉田 裕人	日本の医療制度③	診療報酬制度について②	258
13	吉田 裕人	日本の医療制度④	日本の医療制度の課題など	258
14	吉田 裕人	まとめ	13回までの内容の総まとめ	258
教科書	使用しない。			
参考書	国民衛生の動向(最新版) 編集・発行: 一般財団法人 厚生労働統計協会			
備考	定期試験の再試験は実施しない。			

科目名	生涯発達心理学			担当者	山川 樹
科目ナンバリング	10604120101				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1204
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

乳幼児期から成人期にかけての心理的な発達を体系的に理解することを目指す。特に幼児、児童及び生徒の心身の発達過程、幼児、児童及び生徒の学習の過程について理解する。具体的には幼児、児童期における記憶及び認知の発達、社会性の発達、自己認識と他者認識の発達、学校教育との関連について学ぶ。また児童期における心理特性や、青年期における進路相談にかかわる問題などを取り上げ、支援を要する児童や生徒への相談及びカウンセリングの指導について学習する。

**【学習の到達目標】**

- ・胎児期から成人期後期までの発達心理学に関する基礎的な知識を得ること。
- ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援の方法、教育相談やカウンセリングの技法について理解すること。

**【成績評価方法】**

講義後に毎回課すミニ課題の内容(評価の40%)、期末試験(評価の60%)により評価する。

**【課題等のフィードバック方法】**

講義に関する質問や講義中に課した課題の答えは、Google フォームで受け付ける。そして回収翌週以降の講義時間内や Google クラスルームを通じて適宜フィードバックする。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

講義中は受講者に発言を求めることもあるので、積極的な講義への参加を求める。また板書を単に書き写すだけではなく、主体的なノートテイキングを期待する。  
毎回のミニ課題の提出をもって出席と見なす。5回欠席した場合、履修放棄となる。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

- ・人間の心理発達についての学習を通して、自身の過去・現在・未来に対する理解が深まる。
- ・各発達段階に基づいた課題や問題、対処方法について学習することができる。

**【実務家教員担当科目】**

該当しない

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	山川 樹	オリエンテーション(到達目標, 学習内容, 学習評価等)	シラバスを熟読し、発達とは何か考えてみる。	258
2	山川 樹	発達心理学とは	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
3	山川 樹	発達の原理・心身の発達	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
4	山川 樹	胎児期・乳児期の発達	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
5	山川 樹	幼児・児童の発達と学習	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
6	山川 樹	幼児・児童の知性・認知の発達	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
7	山川 樹	幼児・児童及び生徒の社会性の発達	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
8	山川 樹	発達障害の理解	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
9	山川 樹	発達障害への教育支援	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
10	山川 樹	教育相談及びカウンセリング	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
11	山川 樹	生徒・青年期の発達	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
12	山川 樹	生徒・青年期の相談と指導	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
13	山川 樹	成人期・老年期の発達	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
14	山川 樹	生涯発達心理学の展望と課題	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
教科書	適宜資料を配付			
参考書	講義中に紹介する			
備考	特になし			

科目名	人格心理学			担当者	山川 樹
科目ナンバリング	10602220104				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1204
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

心理学は私たちのこころの働きの一般法則を見つけ出すことを目的として発展してきた。しかし、こころの働きには種々の一般的法則が見出される一方で、個人によって異なる部分があることも知られている。人格心理学は、このようなこころの個人差(=パーソナリティ)を研究対象とする。この講義では、これまでの研究の歴史・理論・手法について、自己・人間関係・発達・文化といった様々な側面から考える。

**【学習の到達目標】**

人のこころの働きについて学ぶことを通じて、援助者あるいは職業人として、社会を適応的に生きていくための知識や考え方を身につけることを目標とする。

**【成績評価方法】**

授業後に毎回提出する意見や質問の内容(評価の40%)、期末レポート(評価の60%)により評価する。

**【課題等のフィードバック方法】**

講義に関する質問や講義中に課した課題の答えは、Googleフォームで受け付け、回収後翌週以降の授業内及びGoogleクラスルームを通じて適宜フィードバックする。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

Googleクラスルームを通じて出席管理を行う。  
5回以上欠席した場合には履修放棄となるので注意すること。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

日常にあふれる心理学に関するエピソードを理解することで、自身の行動を制御する可能性や人間関係について気をつけるべき点を知ることができる。

**【実務家教員担当科目】**

該当しない

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	山川 樹	オリエンテーション：人格心理学とは	人格心理学を受講し、学びを深める各人なりの意義について考えること	258
2	山川 樹	パーソナリティの諸理論	性格や気質などの類似概念と人格との異同について述べられるようにすること	258
3	山川 樹	類型論と特性論1	パーソナリティの類型論について説明できるようになること	258
4	山川 樹	類型論と特性論2	パーソナリティの特性論について説明できるようになること	258
5	山川 樹	Big5 とその他の特性	Big5を構成する特性の他、心理学研究で個人差として扱われる機会の多い代表的特性について説明できるようになること	258
6	山川 樹	パーソナリティの測定法	パーソナリティの測定法について説明できるようになること	258
7	山川 樹	対人関係とパーソナリティ	人間関係の形成、維持においてパーソナリティが果たす役割について説明できるようになること	258
8	山川 樹	パーソナリティの形成と変容	パーソナリティの形成過程や発達に伴う変化について、様々な学説があることを説明できるようになること	258
9	山川 樹	文化とパーソナリティ	文化と言う枠組みからとらえた際の、パーソナリティの違いについて説明できるようになること	258
10	山川 樹	抑うつとパーソナリティ1	抑うつのなりやすいパーソナリティと抑うつが生じるメカニズムについて説明できるようになること	258
11	山川 樹	抑うつとパーソナリティ2	現代的な特徴を有する抑うつについて説明できるようになること	258
12	山川 樹	知能の個人差	知能やその測定方法について説明できるようになること	258
13	山川 樹	パーソナリティ障害1	パーソナリティ障害について説明できるようになること	258
14	山川 樹	パーソナリティ障害2	パーソナリティ障害について説明できるようになること	258
教科書	指定なし			
参考書	榎本博明・安藤寿康・堀毛一也(著)(2009). パーソナリティ心理学 人間科学、自然科学、社会科学のクロスロード 有斐閣アルマ 鈴木公哲(編)(2012). パーソナリティ心理学概論 性格理解への扉 ナカニシヤ出版			
備考	特になし			

科目名	健康心理学			担当者	山川 樹
科目ナンバリング	10602220105				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1204
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ダイアログ <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

「病は気から」という言葉があるが、心の問題は身体的な健康にどのような影響を与えるだろうか。この科目では、これまでの心理学的な研究成果に基づきながら心と身体の相互の影響関係について考えていく。

**【学習の到達目標】**

現代社会における多様な健康観を理解する。  
人間の身体的健康と心理的要因との関連性を理解する。  
健康リスク解消と疾病の予防における心理学の役割を理解する。

**【成績評価方法】**

講義後に毎回課すミニ課題の内容(評価の40%)、期末レポート(評価の60%)により評価する。

**【課題等のフィードバック方法】**

講義に関する質問や講義中に課した課題の答えは、Google フォームで受け付ける。そして回収翌週以降の講義時間内や Google クラウドを通じて適宜フィードバックする。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

講義中は受講者に発言を求めることもあるので、積極的な講義への参加を求める。また板書を単に書き写すだけではなく、主体的なノートテイキングを期待する。  
毎回のミニ課題の提出をもって出席と見なす。5回欠席した場合、履修放棄となる。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

健康リスクは日常生活のあらゆる場面に潜んでいる。本講義を受講することによって、心理学的な健康リスクに関する理解が深まるのはもちろん、様々な健康リスクの解消と疾病の予防における心理学的アプローチについて学ぶことができる。

**【実務家教員担当科目】**

該当なし

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	山川 樹	科目ガイダンス(健康心理学とは)	予習: 本科目のシラバスを事前に読了すること。	258
2	山川 樹	健康リスクとエビデンス	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
3	山川 樹	健康モデルとヘルスプロモーション	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
4	山川 樹	ストレスの基礎理論	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
5	山川 樹	ストレッサーとコーピング	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
6	山川 樹	健康と食生活	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
7	山川 樹	運動と動機付け	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
8	山川 樹	睡眠と健康に関わるパーソナリティ	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
9	山川 樹	健康リスクとしての嗜癖	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
10	山川 樹	健康の性差	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
11	山川 樹	高齢者の健康	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
12	山川 樹	病者行動と病者へのアプローチ	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
13	山川 樹	健康とコミュニケーション	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
14	山川 樹	精神医学的障害	予習: 事前に資料を一読する。 復習: 資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
教科書	指定なし			
参考書	講義時間中に適宜紹介する			
備考	特になし			

科目名	心理学研究法			担当者	山川 樹
科目ナンバリング	10604220106				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1204
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

この講義では心理学で用いられることの多い研究方法および、データ解析方法について学ぶ。本講義で取り上げる研究法は調査法、実験法、観察法そして面接法である。そして、データ解析では、記述統計学から始め、初歩の推計統計学について学ぶ。

本講義で学んだことは、3年次の「心理学基礎実験Ⅰ」、「心理学基礎実験Ⅱ」および、4年次の「卒業研究」(心理学教員が担当するクラス)で活用できる。

**【学習の到達目標】**

1. 心理学における代表的な研究法の概要を理解すること。
2. 統計検定の基本的な考え方と用語を理解すること。
3. 心理学研究において倫理的な観点から配慮すべき事項を理解すること。

**【成績評価方法】**

講義後に毎回課すミニ課題の内容(評価の20%)、小テスト(評価の30%)、期末試験(評価の50%)により評価する。

**【課題等のフィードバック方法】**

講義に関する質問や講義中に課した課題の答えは、リアクションペーパーで受け付け、回収後翌週以降の授業内で適宜フィードバックする。

**【履上の注意・予習・復習について】**

資料や板書による授業の他、グループ討議も行う場合がある。授業の性質上、数学的な説明は避けられないが、極力噛み砕いて説明することを心掛けている。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

心理学が「こころ」という目に見えない対象について研究するために、どのような工夫を凝らしてきたか具体的に知ることが出来る。これにより、他の心理学関係の授業で学んだ研究内容に関する理解が深まるだろう。

また統計学について正しく学ぶことは、誇大広告や詐欺を見破る手掛かりとなる。さらに、自分の主張にデータという裏付けを加えることでより説得力をもたせる助けにもなるだろう。

**【実務家教員担当科目】**

該当なし

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	山川 樹	オリエンテーション：統計学とは	【予習】本講義のシラバスをよく読んでくること。	258
2	山川 樹	心理学の研究法1—調査法—	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
3	山川 樹	心理学の研究法2—実験法—	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
4	山川 樹	心理学の研究法3—面接法・観察法—	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
5	山川 樹	尺度水準と様々な図表	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
6	山川 樹	代表値と散布度	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
7	山川 樹	推計統計学入門	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
8	山川 樹	平均値の比較1—t検定—	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
9	山川 樹	平均値の比較2—1要因分散分析—	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
10	山川 樹	平均値の比較3—2要因分散分析—	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
11	山川 樹	変数同士の関連性1—相関と回帰—	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
12	山川 樹	変数同士の関連性2—連関とカイ2乗検定—	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
13	山川 樹	レポートの書き方	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
14	山川 樹	心理学論文の読み方	【復習】教科書、ノートや配布資料をもとに、授業内容について確認し、意味のわからない専門用語などがあれば、教科書や心理学辞典(図書館)で調べる。	258
教科書	指定なし			
参考書	服部環・山際勇一郎(2019). 読んでわかる心理統計法 サイエンス社			
備考	授業の進度により内容が多少変更になる場合がある。			

科目名	障害者心理学			担当者	野崎 瑞樹
科目ナンバリング	10604220109				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3309
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

本講義では障害者の心理的な側面について概説する。既存の障害の種類に基づいて障害の多様さを理解する。同時に、リハビリテーションに必要とされる、“障害の受容”、“障害者と適応”、“QOL”など、中途障害者の心理的な問題、及び、障害の心理的評価、心理学的なリハビリテーションなどについて取り上げる。また、障害児の心理についても、障害を生起させる諸要因、障害児の発達過程、知的障害と認知障害（感覚・知覚、記憶・思考、コミュニケーション、数概念など）などを中心に取り上げる予定である。加えて、学習障害や注意欠陥・多動性障害など、近年注目されるようになった諸障害の心理的特徴についても取り上げる予定である。

**【学習の到達目標】**

中途障害者の心理特性についての基礎的な理解を深めること。  
知的障害児、発達障害児の定義と各々の障害の異同について理解を深めること。

**【成績評価方法】**

定期試験 100%（ただし、定期試験で 50 点台であった者については、出席とレポートの提出状況を鑑みて最大で 10 点の平常点が加算されることがある）。

**【課題等のフィードバック方法】**

対面、メール等で個別に質問を受け付け、対応する。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

前後の時限での講義内容を効率よく結びつけることのできるよう、板書内容についての復習をすること。また、視聴覚教材使用の際には復習を兼ねたレポートを課す。予習内容は、毎回講義終了時に伝える。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

知的障害や発達障害児の支援方法について考えるきっかけとなるような体系的な知識を得ることができる。

**【実務家教員担当科目】**

該当しない

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	野崎 瑞樹	オリエンテーション	講義全体の流れの確認をすること。	258
2	野崎 瑞樹	障害類型別にみた心理的特徴と障害モデル	複数の障害モデルについてまとめること。	258
3	野崎 瑞樹	リハビリテーションにおける心理学の意義	リハビリテーションにおける心理学の意義についてまとめること。	258
4	野崎 瑞樹	障害心理と基礎的な理論	障害心理にかかる基礎理論についてまとめること。	258
5	野崎 瑞樹	障害の受容について	障害の受容について、諸理論をまとめること	258
6	野崎 瑞樹	障害の適応	障害の適応について、諸理論をまとめること	258
7	野崎 瑞樹	障害の心理学的評価	心理学的評価について、諸理論をまとめること。	258
8	野崎 瑞樹	障害とカウンセリング	障害に関するカウンセリングのあり方についてまとめること。	258
9	野崎 瑞樹	心理学的なリハビリテーションと社会的態度	心理学的なリハビリテーションについてまとめること。	258
10	野崎 瑞樹	障害児の心理 1 知的障害	知的障害の心理特性についてまとめること。	258
11	野崎 瑞樹	障害児の心理 2 ダウン症について	ダウン症児の心理特性についてまとめること。	258
12	野崎 瑞樹	障害児の心理 3 自閉症スペクトラムについて	自閉症スペクトラム児の心理特性についてまとめること。	258
13	野崎 瑞樹	障害児の心理 4 学習障害について	学習障害児の心理特性についてまとめること。	258
14	野崎 瑞樹	障害児の心理 5 ADHD について	ADHD 児の心理特性についてまとめること。	258
教科書	特になし			
参考書	講義の中で随時紹介する予定です			
備考	なし			

科目名	社会心理学			担当者	山川 樹
科目ナンバリング	10604220110				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1204
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】		【課題等のフィードバック方法】			
<p>近年、社会（social）という言葉への注目が高まっており、もはや我々の生活は他者や社会との関わりを排して語ることはできない。社会心理学は「個人は他者からどのように影響され、また、他者の存在をどのように解釈し理解するのか」という問題を検討する学問である。本科目では、そうした探求において発展してきた社会心理学領域における諸理論について学ぶ。</p>		<p>講義に関する質問や講義中に課した課題の答えは、Google フォームで受け付ける。そして回収翌週以降の講義時間内や Google クラウドを通じて適宜フィードバックする。</p>			
【学習の到達目標】		【履修上の注意・予習・復習について】			
<p>社会心理学領域における知見を受動的に学習するだけでなく、各履修生が自身の生活状況を振り返って、本科目での学習成果を還元できるような能動的な学びを得ることを目標とする。</p>		<p>講義中は受講者に発言を求めることもあるので、積極的な講義への参加を求める。また板書を単に書き写すだけではなく、主体的なノートテイキングを期待する。 毎回のミニ課題の提出をもって出席と見なす。5回欠席した場合、履修放棄となる。</p>			
【成績評価方法】		【受講して得られる効果・メリット、その他】			
<p>講義後に毎回課すミニ課題の内容（評価の40%）、期末レポート（評価の60%）により評価する。</p>		<p>社会心理学は実際に起きた事件や日常的な出来事の背景に存在する心理過程を分析する中で発展してきた。身近に起こる出来事を心理学的に分析する視点を身につけることは、社会心理学を受講する大きなメリットである。</p>			
		【実務家教員担当科目】			
		該当しない			

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	山川 樹	社会心理学とは	予習：本科目のシラバスを事前に読了すること。	258
2	山川 樹	服従傾向の顕在化	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
3	山川 樹	傍観者効果	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
4	山川 樹	認知的不協和	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
5	山川 樹	説得の方法と原理	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
6	山川 樹	ステレオタイプと認知バイアス	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
7	山川 樹	パーソナリティと自己呈示	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
8	山川 樹	後悔と反実思考	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
9	山川 樹	楽観性とポジティブ・イリュージョン	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
10	山川 樹	自己開示の機能	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
11	山川 樹	文化心理学的アプローチ	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
12	山川 樹	マスコミの影響	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
13	山川 樹	インターネット媒体を通じたコミュニケーション	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
14	山川 樹	コロナ禍を社会心理学から振り返る	予習：事前に資料を一読する。 復習：資料と自身のノートを元に講義内容を復習する。	258
教科書	指定なし			
参考書	講義時間中に適宜紹介する			
備考	特になし			

科目名	福祉心理学			担当者	野崎 瑞樹
科目ナンバリング	10604320117				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3309
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

援助実践において対人理解が求められる福祉領域において、心理学はどのように貢献することができるのか。社会における様々な場面・人々に関する知識を習得し、援助・支援としてだけでなく、生活する上でその知識を活用する方法を学ぶ。  
本講義では、特に高齢者に関連するトピックス（老いや病気の受容、認知症、孤立、ハンセン病等）の知識について習得する。

**【学習の到達目標】**

福祉の専門職を目指すならば、さまざまな領域に関する援助・支援者としての知識や技術は必要であるが、そこには当事者を理解し寄り添うことが含まれている。本講義の目標はまず当事者の視点について理解を深める。また、それを対人援助場面において活用する方法を考察し、実習教育等につなげることを目指す。

**【成績評価方法】**

定期試験 80%, 出席および受講態度 20%

**【課題等のフィードバック方法】**

次の授業で解説する。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

講義では資料、DVD等を使用するため、各自整理すること。また各トピックスについて自ら考察することを求めるため、受動的な受講では身につかない。各回における課題を理解した上で受講すること。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

心理学的見地から対人理解を深めることによって、社会福祉等の演習・実習系科目の学習に活用することができる。

**【実務家教員担当科目】**

貧困、高齢、被災地等における援助経験をもつ教員が、現場の実態を含めて講義する。

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	野崎 瑞樹	オリエンテーション	シラバスを読んで授業内容を理解する。	258
2	野崎 瑞樹	生涯発達における高齢者	予習：高齢者について多様な視点からイメージする。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
3	野崎 瑞樹	高齢者の知覚・認知機能	予習：心身に対する加齢の影響について考える。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
4	野崎 瑞樹	高齢者の人格・適応	予習：人格に対する加齢の影響について考える。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
5	野崎 瑞樹	高齢者の病気と心理	予習：高齢者の心身の状態について考える。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
6	野崎 瑞樹	高齢者の死生観と人生統合	予習：死ぬこと、生きることについて考える。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
7	野崎 瑞樹	認知症の理解(種類、原因、治療、障害特徴)	予習：認知症について多様な視点からイメージする。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
8	野崎 瑞樹	認知症の理解(支援)	予習：認知症について多様な視点からイメージする。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
9	野崎 瑞樹	認知症の理解(家族の心理と社会的支援)	予習：認知症の人の周囲の人々についてイメージする。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
10	野崎 瑞樹	高齢者の孤立(原因、心理的状況)	予習：高齢者の孤立について本人の視点から考える。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
11	野崎 瑞樹	高齢者の孤立(家族や社会の心理)	予習：高齢者の孤立について周囲の視点から考える。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
12	野崎 瑞樹	ハンセン病問題の概要	予習：ハンセン病とそれに関連する問題について考える。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
13	野崎 瑞樹	ハンセン病の元患者等の心理	予習：ハンセン病とそれに関連する問題について考える。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
14	野崎 瑞樹	ハンセン病に関する社会の心理	予習：ハンセン病とそれに関連する問題について考える。 復習：授業で学習した内容を踏まえて考察する。	258
教科書	なし			
参考書	授業の際に随時紹介する。			
備考	特になし。			

科目名	健康運動処方論			担当者	犬塚 剛
科目ナンバリング	10604220120				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1304
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

習慣的な運動には、生活習慣病や近年、注目されるメタボリックシンドロームの予防効果が確認されており、我々の健康の保持増進に大変重要である。平成18年には、健康づくりのための運動基準や運動指針が示され、安全で有効な運動を広く国民に普及することを目的としている。これらの運動指針では、現在の身体活動量や体力評価と、それを踏まえた目標設定の方法、個人の身体特性や状況に応じた運動内容の選択、達成するための方法等が示されている。本講義では、運動処方の理論や方法について理解し、健康づくりのための運動プログラムの作成と実践を学ぶ。

**【学習の到達目標】**

健康づくりのための運動処方の基礎的事項の理解。  
健康づくりのための運動処方プログラムの作成。

**【成績評価方法】**

確認小テスト60%・課題レポート30%・実践10%

**【課題等のフィードバック方法】**

運動時の身体への強度変化について、座学による学習と実際の運動を通じて心拍数の活用方法を学び実践方法を身につける。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

講義中の板書に関しては、ノートを取り要点をまとめておくこと。※講義内容に則った確認小テストを複数回実施する。実践編では、体育館にて速度を変えた歩行等を行うので運動着、体育館シューズを用意すること。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

運動による生理学的な身体への変化を理解することで自身の健康づくりのヒントとなる。

**【実務家教員担当科目】**

該当なし

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	犬塚 剛	ガイダンス 健康運動実践指導者資格について	健康運動実践指導者とはどのような資格か理解を深める。	258
2	犬塚 剛	現代社会にみる健康問題(老化と加齢など)	老化と加齢の違いなどを理解し学習する。	258
3	犬塚 剛	現代社会にみる健康問題(運動不足の影響、運動の効果等)	身体活動量の減ることによる心身への弊害など自分の日常生活を振り返り理解を深めること。	258
4	犬塚 剛	現代社会にみる健康問題(オーバートレーニング等)	オーバートレーニングについて学び、その回復方法や疲労の特性を学習し理解を深める。	258
5	犬塚 剛	運動処方に基づく生活リズムの確立等	運動・栄養・休養のリズムの確立を通じて健康な生活を営めることを学習し理解を深める。	258
6	犬塚 剛	健康づくりのための身体活動基準2013等Metsの活用など	厚生労働省が定めた身体活動基準について学習し理解を深める。	258
7	犬塚 剛	健康づくりのための身体活動指針(アクティブガイド)および行動変容等	エネルギー消費量の算出方法を学び、計算ができるように学習を進める。	258
8	犬塚 剛	歩行速度による運動強度の算出(実践編)	座学で学んだ身体活動基準を実際の歩行により体感し理解を深める。	258
9	犬塚 剛	筋の生理学	骨格筋の収縮やエネルギー供給方法などを学習し理解を深める。	258
10	犬塚 剛	トレーニング原理	トレーニングの原理原則等、代表的なトレーニング方法について学習し理解を深める。	258
11	犬塚 剛	トレーニング原理	全身持久力のトレーニング等の方法について学習し理解を深める。	258
12	犬塚 剛	ウォーミングアップとクーリングダウン	ウォーミングアップとクーリングダウンの重要性を学習し理解を深める。	258
13	犬塚 剛	レジスタンストレーニングのプログラム作成	筋力、筋肥大、筋パワー等に適應するトレーニングの方法を学習し理解を深める。	258
14	犬塚 剛	レジスタンストレーニングの適應	レジスタンストレーニングを行うことによる心身への適應について学習し理解を深める。	258
教科書	適宜プリントを配布する。			
参考書	健康運動実践指導者養成用テキスト財団法人健康・体力づくり事業財団 運動処方の指針 南江堂。			
備考	※ 実際の身体活動(実技)を通じて内容を理解する講義の時間も複数回含める予定である。問い合わせ教員 犬塚 剛			

科目名	運動行動科学			担当者	稲井 勇仁
科目ナンバリング	10604220121				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3314 研究室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

本学習では、「運動生理学」「機能解剖学」「バイオメカニクス」などの身体的側面、「スポーツ心理学」「健康心理学」などの心理的側面、あるいは「スポーツ環境」などの社会的側面を総合的に学習する。また運動・スポーツを通じた支援者として、健康づくりのためのトレーニング方法や、適切な動機づけと行動変容、コミュニケーションスキル、ストレス対処の関連を理解し、ライフスタイル・ライフステージ、あるいは障がい児者を含めた様々な対象者に応じた支援方法などを講義やグループワークを通して習得する。

**【学習の到達目標】**

自身の心理的側面を分析し運動の習慣化のための方法を考察できる。さらには、様々な対象者に応じて、運動・スポーツを通じたコミュニケーションスキルや適切な動機づけなどの支援方法を習得できる。

**【成績評価方法】**

平常点(50%)、レポート(50%)により評価する。

**【課題等のフィードバック方法】**

講義終了後、質問を受け付け回答する。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

遅刻を認めない。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

「運動生理学」「機能解剖学」「バイオメカニクス」「認知行動学」等の身体的側面について理解した上で、自身の心理的側面を分析することで、自身の運動の習慣化につながられる。また、障がい児者の運動・スポーツの実際を知ることで医療職や福祉職にも活かされるものとなる。

**【実務家教員担当科目】**

スポーツ競技団体での勤務経験を有する教員がその経験を活かして、運動・スポーツを通じたコミュニケーションスキルや適切な動機づけなどを講義する。

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	稲井 勇仁	スポーツの意義と価値①	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
2	稲井 勇仁	スポーツの意義と価値②	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
3	稲井 勇仁	発育と発達①	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
4	稲井 勇仁	発育と発達②	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
5	稲井 勇仁	からだの健康と運動①(運動生理学、体力づくり)	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
6	稲井 勇仁	からだの健康と運動②(機能解剖学、身体の仕組み)	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
7	稲井 勇仁	からだの健康と運動③(バイオメカニクス)	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
8	稲井 勇仁	スポーツと栄養①	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
9	稲井 勇仁	スポーツと栄養②	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
10	稲井 勇仁	心の健康と運動①(健康スポーツ心理学)	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
11	稲井 勇仁	心の健康と運動②(障がい児者の心理とコミュニケーションスキル)	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
12	稲井 勇仁	スポーツ業界におけるキャリア形成①	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
13	稲井 勇仁	スポーツ業界におけるキャリア形成②	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
14	稲井 勇仁	リスクマネジメント	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
教科書	毎回資料を配布する。			
参考書	適宜資料を配布する。			
備考	本科目は、(公財)日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者中級パラスポーツ指導員資格取得のための必修科目である。また、(財)健康・体力づくり事業財団公認健康運動実践指導者資格取得のための必修科目である。			

科目名	ジョギング・ウォーキング			担当者	稲井 勇仁
科目ナンバリング	10604220126				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3314
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	演習	授業時間	30時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】		【課題等のフィードバック方法】			
ジョギング・ウォーキングの特徴を理解し、実際にジョギング・ウォーキングの指導をする際に留意すべき点を確認する。具体的には身体的負荷の少ないウォーキングからやや負荷の高いジョギングまでの実践を通じて、効率的なフォームの習得を図りながら、体力測定を通じて自身の体力の評価と向上を図る。また、様々な動作や情報が制限された状況下や、環境の変化に適應するジョギング・ウォーキングの実践を行い、競技スポーツから生活習慣病予防、転倒予防のための安全で効果的な実践法について体得する。		講義終了後、質問を受け付け回答する。			
【学習の到達目標】		【履修上の注意・予習・復習について】			
ジョギング・ウォーキングの効果について理解した上で、自身の体力を評価し向上させることができる。		実技・演習を主とする科目であるため、体調を万全に整えて臨むこと。授業は教室、屋外、体育館で行うことがある。			
【成績評価方法】		【受講して得られる効果・メリット、その他】			
平常点(70%)、測定評価の状況およびレポート(30%)により評価する。		健康運動を実践するために必要なジョギング・ウォーキングから、効率的にスピードを高め競技スポーツに活かすフォームの習得、転倒予防のための効果的なウォーキングまで、様々なライフステージに応じた運動を理解・習得することができる。また自身の体力を客観的に評価し、体力の向上を図ることができる。			
		【実務教員担当科目】			
		スポーツ競技団体での勤務経験を有する教員がその経験を活かして、健康づくりの実践方法と支援方法を演習する。			
授 業 計 画					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	稲井 勇仁	効率的なウォーキングの生理学(持久力・有酸素運動)	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
2	稲井 勇仁	機能解剖とバイオメカニクス①	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
3	稲井 勇仁	環境の変化に適應したウォーキング(転倒予防・コーディネーション)①	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
4	稲井 勇仁	環境の変化に適應したウォーキング(転倒予防・コーディネーション)②	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
5	稲井 勇仁	ウォーキングの測定評価	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
6	稲井 勇仁	効率的なジョギングの生理学(持久力・有酸素運動)	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
7	稲井 勇仁	機能解剖とバイオメカニクス②	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
8	稲井 勇仁	競技スポーツにおけるウォーミングアップとしてのウォーキング・ジョギング(パリスティックストレッチング)①	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
9	稲井 勇仁	競技スポーツにおけるウォーミングアップとしてのウォーキング・ジョギング(コーディネーション)②	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
10	稲井 勇仁	様々なスポーツ場面に適應したジョギング	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
11	稲井 勇仁	ジョギングの測定評価	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
12	稲井 勇仁	自身の測定評価に基づいた適正プログラムの立案①	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
13	稲井 勇仁	自身の測定評価に基づいた適正プログラムの立案②	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
14	稲井 勇仁	様々な対象者に応じた適正プログラムの立案(グループワーク)プレゼンテーション	インターネット等を活用した学習内容に関する情報収集		65
教科書	適宜資料を配布する。				
参考書	適宜資料を配布する。				
備考	本科目は、(財)健康・体力づくり事業財団公認健康運動実践指導者資格取得のための必修科目である。				

科目名	ストレッチング・トレーニング			担当者	犬塚 剛
科目ナンバリング	10604220127				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1304
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	演習	授業時間	30時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> ①ストレッチングおよびレジスタンストレーニングの理論を学習し、安全に実施するための技能および知識を習得する。②各部位のストレッチングを安全に正しく実施する方法について実習を通じて理解し、指導上の留意事項を学習する。③補強運動の必要性と目的に応じた各種体操やレジスタンストレーニングの特徴を学習し、効果的かつ安全に実施する方法について実習を通じて習得する。④フィットネスクラブ訪問を通じて、仕事の現場を知り職業意識を高める。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 毎時間のトレーニング日誌の記載およびレポートによるトレーニング効果の振り返りを課題とする。		
<b>【学習の到達目標】</b> ストレッチング・トレーニングの理論を学習し、安全で効果的な実施方法を理解していること。また、補強運動の必要性を学習し、各種体操やトレーニングを安全で効果的な実施方法を理解していること。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> ※例年、現場実習(フィットネスクラブへの訪問)を設けているが2024年度は未定である。現場実習参加を含めての単位認定とする。授業中の私語・飲食・携帯電話操作は厳禁。出欠確認(点呼)終了後の入室は遅刻。授業前に予習(事前配布プリント参照)・授業後に復習(プリント・ノート参照)。予習・復習がなされているか授業中に質問をする。		
<b>【成績評価方法】</b> 平常点20%、受講態度10%、レポート課題70%			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 自分自身の身体を正しく見つめ、日々のコンディショニングを整えることを意識できるようになる。		
			<b>【実務家教員担当科目】</b> NSCAの資格を保持する現役のフィットネストレーナーが指導を行う。		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	犬塚 剛 志賀 達哉	ガイダンス 体組成測定	これまでの講義内容について解説を行う。体組成を測定する。		65
2	犬塚 剛 志賀 達哉	テキスト輪読 レジスタンストレーニングの基礎知識	テキストを読みレジスタンストレーニングについての基礎知識を理解すること。		65
3	犬塚 剛 志賀 達哉	自重負荷トレーニングの実践 BIG3 種目の確認 RM 法 ベンチプレスの実践	自重負荷トレーニングの実践。BIG3 の特性について理解しておくこと。		65
4	犬塚 剛 志賀 達哉	自重負荷トレーニング及びストレッチングの実践 BIG3 RM 法 ベンチプレスの実践およびスクワット導入	自重負荷トレーニング・静的・動的ストレッチングの実践。正しい動作を身に付けるように練習をすること。		65
5	犬塚 剛 志賀 達哉	BIG3 RM 法 スクワットの実践。各種スクワット体験	自重及びフリーウエイトを用いた多種多様なスクワットを理解する。静的・動的ストレッチングの実践。正しい動作を身に付けるように練習をすること。		65
6	犬塚 剛 志賀 達哉	BIG3 RM 法 スクワットの実践およびデッドリフト導入	姿勢を意識した正しい動作を身に付けるように練習をすること。		65
7	犬塚 剛 志賀 達哉	BIG3 RM 法 デッドリフト ダンベルエクササイズ	姿勢を意識した正しい動作を身に付けるように練習をすること。		65
8	犬塚 剛 志賀 達哉	自重レジスタンストレーニング チンニングおよびクリーンの実践	姿勢を意識した正しい動作を身に付けるように練習をすること。		65
9	犬塚 剛 志賀 達哉	BIG3 のプログラムローテーション 重量固定法	姿勢を意識した正しい動作を身に付けるように練習をすること。		65
10	犬塚 剛 志賀 達哉	フィットネスクラブ訪問	集合時間厳守。長時間のレッスンを受講するため体力を備えておく。挨拶、謙虚な姿勢など外部で講義を受講する心構えを備えておく。		65
11	犬塚 剛 志賀 達哉	自重レジスタンストレーニング。体幹トレーニング	身体特性を活かしたトレーニング方法を学ぶ。		65
12	犬塚 剛 志賀 達哉	ストレッチング(PNF、動的、静的 Ia 抑制 Ib 抑制など)	コンディショニングを主に学ぶ		65
13	犬塚 剛 志賀 達哉	ストレッチング・リリース・手技	身体特性を見極め、適切なアプローチ方法を学ぶ。		65
14	犬塚 剛 志賀 達哉	まとめ	プログラミング		65
教科書	適宜プリントを配布する。「健康運動実践指導者養成用テキスト」財団法人健康・体力づくり事業財団				
参考書	「NSCA ストレングストレーニング&コンディショニング」「レジスタンストレーニングのプログラムデザイン」ブックハウス HD「トレーニング指導者テキスト実技編」大修館書店「スターティングストレングス」医学映像教育センター				
備考	※フィットネスクラブでの体験学習を予定している。 問い合わせ教員 犬塚 剛 志賀達哉				

科目名	体力測定評価			担当者	犬塚 剛
科目ナンバリング	10604220128				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	1304
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	演習	授業時間	30時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> ①有酸素性および無酸素性作業能力の指標と測定法の講義とフィールドテストによる実習。 ②体脂肪量の測定原理と方法に関する講義と皮脂厚の測定に関する実習。 ③新体力テスト、JPC フィットネステスト、フィジカルテストの各項目と体力要素との関連に関する講義と各項目の測定実習。 ④体力テストの結果についてデータ入力から分析とPCを使用し評価する方法の学習。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 複数の体力測定項目における個々人の測定値データの入力作業から統計解析までを行い、分析結果について考察しレポートの完成を目指す。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 集中講義を予定しているため、規定の出席日数に到達しない場合は単位認定は行わない。授業中の私語・飲食・携帯電話操作は厳禁。出欠確認(点呼)終了後の入室は遅刻 授業前に予習(事前配布プリント参照)・授業後に復習(プリント・ノート参照)			
<b>【学習の到達目標】</b> 有酸素性・無酸素性作業能力、体脂肪量の測定、各種体力テストの測定等の知識と技能を習得するとともに、体力テストの結果を実際の健康・体力づくりやトレーニングに活かす能力を習得すること。		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 自身の体力レベルを理解し、これからの健康づくりのヒントを知ることができる。			
<b>【成績評価方法】</b> 平常点30%、レポート70%		<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし			
<b>授 業 計 画</b>					
1. 有酸素性および無酸素性作業能力を表す指標と測定法 2. 有酸素性作業能力の測定1(ウォーキングマップを活用したウォーキングの実践による生理学的指標の観察) 3. 有酸素性作業能力の測定1(フィールドにおける最大酸素摂取量) 4. 無酸素性作業能力の測定1(ハイパワーテストの測定) 5. 無酸素性作業能力の測定2(ミドルパワーテストと血中乳酸値の測定) 6. JPC フィットネステストの測定評価(予定)(皮脂厚、周囲径測定、肩関節柔軟性など) 7. JPC フィットネステストの測定評価(予定)(車いす使用によるメディシンボール投げ、20mシャトルラン) 8. フィジカルテスト(ビッグ3種目による最大筋力測定) 9. 新体力テストの測定1 10. 新体力テストの測定2 11. 新体力テストの評価 12. 体力テストの総合評価演習1(基本的な統計法) 13. 体力テストの総合評価演習2(体力プロフィールの作成) 14. 体力テストの総合評価に基づく健康・体力づくりプログラムの作成					
教科書	適宜プリントを配布する。				
参考書	「健康運動実践指導者養成用テキスト」財団法人健康・体力づくり事業財団				
備考	集中講義で行う。 授業内容については、開講時期や外部講師等の都合により変更の可能性あり。 PCを活用しデータ入力・分析を行うため、PCを用意すること。 問い合わせ教員：犬塚 剛				

科目名	アダプテッド・スポーツ論			担当者	稲井 勇仁
科目ナンバリング	10604120130				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3314 研究室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

本講義では、障がい児者や高齢者等が、ルールや用具を改良することにより健常者と同じようにスポーツを実施することができるように工夫されたスポーツ(アダプテッド・スポーツ)を理解し指導および支援するために必要な知識と技術の基礎的な内容を概説およびグループワークする。

**【学習の到達目標】**

アダプテッド・スポーツの基本的概念を理解し、障がい児者や高齢者等が安全に楽しくスポーツに取り組むための知識、およびルールや用具の工夫の仕方等の基本的な知識を習得し、レポートにまとめることができる。

**【成績評価方法】**

平常点(30%)、レポート(70%)により評価する。

**【課題等のフィードバック方法】**

講義終了後、質問を受け付け回答する。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

遅刻を認めない。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

他学部および他専攻にも開講するため、学科および専攻を問わず履修することができ、多領域の視点を相互に学ぶことができる。

**【実務家教員担当科目】**

スポーツ競技団体での勤務経験のある教員がその経験を活かして、障がい児者を含む多様な対象者に対するスポーツ支援の方法を講義する。

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	稲井 勇仁	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
2	稲井 勇仁	パラスポーツの意義と理念	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
3	稲井 勇仁	コミュニケーションスキルの基礎	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
4	稲井 勇仁	パラスポーツ推進の取り組み	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
5	稲井 勇仁	パラスポーツに関する諸施策	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
6	稲井 勇仁	安全管理	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
7	稲井 勇仁	各障がいの理解① 肢体不自由、視覚障がい	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
8	稲井 勇仁	各障がいの理解② 聴覚・音声言語障がい、内部障がい	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
9	稲井 勇仁	各障がいの理解③ 知的障がい、発達障がい	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
10	稲井 勇仁	各障がいの理解④ 精神障がい	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
11	稲井 勇仁	全国障害者スポーツ大会の概要	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
12	稲井 勇仁	障がい者のスポーツ指導における留意点①	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
13	稲井 勇仁	障がい者のスポーツ指導における留意点②	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
14	稲井 勇仁	障がい者のスポーツ指導における留意点③	事前に配布する資料を熟読し事前事後の学習を行うこと	258
教科書	適宜資料を配布する。			
参考書	イラスト「アダプテッド・スポーツ概論」東京教学社 「障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)2020年改訂カリキュラム対応」ぎょうせい			
備考	本科目は、(公財)日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者初級および中級パラスポーツ指導員資格取得のための必修科目である。問い合わせ教員：稲井勇仁			

科目名	アダプテッド・スポーツ基礎実習			担当者	○稲井 勇仁・加藤 秀太
科目ナンバリング	10604120131				常勤・非常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3314 研究室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	実習	授業時間	45時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 本学習では、障がい児者が日頃取り組んでいるスポーツやレクリエーション、フィットネス、トレーニング等に関する学内および学外の活動体験を通じて、障がい者児のために工夫された技術やルール、および、体力・健康増進、機能回復のためのプログラムのポイントを理解・習得する。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 講義終了後、質問を受け付け回答する。			
<b>【学習の到達目標】</b> 障がい児者を含めた全実施者に適応したアダプテッド・スポーツの実践およびサポート活動を通じて、ルールや基本的なスポーツ技術、支援方法を習得することができる。		<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> ・本授業は平日および土日に行い、前期授業開始時に掲示とクラスルームにて日程を周知する。 ・体育館で実習するだけでなく、学内外のイベント運営を行いながら障がい当事者と交流する場面もあるため、受講態度には十分注意すること。			
<b>【成績評価方法】</b> 平常点(80%)、レポート(20%)により評価する。		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 他学部および他専攻にも開講するため、学科および専攻を問わず履修することができ、多領域の視点を相互に学ぶことができる。			
		<b>【実務家教員担当科目】</b> スポーツ競技団体あるいは障がい者スポーツセンターでの勤務経験のある教員が、その経験を活かして、障がい児者を含む多様な対象者に対するスポーツ支援の実習を指導する。			
<b>授 業 計 画</b>					
第1～4回目：動作や用具の制限下における障がいに応じたスポーツの工夫・実施 第5～7回目：障がい者との交流1(陸上競技大会におけるサポート活動) 第8～12回目：障がい者との交流2(陸上競技大会におけるサポート活動) 第13～15回目：各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫1(チェアワーク、車いすバスケットボール等) 第16～19回目：各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫2(ボッチャ、フライングディスク等)、球技系スポーツの工夫と実施(ゴールボール、シッティングバレーボール等) 第20回目：授業のまとめ					
教科書	適宜資料を配布する。				
参考書	イラスト「アダプテッド・スポーツ概論」東京教学社 「障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)2020年改訂カリキュラム対応」ぎょうせい				
備考	本科目は、(公財)日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者初級パラスポーツ指導員資格取得のための必修科目である。問い合わせ教員：稲井勇仁				

科目名	レクリエーション理論			担当者	森田 清美
科目ナンバリング	10604120134				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3313
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ダイバート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> レクリエーションは単なる余暇活動ではなく、健全なライフスタイルを構築する役割を果たすものである。生活の質を向上させ、活性化するためのレクリエーションの役割やあり方、そのための支援論、事業論などの学習を通じて、支援者としての実践能力を高める。本授業はレクリエーション活動の普及・推進を目指したレクリエーション・インストラクター資格の学習内容に沿って、レクリエーションの基礎理論と基礎実技を学ぶ。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 毎回授業時に前授業の振り返り、レポートの提出や小テストを課す。			
<b>【学習の到達目標】</b> ・レクリエーションの意義や価値を理解する。 ・レクリエーション支援のためのコミュニケーション能力を高める。 ・様々なレクリエーション活動について知り、楽しさや面白さを理解する。 ・レクリエーションの計画の立案し、実践できる。		<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> テキストは毎回持参すること。 専用ノートを準備し、資料や振り返りを書く。 はさみ、のり、定規を常備すること。			
<b>【成績評価方法】</b> 出席及び課題(ノート・レポート・提出物・発表)50%、テスト50%		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 本授業は公益社団法人日本レクリエーション協会の「レクリエーション・インストラクター」資格取得のための必修科目である。			
		<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし			
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	森田 清美	学修の目的と資格制度	レクリエーション協会のHPを閲覧し、興味のある内容をピックアップして、ノートにまとめる	258	
2	森田 清美	基礎理論1: 楽しさと心の元気づくり	レクリエーションの意義、インストラクターの役割についてまとめる	258	
3	森田 清美	基礎理論2: ライフステージと心の元気づくり	ライフステージとその課題、レクリエーション活動での楽しさが心を元気にする仕組みについてまとめる	258	
4	森田 清美	基礎理論3: 心の元気と地域のつながり	レクリエーションを通じた地域のつながりについて事例を調べる	258	
5	森田 清美	支援論1: コミュニケーションと信頼づくり	相手に対して信頼感が生じる働きかけについて姿勢や動作、環境等についてまとめる	258	
6	森田 清美	支援論2: 良好な集団作り	集団のメンバーがコミュニケーションの促進によってお互いを認めあう心理的な仕組みについてまとめる	258	
7	森田 清美	支援論3: 自主的、主体的に楽しむ力を育む	自主的、主体的に楽しむためにはどのような働きかけが必要か。自分自身の体験をもとにまとめる。	258	
8	森田 清美	コミュニケーションワーク1: 信頼関係づくりの方法とホスピタリティ	ホスピタリティについて、自身の体験を含めてまとめる	258	
9	森田 清美	コミュニケーションワーク2: 良好な集団作りの方法アイスブレイキング	アイスブレイキングの種類と方法についてまとめる	258	
10	森田 清美	コミュニケーションワーク3: アイスブレイキングのプログラム	モデルプログラムの書写と考察	258	
11	森田 清美	事業論1: レクリエーション事業の考え方	事業の意義を理解し、対象者や目的に合わせた事業についての事例を調べる	258	
12	森田 清美	事業論1: レクリエーション事業の展開方法	レクリエーション事業を想定した企画案について発表の準備をする	258	
13	森田 清美	事業論1: レクリエーションプログラムの組み立て方	事前課題に出されたアイスブレイキングについて計画案を立てる	258	
14	森田 清美	事業論1: レクリエーション活動にかかわる安全管理	レクリエーション活動での事故事例について調べる	258	
教科書	「楽しさを通じた心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」日本レクリエーション協会(この教科書はレクリエーション理論、レクリエーション実技I・IIの3科目で使用)				
参考書	レクリエーション支援の基礎				
備考	レクリエーション事業の学習内容では学外授業があります。 問い合わせ担当: 森田清美				

科目名	レクリエーション実技I			担当者	○森田 清美・犬塚 剛
科目ナンバリング	10604220135				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3313
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・前期
授業形式	演習	授業時間	30時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 本授業は、様々なレクリエーション活動をとおして、支援者として必要なコミュニケーション技術や対象・目的に合わせたレクリエーション素材の選択とレクリエーションプログラムを指導できるようになるための基礎実技を学修する。本授業は「レクリエーション・インストラクター」資格の学習内容に基づき、レクリエーション実技の指導方法について学修する。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 専用ノートを準備し、資料や振り返りを書く。		
<b>【学習の到達目標】</b> ・体験したレクリエーション活動について面白さや楽しさ、効果について気づく。 ・個人や集団に合わせたレクリエーション活動のアレンジ方法を理解し指導できる。 ・アイスブレイキングのプログラムの指導できる。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> ・1年次後期の「レクリエーション理論」を受講した者が履修することが望ましい。また、後期の「レクリエーション実技Ⅱ」も授業することが望ましい。 ・実技科目のため、運動できる服装、室内シューズを準備すること。 ・レク実技Ⅰ専用ノートを準備すること。		
<b>【成績評価方法】</b> 出席及び課題レポート・ノート提出 30%、実技試験と事業支援（個別・集団）50%、最終レポート 20%			<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 本授業は公益社団法人日本レクリエーション協会の「レクリエーション・インストラクター」資格取得のための必修科目である。		
			<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし		
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習		時間(分)
1	森田 清美 犬塚 剛	オリエンテーション、アイスブレイキング	実技ノートを作成し、振り返りをまとめる		65
2	犬塚 剛	アイスブレイキング	実技ノートを作成し、振り返りをまとめる		65
3	犬塚 剛	アイスブレイキング実技指導の基礎と企画立案 ニュースポーツ体験①ピックバトミントン	アイスブレイキングの実技ノートを作成し、振り返り学習を行う		65
4	犬塚 剛 森田 清美	アイスブレイキングの指導実習(一人10分)	実技ノートを作成し、振り返り学習を行う		65
5	犬塚 剛	ニュースポーツ体験②インディアカ・ネットパスラリー	実技ノートを作成し、振り返り学習を行う		65
6	犬塚 剛	ニュースポーツ体験③キンボール・プラズマカー	実技ノートを作成し、振り返り学習を行う		65
7	森田 清美 犬塚 剛	ニュースポーツ体験④ベタンク、ターゲットバドゴルフ	実技ノートを作成し、振り返り学習を行う		65
8	森田 清美	ニュースポーツ体験⑤フロアボール・スライドボード	実技ノートを作成し、振り返り学習を行う		65
9	森田 清美	ニュースポーツ体験⑥スラックライン・バルーン	実技ノートを作成し、振り返り学習を行う		65
10	森田 清美 犬塚 剛	ニュースポーツ体験⑦シャフルボード・ユニカール	実技ノートを作成し、振り返り学習を行う		65
11	森田 清美 犬塚 剛	レクリエーション事業と支援の方法	役割分担で与えられたレクリエーション活動について段階的なアレンジを考えレポートする		65
12	森田 清美 犬塚 剛	目的に合わせた支援・対象者に応じた支援	事前課題で与えられたレポートを作成する		65
13	森田 清美 犬塚 剛	レクリエーション行事のプログラム作成	事前課題で与えられたレポートを修正し、完成させる		65
14	森田 清美 犬塚 剛	レクリエーション行事の実践・振り返り	レクリエーション行事の実践について個人・全体の評価を振り返り、レポートにまとめ、発表の準備をする。		65
教科書	「楽しさを通じた心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」日本レクリエーション協会 (この教科書はレクリエーション理論、レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱの3科目で使用する)				
参考書	レクリエーション支援の基礎				
備考	問い合わせ担当：森田清美				

科目名	レクリエーション実技Ⅱ			担当者	○森田 清美・犬塚 剛
科目ナンバリング	10604220136				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3313
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・後期
授業形式	演習	授業時間	30時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 本授業は様々な場面でのレクリエーション事業の展開方法について実践を通して体験する。また、場面に応じたレクリエーション活動のアレンジ方法について学習し、実際にレクリエーション支援(指導)を行う。「レクリエーション実技Ⅰ」と同様、学校の授業やイベント、地域レクリエーションなどで実践能力を身につける。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 毎回授業時に全授業の振り返り、レポートの提出や小テストを課す。			
<b>【学習の到達目標】</b> ・レクリエーション事業での意義や価値を理解する。 ・レクリエーションプログラムを作成し、それに必要な目的、時間配分、素材の選択、手順、相互作用などの理解ができ、計画通りに支援(指導)することができる。 ・レクリエーションプログラム実施後の評価の視点を習得する。		<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 1年次後期の「レクリエーション理論」、2年次前期の「レクリエーション実技Ⅰ」を受講した者が履修することが望ましい。実技科目のため、運動できる服装、室内シューズを準備すること。初回の授業から体育館で行います。			
<b>【成績評価方法】</b> 実技試験70%、レポート30%		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 本科目は、(財)日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクター資格取得のための必修科目である。			
		<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし			
<b>授 業 計 画</b>					
1. ガイダンス 2. ニュースポーツ体験 モルック、クップ 3. レクリエーション事業計画②(レクリエーション課程認定校交流会「交楽祭」) 4. レクリエーション事業計画③(ウォークラリー体験) 5. 指導演習(ウォークラリーコマ図作成) 6. 指導演習(ウォークラリーコマ図作成) 7. ニュースポーツ体験 キンボール 8. 伝承遊び体験 9. レクリエーション支援プログラム作成① 10. レクリエーション支援プログラム作成② 11. レクリエーション支援プログラム練習 12. レクリエーション支援プログラム試験(グループ)① 13. レクリエーション支援プログラム試験(グループ)② 14. グループごとに実技試験についてのディスカッション 15. まとめ					
教科書	「楽しさを通した心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」日本レクリエーション協会 (この教科書はレクリエーション理論、レクリエーション実技Ⅰ・Ⅱの3科目で使用する)				
参考書	適宜プリント、資料を配布する。				
備考	なし				

科目名	レクリエーション現場実習			担当者	○森田 清美・犬塚 剛
科目ナンバリング	10604220137				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3313
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	2年次・通年
授業形式	実習	授業時間	45時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 各都道府県、市区町村レク協会の活動の一端を、実際に事業に参加することで体験し、地域におけるイベントでのレクリエーション・インストラクターの活動やイベントのプロセスを理解する。 参加形式は、一般参加者とともにイベント参加をする「事業参加」と、スタッフとしてイベント運営に関わる「スタッフ参加」の2種類がある。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 学生は現場実習後に指定レポート用紙に参加企画名、自分の役割と行動、気づきや反省等を記入し提出する。 担当教員がレポート添削後、個人面談で振り返りを行う。			
<b>【学習の到達目標】</b> 一般参加者を対象とした各種レクリエーションイベントの企画・運営ができるようになる。		<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 詳細に関してはレクリエーション講義・実技内において説明を行います。classroom に必ず登録してください。			
<b>【成績評価方法】</b> レクリエーション現場実習習得の要件をすべて満たすことによって単位の認定とする。 イベント参加時のレポート、参加状況、受講態度、出席状況による総合評価		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 本科目は、(財)日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクター資格取得のための必修科目である。			
		<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし			
<b>授 業 計 画</b>					
本事業では「必修参加」と「選択参加」がある。以下の要件を満たすように計画をして選択すること。					
<b>【必修参加】</b> ①夏季野外活動実習 (病気、けが等の事情により履修ができない場合は要相談) ②交楽祭(学外でのレクリエーション事業の体験)					
<b>【選択参加】1つ選択</b> ①夏季野外活動実習指導型+学外レクリエーション事業参加1~2回程度 ②交楽祭実行委員の運営体験+学外レクリエーション事業参加1~2回程度 ③学外レクリエーション事業3回程度参加(学内も一部含んでよい)					
<b>■学外レクリエーション事業とは</b> 各都道府県レクリエーション協会が主催するレクイベント(ニュースポーツセミナー、市民スポ・レクフェスティバル等)に事業参加(一般参加者としての参加)、あるいは指導参加(指導スタッフとしての参加)することである ・実施される事業については、県協会の事業が決定次第、履修者に通知する。 ・参加後は所定の書式のレポートを提出すること。 ・実習時間によってはカウント回数が変動する場合がある。					
教科書	「楽しさを通じた心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」日本レクリエーション協会(レクリエーション理論、レクリエーション実技I・IIで購入した教科書を活用する)				
参考書	・適宜紹介する				
備考	・1年間で実習回数及び時間数が満たない場合は翌年も履修することができます。翌年も時間割を確認してclassコードから登録してください。 ・資格申請等の説明会には必ず出席し詳細を確認すること(4年後期10月頃で掲示版で確認すること)。				

科目名	夏季野外活動実習			担当者	○森田 清美・犬塚 剛樹 黒沢 麻美・山川 樹 稲井 勇仁
科目ナンバリング	10604120138				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3313
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・前期
授業形式	実習	授業時間	45時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 実習は南蔵王野営場にて2泊3日(8月下旬から9月上旬)の宿泊型のキャンプを実施する。実習ではテント設営、野外炊事、キャンプクラフト、キャンプファイヤー、登山、沢登りなどの野外活動を行う。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 実習中は毎日の打ち合わせと実習簿に1日の出来事や自身の役割、気づき等の振り返りを行う。実習後は実習簿の記入を完成させ、担当教員が添削し返却する。			
<b>【学習の到達目標】</b> ・キャンププログラムの企画、運営、指導方法について理解を深める。 ・野外活動に必要な知識や技術を修得する。 ・自然現象や自然のしくみを総合的に学び、自然への理解を深める。 ・集団生活の中で自分の役割をみつけ、活動の見通しを立てて行動ができる。また、他者とのコミュニケーションを図り、交流を深める。 ・自然の楽しみ方を学び、健康・体力を維持増進に役立てる。		<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 1) 時間厳守 2) トレッキングシューズ、雨具を必ず準備する 3) 自分自身の体調管理と自己責任をもって行動する 4) 安全・危険物について予測し、事故や障害のないように慎重に自分自身の体調管理と自己責任をもって行動する			
<b>【成績評価方法】</b> 事前オリエンテーションでの準備物 10%、実習期間中の課題達成度 70%、実習事後レポート 20%		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> ・自然の中での様々な活動は知識や技術だけではなく、体験知を高め、生活の知恵を得ることができ、心身の健康への意識が高まる。			
		<b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし			
<b>授 業 計 画</b>					
(1) 実施時期・期間：8月下旬から9月上旬(2泊3日) (2) 実施場所(予定)：南蔵王野営場(白石市福岡深谷白萩山39) (3) 参加費用：7,000円程度(キャンプ資材、レク資材、食費等の実費) (4) 授業内容 1. 事前オリエンテーション①個人票記入、レクリエーション 2. 事前オリエンテーション①〃 3. 事前オリエンテーション②班編成での打ち合わせ、スタッフリーダーとの顔合わせ、事前準備 4. 事前オリエンテーション②〃 5. 1日目 キャンプ実習(現地オリエンテーション、テント設営・貸与用具の確認、キャンプクラフト、炊飯、ミーティング) 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 2日目 キャンプ実習(登山、炊飯、キャンプファイヤー) 12. 〃 13. 〃 14. 〃 15. 〃 16. 〃 17. 3日目 キャンプ実習(炊飯、沢登り、沢遊び、撤収作業、事後実習レポート指導) 18. 〃 19. 〃 20. 〃 21. 〃 22. まとめ					
教科書	冊子を配布します。				
参考書	「野外教育の理論と実際：組織キャンプ入門」東京YMCA野外教育研究所				
備考	・本実習の単位取得をもって、レクリエーション現場実習の一回分の参加になります。 ・問い合わせ担当：森田清美				

科目名	冬季野外活動実習			担当者	○稲井 勇仁・犬塚 剛 森田 清美・黒沢 麻美 山尾 孝則・現地講師
科目ナンバリング	10604120139				常勤・非常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3314 研究室
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	1年次・後期
授業形式	実習	授業時間	45時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> スキー・スノーボード等のウィンタースポーツの技能と知識を習得するとともに、規律ある集団生活の体得を目的とする。また、野外で行う活動の企画・運営の仕方についても学ぶ。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 実習の中で適宜質問を受け付ける。			
<b>【学習の到達目標】</b> スキー、スノーボードの基礎的な技術を身に付けるとともに、ウィンタースポーツを通じた基本的な野外活動の企画・運営ができるようになる。		<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> ・12月頃にUNIPA、掲示板、クラスルーム等で実習日を公開し、1月頃に履修登録を行う。 ・連絡事項は必ず確認し、課題の提出期限を厳守すること。 ・学外授業のため授業開催場所への移動や授業中には、交通事故やその他の不慮の事故等の発生がないよう各自細心の注意を払うこと。また、事前に履修人数から授業期間中の宿泊人数等を把握するため、病気や怪我、その他の理由で履修を取りやめる場合には速やかに担当教員に連絡すること。 ・実技講習は一般のスキー場で行うため、節度のある行動やスキー場の利用マナーを守り、各自が責任を持った行動を意識すること。 ・持病や体調不良がある場合は必ず事前に申告し、各自体調に十分留意して万全の体制で実習に臨むこと。			
<b>【成績評価方法】</b> 事前オリエンテーションの準備物 10%、実習期間中の課題達成度 70%、実習事後レポート 20%		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> スキー、スノーボードの初心者でも安心して基礎的な技能を習得でき、生涯楽しめるスポーツの獲得が期待できる。			
		<b>【実務家教員担当科目】</b> ウィンタースポーツの指導経験を有する教員がその経験を活かして、ウィンタースポーツの実習を指導する。			
<b>授 業 計 画</b>					
(1) 実施時期・期間：2025年2月中旬～3月上旬(3泊4日)予定 (2) 実施場所：安比高原・雫石スキー場(岩手県)予定 (3) 授業内容 第1回目：事前指導①(1ヶ月前ガイダンス、参加必須) 第2回目：事前指導②(直前ガイダンス、参加必須) 第3～5回目(1日目)：現地へ移動、用具の確認、実技講習(午後) 第6回目：スノースポーツを取り巻く環境、滑走フィードバック(講義・グループワーク) 第7～11回目(2日目)：実技講習(午前・午後) 第12回目：スノースポーツの事故の実態、滑走フィードバック(講義・グループワーク) 第13～17回目(3日目)：実技講習(午前・午後) 第18回目：スノースポーツの安全対策、滑走のフィードバック(講義・グループワーク) 第19～21回目(4日目)：実技講習(午前)、大学へ移動 22.まとめ					
教科書	適宜資料を配布する。				
参考書	適宜資料を配布する。				
備考	受講にかかわる必要経費は自己負担となる(予定されている必要経費50,000円程度：宿泊費、食事代、リフト代、交通費込み)。 問い合わせ先：稲井勇仁(3314研究室)				

科目名	介護予防論		担当者	○犬塚 剛・吉田 裕人 稲井 勇仁
科目ナンバリング	10604320140			常勤
D P	1,2,3,4		教員研究室	1304
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)		配当年次	3年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位 選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし			
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 平成18年度に我が国の介護保険制度は予防重視型に改正され、新たに介護予防事業が各自治体で実施されるようになった。要支援・要介護状態になっていない高齢者へは、地域支援事業が展開され、その事業も、要支援・要介護ハイリスク群である虚弱高齢者に対する特定高齢者施策と、それに至らない一般高齢者施策の2つから構成されている。さらに、要支援1・要支援2の高齢者には、介護保険から新予防給付が行われている。本講義では、こうした制度の現況を整理し、厚生労働省が提案する介護予防事業マニュアルの内容について学習する。また、各自治体での先進事例や問題点に触れることにより、真の介護予防につなげていくための介護予防事業展開のあり方や評価のあり方について解説する。  <b>【学習の到達目標】</b> 我が国の介護予防事業について理解し、実際に事業展開を図るための企画・立案・評価が実施できるための基本的な知識とノウハウを習得する。  <b>【成績評価方法】</b> 平常点 20% レポート 80%			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 中間と最終講義において「振り返り」レポートの提出を課す。  <b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 授業中の私語・飲食・携帯電話操作は厳禁 出欠確認(点呼)終了後の入室は遅刻 授業前に予習(事前配布プリント参照)・授業後に復習(配布プリント・ノート参照) 予習・復習がなされているか授業中に質問をする。  <b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 近年、高齢期の健康づくりにおいて重要性の高まる介護予防に関する法制度やサービスの内容を理解し、具体的に介護予防事業を展開する上での基礎的な理論や知識を習得できる。  <b>【実務家教員担当科目】</b> 該当なし	
<b>授 業 計 画</b>				
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	吉田 裕人	介護予防の定義と意義	介護予防とは?その歴史と背景など	258
2	吉田 裕人	二次予防事業の対象者把握事業	二次予防事業とは?その事業内容など	258
3	吉田 裕人	二次予防事業対象者の介護予防ケアマネジメント	介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用の流れなど	258
4	吉田 裕人	介護予防事業の先進事例と複合プログラム	区市町村が実践している介護予防事業の先進事例の内容など	258
5	吉田 裕人	事業評価予防給付の流れ	介護予防事業の効果評価のための指標についてなど介護保険における予防給付の内容など	258
6	戸田 孝史	口腔機能向上マニュアル～理論	口腔機能低下予防の方法など	258
7	戸田 孝史	口腔機能向上マニュアル～理論	口腔機能の重要性など	258
8	稲井 勇仁	閉じこもり予防・うつ予防・認知機能低下予防・支援マニュアル～理論	高齢者の閉じこもりの弊害や認知機能低下に繋がる過程など	258
9	稲井 勇仁	運動器の機能向上マニュアル～理論	ロコモティブシンドロームとは?	258
10	稲井 勇仁	運動器の機能向上マニュアル～実践	ロコモ予防の方法など	258
11	犬塚 剛	栄養改善マニュアル～理論	高齢者の低栄養など	258
12	犬塚 剛	栄養改善マニュアル～実践	低栄養を予防する食生活など	258
13	犬塚 剛	地域在住高齢者の健康の実態	登米市の高齢者実態調査からのレポート	258
14	犬塚 剛 稲井 勇仁	まとめ	介護予防論の授業を振り返る	258
教科書	適宜プリントを配布する。			
参考書	「介護予防事業マニュアル」厚生労働省 HP 「介護予防のねらいと戦略」社会保険研究所 「介護予防実践事例集～介護予防事業の一層の推進を目指して～」社会保険研究所			
備考	問い合わせ教員：犬塚剛 稲井勇仁			

科目名	介護予防実習		担当者	○犬塚 剛・吉田 裕人 森田 清美・稲井 勇仁
科目ナンバリング	10604320141			常勤
D P	1,2,3,4		教員研究室	1304
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)		配当年次	3年次・後期
授業形式	実習	授業時間	45時間	単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし			
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**  
 厚生労働省の介護予防事業マニュアルの6つのプログラム(運動器の機能向上、低栄養予防、口腔ケア、閉じこもり予防、うつ予防、認知症予防)の基本的な内容を学習し、学内での地域高齢者を対象とした運動教室でのグループワークや高齢者による介護予防自主活動の見学等を通じて、介護予防プログラムの指導方法を習得する。

**【学習の到達目標】**  
 介護予防事業プログラムの基本的な内容を理解し、実際に地域高齢者に指導できるノウハウを習得する。

**【成績評価方法】**  
 平常点 60% レポート 40%

**【課題等のフィードバック方法】**  
 中間と最終講義において「振り返り」レポートの提出を課す

**【履修上の注意・予習・復習について】**  
 授業中の私語・飲食・携帯電話操作は厳禁  
 出欠確認(点呼)終了後の入室は遅刻  
 授業前に予習(事前配布プリント参照)・授業後に復習(配布プリント・ノート参照)  
 予習・復習がなされているか授業中に質問をする。  
 なお、実際に地域高齢者を対象とした介護予防教室を開催し、運営のノウハウを学習する。したがって、服装や言葉遣い等には細心の注意を払うこと。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**  
 この授業を通じて、具体的な介護予防プログラム指導のノウハウを習得できる。

**【実務家教員担当科目】**  
 該当なし

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	介護予防事業実施上の留意点の理解	対象者(地域高齢者)への配慮・言葉づかいなど	-
2	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	介護予防事業プログラムの実際1	運動器の機能向上	-
3	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	介護予防事業プログラムの実際2	栄養改善・口腔機能向上	-
4	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	介護予防事業プログラムの実際3	閉じこもり・認知機能低下・うつ予防・支援	-
5	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	介護予防事業プログラムの評価方法	基本チェックリストと体力測定評価	-
6	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	介護予防事業プログラム作成方法	事後評価のための指標確認	-
7	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	介護予防事業プログラムの指導方法と実践1	会場設営と体力測定評価方法の確認	-
8	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	介護予防事業プログラムの指導方法と実践2	プログラム実践指導方法の確認	-
9	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	地域高齢者を対象とした介護予防事業プログラム指導の実際1	体力測定評価	-
10	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	地域高齢者を対象とした介護予防事業プログラム指導の実際2	運動器の機能向上	-
11	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	地域高齢者を対象とした介護予防事業プログラム指導の実際3	栄養改善	-
12	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人・戸田 孝史	地域高齢者を対象とした介護予防事業プログラム指導の実際4	口腔機能向上	-
13	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	地域高齢者を対象とした介護予防事業プログラム指導の実際5	認知機能低下予防・うつ予防・支援	-
14	犬塚 剛・森田 清美・稲井 勇仁・吉田 裕人	介護予防事業プログラム実施の振り返りと反省	対象者(地域高齢者)への接遇における反省点など	-
教科書		適宜プリントを配布する。		
参考書		「介護予防事業マニュアル」厚生労働省 HP 「介護予防のねらいと戦略」社会保険研究所 「介護予防実践事例集～介護予防事業の一層の推進を目指して～」社会保険研究所		
備考		問い合わせ教員：犬塚剛・森田清美・稲井勇仁		

科目名	企業福祉論			担当者	森田慎二郎
科目ナンバリング	10604320147				常勤
D P	1,2,3			教員研究室	3305
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**  
 企業福祉(福利厚生)は、企業経卒業後、一般企業だけでなく、医療・福祉施設でも役立つ知識を得られる。営に必要な人事管理施策の一つの役割として、さらに国の社会保障制度を補完する役割として、従業員とその家族に行う福祉施策である。  
 授業では、この企業福祉を歴史的、体系的にとらえ、さらに具体的な施策を検討することで、卒業後の仕事に役立つことをめざしている。

**【学習の到達目標】**  
 1 企業福祉の基本的役割を理解できる。  
 2 企業福祉の発展過程を、資本主義のプロセスとともに理解する。  
 3 組織と経営についての一般的知識を得る。

**【成績評価方法】**  
 中間レポート50%、期末レポート50%

**【課題等のフィードバック方法】**  
 授業終了後、ミニッツペーパーにより質問を受け付け、次回に回答する。

**【履修上の注意・予習・復習について】**  
 私語厳禁

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**  
 就職活動や就職後の生活において、役立つ情報を得られる。企業活動を、幅広い歴史的な視野で見ることができる。

**【実務家教員担当科目】**  
 該当なし。

授 業 計 画

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	森田慎二郎	ガイダンス、企業福祉とは何か、就活と企業福祉	配布資料で復習することが望ましい。	258
2	森田慎二郎	現代日本の全体像と具体例、国際比較	配布資料で復習することが望ましい。	258
3	森田慎二郎	企業福祉の法体系と課題①健康管理	配布資料で復習することが望ましい。	258
4	森田慎二郎	企業福祉の法体系と課題②ワークライフバランス	配布資料で復習することが望ましい。	258
5	森田慎二郎	企業福祉の法体系と課題③退職金・企業年金	配布資料で復習することが望ましい。	258
6	森田慎二郎	公務員、医療福祉系の福利厚生、CSRと企業福祉	配布資料で復習することが望ましい。	258
7	森田慎二郎	欧米における企業福祉の誕生(世界遺産ニューラナーク)	配布資料で復習することが望ましい。	258
8	森田慎二郎	福沢諭吉と荏田平五郎(三菱重工長崎)	配布資料で復習することが望ましい。	258
9	森田慎二郎	紡績業の企業福祉(武藤山治・大原孫三郎など)	配布資料で復習することが望ましい。	258
10	森田慎二郎	製糸業の企業福祉(世界遺産富岡製糸場など)	配布資料で復習することが望ましい。	258
11	森田慎二郎	鉱業の企業福祉(世界遺産軍艦島など)	配布資料で復習することが望ましい。	258
12	森田慎二郎	技術立国日本の企業福祉(日立、ソニー)	配布資料で復習することが望ましい。	258
13	森田慎二郎	企業福祉の変容(松下電器など)	配布資料で復習することが望ましい。	258
14	森田慎二郎	全体のまとめ(1970年モデルから2025年モデルへ)	配布資料で復習することが望ましい。	258
教科書	使用しない。			
参考書	読書レポートとして、授業中に紹介する。			
備考	特になし			

科目名	保健福祉特別講義 I			担当者	○野崎 瑞樹・学科教員
科目ナンバリング	10604320148				常勤
D P	1,2,3			教員研究室	3309
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	4年次・前期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない

**【授業内容】**

1年～3年のキャリア形成で積み上げた力を、本格的に就職に向けて発揮するための力を習得する。また、社会人として求められる知識、スキル、マナーを身につけて、卒後のキャリア形成の基盤を築く。

**【学習の到達目標】**

一般企業等を目指す学生は、具体的な就職活動、就職試験に臨む力を養う。福祉系施設等を目指す学生は、資格試験に合格するための力を養う。

**【成績評価方法】**

課題への取り組み 80%、各種テストへの出席 20%

**【課題等のフィードバック方法】**

課題により担当者(学内・学外)からコメントを付けて返却する。

**【履修上の注意・予習・復習について】**

卒業後を踏まえた内容である。

**【受講して得られる効果・メリット、その他】**

卒業後もキャリア形成は続く。その基礎となる力を習得し、自らライフプランを立て実践していく力を養う。

**【実務家教員担当科目】**

キャリアサポートセンターのキャリアコンサルタント資格(国家資格)をもつ職員と連携する。

**授 業 計 画**

回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間	
			予習・復習	時間(分)
1	野崎 瑞樹・学科教員	オリエンテーション	資料を読む。わからないことを調べる。	258
2	野崎 瑞樹・学科教員	就職活動に向けた書類作成	資料を読む。わからないことを調べる。	258
3	野崎 瑞樹・学科教員	就職活動に向けた面接対策	資料を読む。わからないことを調べる。	258
4	野崎 瑞樹・学科教員	社会貢献とは	資料を読む。わからないことを調べる。	258
5	野崎 瑞樹・学科教員	改めて自己分析	資料を読む。わからないことを調べる。	258
6	野崎 瑞樹・学科教員	スキルアップできる資格	資料を読む。わからないことを調べる。	258
7	野崎 瑞樹・学科教員	長期インターンシップ	資料を読む。わからないことを調べる。	258
8	野崎 瑞樹・学科教員	社会人マナー	資料を読む。わからないことを調べる。	258
9	野崎 瑞樹・学科教員	社会人スキル	資料を読む。わからないことを調べる。	258
10	野崎 瑞樹・学科教員	社会人スキル	資料を読む。わからないことを調べる。	258
11	野崎 瑞樹・学科教員	社会人講話(新入社員)	資料を読む。わからないことを調べる。	258
12	野崎 瑞樹・学科教員	改めてワークルール	資料を読む。わからないことを調べる。	258
13	野崎 瑞樹・学科教員	ライフプランの話	資料を読む。わからないことを調べる。	258
14	野崎 瑞樹・学科教員	まとめ	資料を読む。わからないことを調べる。	258
教科書	なし			
参考書	随時紹介する。			
備考	なし。			

科目名	保健福祉特別講義Ⅱ			担当者	○野崎 瑞樹・学科教員
科目ナンバリング	10604320149				常勤
D P	1,2,3			教員研究室	3309
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	4年次・後期
授業形式	講義	授業時間	30時間	単位	選択 2単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 1年～3年で積み上げた力を、本格的に就職に向けて発揮するための力を習得する。また、社会人として求められる知識、スキル、マナーを身につけて、卒後のキャリア形成の基盤を築く。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 課題により担当者(学内・学外)からコメントを付けて返却する。			
<b>【学習の到達目標】</b> 具体的な就職活動、就職試験に臨む力を養う。		<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 卒業後を踏まえた内容である。			
<b>【成績評価方法】</b> 課題への取り組み 80%、各種テストへの出席 20%		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 卒業後もキャリア形成は続く。その基礎となる力を習得し、自らライフプランを立て実践していく力を養う。			
		<b>【実務家教員担当科目】</b> キャリアサポートセンターのキャリアコンサルタント資格(国家資格)をもつ職員と連携する。			
<b>授 業 計 画</b>					
回	担当教員	学習内容	学習課題・必要な学習時間		
			予習・復習	時間(分)	
1	野崎 瑞樹・学科教員	オリエンテーション	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
2	野崎 瑞樹・学科教員	就職活動に向けた書類作成	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
3	野崎 瑞樹・学科教員	就職活動に向けた面接対策	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
4	野崎 瑞樹・学科教員	社会貢献とは	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
5	野崎 瑞樹・学科教員	改めて自己分析	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
6	野崎 瑞樹・学科教員	スキルアップできる資格	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
7	野崎 瑞樹・学科教員	長期インターンシップ	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
8	野崎 瑞樹・学科教員	社会人マナー	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
9	野崎 瑞樹・学科教員	社会人スキル	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
10	野崎 瑞樹・学科教員	社会人スキル	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
11	野崎 瑞樹・学科教員	社会人講話(新入社員)	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
12	野崎 瑞樹・学科教員	改めてワークルール	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
13	野崎 瑞樹・学科教員	ライフプランの話	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
14	野崎 瑞樹・学科教員	まとめ	資料を読む。わからないことを調べる。	258	
教科書	なし				
参考書	随時紹介する。				
備考	なし。				

科目名	専門職連携セミナー			担当者	大黒 一司
科目ナンバリング	10604320154				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3211
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	3年次・4年次・後期
授業形式	演習	授業時間	30時間	単位	選択 1単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> これからの専門職に求められるのは、対象者(利用者)を中心としてその多面的なニーズに的確に応える能力です。そのためには専門職連携という基礎的な素養の上に各々の専門性が確立されなければならない。専門職としての成長と専門職連携教育の融合(trans-disciplinary)により、時代が求める専門職連携の中核になりうる人材育成を目指します。			<b>【課題等のフィードバック方法】</b> ・グループワーク担当教員(ファシリテーター)が適宜助言する ・発表会に向けて担当教員が助言する		
<b>【学習の到達目標】</b> ・自分の専門性を他の専門職に説明し、他の専門性を学ぶことができる。 ・対象者(利用者)のニーズを多面的に理解し、考えることができる。 ・専門職間の協働によって解決できる共通の課題と目標を抽出することができる。 ・共通目標達成のために専門職としてのそれぞれの役割を理解し実践できる。 ・専門的立場から事例に内在する課題を見出し、各々の目標と計画を作成することができる。			<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> グループワークにより模擬事例の討議するため積極的に参加すること。		
<b>【成績評価方法】</b> ・セミナーでのグループワークへの参加状況(70%) ・事前講義、ガイダンス、報告会への参加状況等(30%)による総合的判断			<b>【実務家教員担当科目】</b> 病院・施設において多専門職連携を実践していた。		
<b>授 業 計 画</b>					
1. 専門職連携セミナーの目的と意義、進め方について 2. 連携セミナーにおける学習方法(グループワーク)の理解 3. グループワーク、スケジュール確認、活動計画作成 4. 各職の紹介とこれまでの学び、実習経験など 5. 実習室ツアー 6. 事例について読みあわせと情報の確認 7. 用語について各職種間の共通認識 8. 事例の共通目標検討 9. 共通目標達成に向けた各職種の目標と問題点、問題点解決のための支援策の検討 10. 共通目標達成に向けた目標と問題点、問題点解決のための支援策の共通認識と実現の可能性の検討 11. 発表に向けた準備 12. リフレクション 13. 発表会 14. 発表会					
教科書	随時配布する				
参考書	講義中に提示する				
備考	集中講義となるので、講義等スケジュールに注意すること 質問、問い合わせ：作業療法学専攻 大黒一司(3211研究室)				

科目名	卒業研究			担当者	○齊藤 綾美・学科教員
科目ナンバリング	10604420155				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	3307
学科(専攻)	保健福祉学科(保健福祉専攻)			配当年次	4年次・通年
授業形式	演習	授業時間	120時間	単 位	必修 4単位
アクティブ・ラーニング	<input type="checkbox"/> 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 該当なし				
ICT活用	<input checked="" type="checkbox"/> 双方向型授業 <input type="checkbox"/> 自主学習支援 <input type="checkbox"/> 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
<b>【授業内容】</b> 調査・実験方法等の指導を受けながら学術研究における洞察力および遂行能力を構築します。		<b>【課題等のフィードバック方法】</b> 各指導担当教員の指示に基づきます。			
<b>【学習の到達目標】</b> 学術研究の遂行に求められる洞察力、問題解決能力等を涵養します。		<b>【履修上の注意・予習・復習について】</b> 担当教員の指示に従ってください。			
<b>【成績評価方法】</b> 研究成果を中心に、卒業研究への取り組み状況の評価等も勘案して、総合的に評価します。		<b>【受講して得られる効果・メリット、その他】</b> 卒業研究で身につけた洞察力、問題解決能力等は卒業後の社会においても、あらゆる場面で役立てることが出来ます。			
		<b>【実務家教員担当科目】</b> 多種多様な経験値を有する複数の学科教員で担当する。			
<b>授 業 計 画</b>					
各担当教員による個別の授業計画に基づきます。					
教科書	各指導担当教員の指示に基づきます。				
参考書	各指導担当教員の指示に基づきます。				
備考	卒業研究に関する問い合わせは、各SAまで。				

# 東北文化学園大学

TOHOKU BUNKA GAKUEN UNIVERSITY

---

教務課

981-8551 仙台市青葉区国見6丁目45-1  
TEL 022-233-6116 FAX 022-233-6419  
教務課 [kyomu@office.tbgu.ac.jp](mailto:kyomu@office.tbgu.ac.jp)